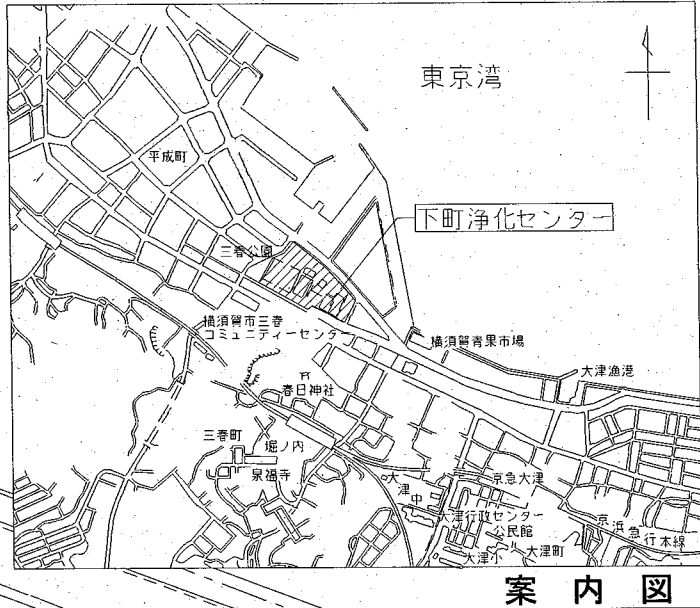
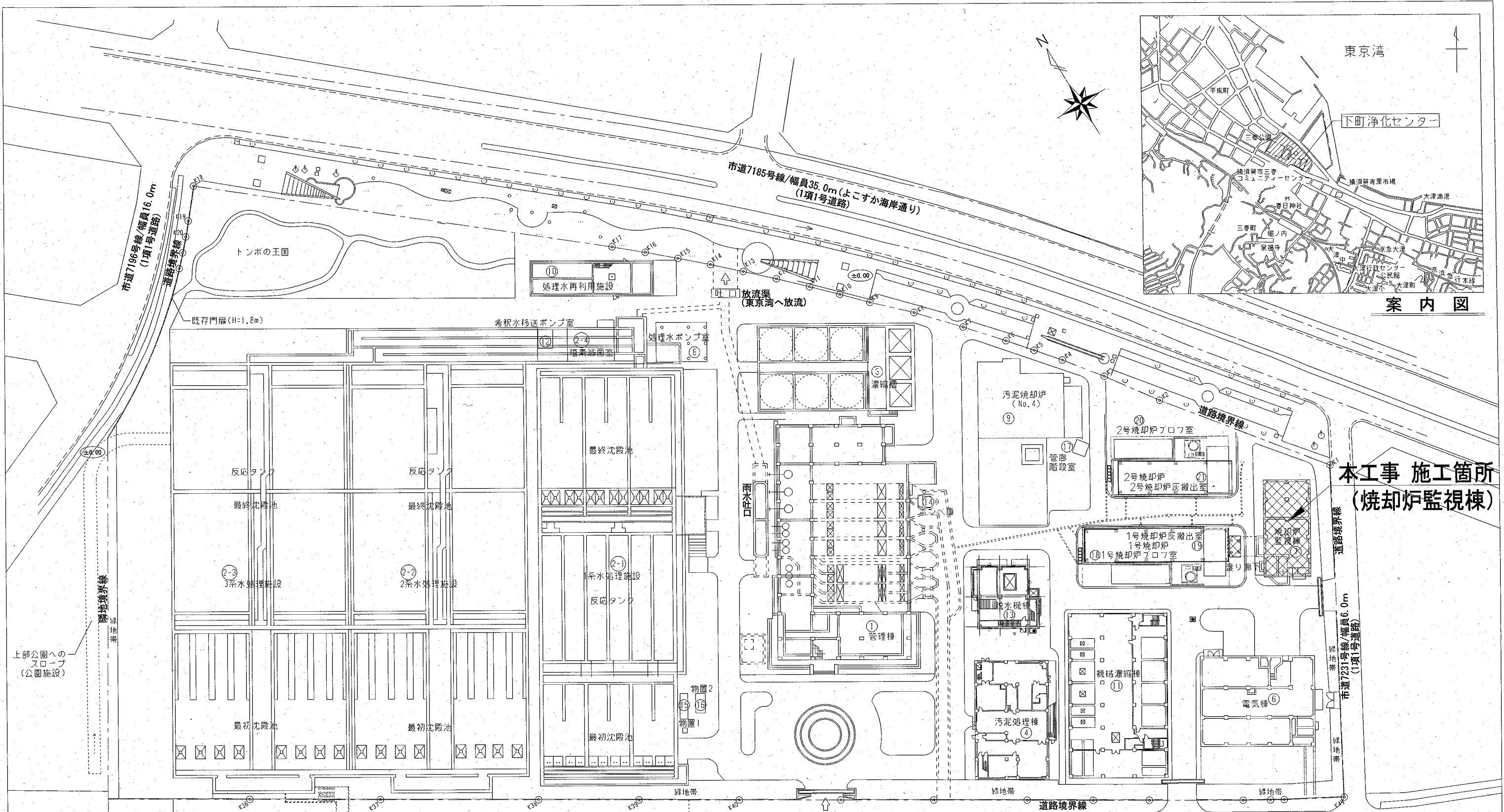


下町浄化センター焼却炉監視棟耐震補強建築工事

図 面 目 録

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
A-01	一般平面図・案内図	1/1000	S-03	構造細目共通図(3)	-
A-02	建築改修工事特記仕様書(1)	-	S-04	構造細目共通図(4)	-
A-03	建築改修工事特記仕様書(2)	-	S-05	構造細目共通図(5)	-
A-04	建築改修工事特記仕様書(3)	-	S-06	構造細目共通図(6)	-
A-05	建築改修工事特記仕様書(4)	-	S-07	構造改修基準図	-
A-06	建築改修工事特記仕様書(5)	-	S-08	補強伏図	1/100
A-07	建築改修工事特記仕様書(6)	-	S-09	補強軸組図	1/100
A-08	建築改修工事特記仕様書(7)	-	S-10	開口閉塞詳細図(1)	1/50
A-09	建築改修工事特記仕様書(8)	-	S-11	開口閉塞詳細図(2)	1/50
A-10	建築改修工事特記仕様書(9)	-	S-12	渡り廊下 補強位置図・NW15補強詳細図	1/60,1/100
A-11	建築改修工事特記仕様書(10)	-	参-01	焼却炉監視棟 仮設計画図(参考図)	1/100
A-12	焼却炉監視棟 2階平面図・立面図・天井伏図	1/200			
A-13	焼却炉監視棟 展開図・部分詳細図	図示			
S-01	構造細目共通図(1)	-			
S-02	構造細目共通図(2)	-			



本工事 施工箇所
(焼却炉監視棟)

横須賀市上下水道局

工名	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
図名	一般平面図 案内図		
縮尺	1/1000	図番号	A-01
製年	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者

一般平面図 S=1/1000

今回対象建築物

I 工事概要

1. 工事場所 神奈川県横須賀市三春町2丁目1番地

2. 敷地面積 44,216.52 m²

3. 工事種目
棟名称 焼却炉監視棟(渡り廊下含む)
構造 鉄筋コンクリート造
建築面積 881.76 m²
延べ面積 1459.11 m²
工事項目 建築工事

4. 工事内容 (概要)
・焼却炉監視棟2階：既存建具撤去の上、RC開口閉塞それに伴う一部天井撤去・復旧等
・渡り廊下：RC壁新設

5. 工事範囲
今回の建築工事の工事内容は、下表において、■印のものとする。詳細は、仕上表、工事区分一覧表及び図面による。

工事内容	前回工事	今回工事	次回工事	備考
防水改修				
外壁改修		■		
建具改修		■		既存建具撤去
内装改修		■		開口閉鎖に伴う一部天井撤去復旧
塗装改修		■		開口閉鎖後仕上
耐震改修		■		開口閉塞(RC)
環境配慮改修		■		石綿含有建材撤去

II 工事仕様

1 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記による。
1) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「標準仕様書」という。)による。
2) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修標準仕様書」という。)

(2) 土木工事、建築機械設備工事及び建築電気設備工事は、別紙特記仕様書による。

(3) 低入札価格調査対象工事について
1) 施工体制台帳の写しの提出及びその内容のヒヤリング
調査基準価格を下回った価格で契約する場合には、受注者は主任監督員の求めに応じて、建設業法(昭和24年法律第100号)第24条の7第1項に規定する施工体制台帳の写しを主任監督員に提出しなければならない。
2) 施工体制台帳の写しの提出に際して、その内容のヒヤリングを主任監督員から求められたときは、受注者はこれに応じなければならない。

2 特記仕様

(1) 特記事項の各項目は、項目番号の前に■印の付いたものを本工事に適用する。
(2) 特記事項に記載される内容が複数ある事項については、■印の付いたものを適用し、□印の付いたものは適用しない。
(3) 使用材料で複数の材料に■印が付いたものは、図面による。
(4) 特記事項に記す各種()は、標準仕様書等の各条項等を示しその適用は次のとおりとする。
1) (.)は、「標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す。
2) [改.]は、「改修標準仕様書」の当該項目、当該表及び当該図を示す。
(5) Gは、「国等による環境物品等の調達に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)に規定される特定調達品目を示す。
(6) 標準仕様書で特記がない場合の処置を明示している場合で、それらが関係法令等(条例を含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守の規程を優先する。

3 その他
(1)表題欄に記載されている縮尺はA1版に対応するものであり、A3版の場合は読替を行うものとする。
(2)発注仕様によりアスベスト対策を行わない工事において、一次スクリーニングを行った上で有害なアスベストが含まれている材料が確認された場合は、監督員へ報告する事。(報告を受けた監督員は、定性・定量試験を行うか判断し大気汚染防止法及び石綿則に則り適切に対応する事)

■ I章 一般共通事項

一般事項

■ 1 適用基準等
■ 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成28年版)
■ 建築物解体工事共通仕様書・同解説 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成31年版)

■ 2 本工事における適用特記工事種別

■ 仮設工事 □ 防水改修工事
■ 外壁改修工事 □ モルタル塗り仕上げ外壁の改修
□ コンクリート打ち上げ外壁の改修 □ タイル張り仕上げ外壁の改修
■ 塗り仕上げ外壁等の改修
□ 建具改修工事 ■ 内装改修工事
□ 塗装改修工事 ■ 耐震改修工事
■ 環境配慮改修工事
■ ユニット及びその他工事

■ 3 主任技術者等
■ 適用する □ 適用しない

□ 4 技能士
適用工事種別

工事別	適用種別
防水改修工事	□ 防水施工 □ アスファルト防水工事 □ 改質アスファルトシート工法防水工事作業 □ 合成ゴム系シート防水工事作業 □ 塩化ビニル系シート防水工事作業 □ シーリング防水工事作業 □ ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 □ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 □ 左官 □ 建築板金(内外装板金作業)
外壁改修工事	□ 左官 □ タイル張り □ 塗装(建築塗装作業) □ 樹脂接着剤注入施工
建具改修工事	□ サッシ施工 □ ガラス施工 □ 自動ドア施工
内装改修工事	□ 内装仕上げ施工 □ プラスチック系床仕上げ工事作業 □ カーペット系床仕上げ工事作業 □ 鋼製下地工事作業 □ ボード仕上げ工事作業 □ 防水施工(シーリング防水工事作業) □ 建築大工 □ 左官 □ タイル張り
塗装改修工事	□ 塗装(建築塗装作業)
耐震改修工事	□ 鉄筋施工(鉄筋組立て作業) □ 型枠施工 □ とび □ コンクリート圧送施工
ブロック、ALC工事	□ ブロック工事施工 □ ALCパネル施工
石工事	□ 石材施工(石張り施工)

■ 5 環境への配慮

(1) グリーン購入法により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。
(2) 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の 1)から4)までを満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
2) 接着剤は、可塑剤(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。
3) 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
4) 上記1)の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。
5) 上記 1)から4)の「ホルムアルデヒドの放散量」は、6)の規制対象外(規制値をクリアする規格品・認定品)を適用する。
6) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外(規制値をクリアする規格品・認定品)
① 建築基準法施行令第20条の7第1項、第2項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド放散建築材料以外の材料
② 建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
第三種
① 建築基準法施行令第20条の7第2項に定める第三種ホルムアルデヒド放散建築材料
② 建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
(3) 工事に使用する各種材料については、アスベスト含有建材を使用しない。

■ 6 材料の品質等
(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマークの表示がない材料は、監督員の承諾を受ける。
(2) 製造所名及び製品名が記載された材料は、当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。
(3) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 建築材料等評価名簿(平成25年版)」(以下「評価名簿」という。)によると記載された材料は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。この場合、評価書の写しをもって、「標準仕様書」1.4.2(b)に規定する「設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料」の提出を省略することができる。
「評価名簿による」と特記されていない場合でも優先して採用するものとする。

□ 7 特別な材料の工法
公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

□ 8 建築機械設備工事、建築電気設備工事及び関連する機械設備工事、電気設備工事との取合い
施工範囲 □ 工事区分表による
施工図 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して監督職員に承諾を受ける。

□ 9 GL
現状GL (TP m)
設計GL (TP m)
埋め戻し後GL (TP m)

□ 10 建築基準法による条件
風速 V₀ ()
地表面粗度区分 □ I □ II □ III □ IV
垂直積雪量 (m) 1cmごとの単位荷重 (N/m²)

□ 11 再生資材の利用
受注者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。

資材名	規格	備考

使用箇所は図示による。

■ 12 特定建設資材の分別解体等・再資源化等
□ 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。
ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。

■ 本工事は、「建設リサイクル法」による規模について、「対象建設工事」に該当しないが、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施については、建設リサイクル法に準じ適正な措置を講ずることとする。

1) 分別解体等の方法

工程	作業内容	分別解体等の方法(解体工事のみ)
① 造成等	造成等の工事 □ 有 ■ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
② 基礎・基礎ぐい	基礎・基礎ぐいの工事 □ 有 ■ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
③ 上部構造部分	上部構造部分・外装の工事 ■ 有 □ 無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用
④ 屋根	屋根の工事 □ 有 ■ 無	□ 手作業 □ 手作業・機械作業の併用
⑤ 建築設備	建築設備・内装等の工事 ■ 有 □ 無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用
⑥ その他 (RO造壁・床)	■ 有 □ 無	□ 手作業 ■ 手作業・機械作業の併用

2) 再資源化等を要する施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設名称	所在地
コンクリート		
コンクリート及び鉄からなる建設資材		

※上記 2)については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。
なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

3) その他 □ ()

■ 13 一般/産業廃棄物の搬出
建設工事の施工により発生する産業廃棄物は、下記の場所に搬出することとする。

項目	施設名称	所在地
■ 石膏ボード等		
■ 仕上げ材等		
□ []		

搬出調査等：提出を義務付ける

□ 14 発生材の処理(引渡しを要するもの)
□ 金属類
□ []
特別管理産業廃棄物
□ PCB
□ []

□ 15 室内空気中の化学物質の濃度測定
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、厚生労働省の定める指針値以下であることを確認し、報告すること。
なお、測定は委託団体が発注する別途工事又は家具の設置等が行われる前に行う。

測定機器：ハッジ型採取機器(測定ハッジ F、V)
測定対象化学物質の管理値

測定対象化学物質	ハッジ	厚生労働省の指針値(25℃の場合)	備考
□ ホルムアルデヒド	F	0.08 ppm (100 μg/m ³)	
□ トルエン	V	0.07 ppm (260 μg/m ³)	
□ キシレン		0.2 ppm (870 μg/m ³)	
□ エチルベンゼン		0.88 ppm (3,800 μg/m ³)	
□ スチレン		0.05 ppm (220 μg/m ³)	

測定対象室及び箇所数

測定対象室	測定箇所数	測定対象室	測定箇所数	測定対象室	測定箇所数
□ 事務室		□ 研究室			
□ 会議室		□ 書庫・倉庫など常時換気しない部屋			
□ 宿直室					
□ 休憩室					
□ 水質試験室					

■ 16 完成写真
下記のものを監督職員に提出する。

	撮影箇所数	部数	原板の大きさ(mm)
■ カラーキャビネ版	外部() 内部()	□ 2 □ ()	60×60以上 (デジタルデータでも可)
■ CD-ROM	キャビネサイズを200dpiの解像度で読みとりJPEG形式等で保存。箇所数はカラーキャビネ版と同じ	□ 2	12cm
□ カラーライド版	同上	□ 1 □ ()	24×36以上
□ カラーパネル	1箇所	□ 2 □ ()	4寸切

撮影業者 □ 監督職員に承諾する撮影業者 □ []

■ 17 工事完成図等
■ 製作する □ 製作しない

□ 18 施工条件明示
□ 施工時期 []
□ 施工時間 []
□ 施工方法 []
□ 交通誘導員 人
□ 配置要員 人
□ 配置期間 日

■ 19 発注図データの貸与
■ 貸与あり □ 貸与なし
(1) 完成図書作成等の利用に供するため、発注図面のCADデータを受注者に貸与する。
(2) 提供するCADデータは、本工事の施工以外の目的に使用してはならない。
(3) 図面とCADデータの内容に相違がある場合、図面の内容が優先する。

横須賀市上下水道局

図面名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	建築工改修特記仕様書(1)		
縮尺	-	図面番号	A-02
製作年月	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者

2章 仮設工事

特記事項

1 足場その他
 内部足場 種別 図示による きゃたつ、足場板等 [] [改2.2.1(3)]
 外部足場 種別 図示による [] [改2.2.1(2)][改2.2.1(1)]
 防護シートの設置 行う 防音シート 防音パネル [改2.2.1(2)]
 養生シート
 行わない
 材料、撤去材等の運搬方法 [改2.2.1(4)][改2.2.1(1)]
 A種 B種 C種 D種 E種

2 養生
 既存部分の養生 ビニルシート、合板等 [] [改2.3.1(1)]
 既存家具等の養生 ビニルシート、合板等 [] [改2.3.1(3)]
 既存ブラインド、カーテン等の養生 なし あり [改2.3.1(4)]
 あり [保管場所:]
 既存家具等の移動 行わない 行う [改2.3.1(5)]

3 仮設間仕切り
 仮設間仕切り等の種別 [改2.3.2][改2.3.1]

種別	下地	仕上材(厚さ mm)	充てん材(厚さ mm)	塗装
<input type="checkbox"/> A種	<input type="checkbox"/> 軽量鉄骨	<input type="checkbox"/> 合板	グラスウール 2号32k	<input type="checkbox"/> 無し
<input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> 木下地	(<input type="checkbox"/> 9.0 <input type="checkbox"/>)	(<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/>)	<input type="checkbox"/> 片面
		<input type="checkbox"/> せつこうボード (<input type="checkbox"/> 9.0 <input type="checkbox"/>)		
<input type="checkbox"/> C種	<input type="checkbox"/> 単管下地	<input type="checkbox"/> 防炎シート		

仮設扉

種別	木製扉	合板張り程度	無し
<input type="checkbox"/> 鋼製扉	<input type="checkbox"/> 鋼製扉	<input type="checkbox"/> 片面アッシュ程度	<input type="checkbox"/> 有り

4 工事用水
 構内既存の施設
 利用できない
 利用できる (有償 無償)

5 工事用電力
 構内既存の施設
 利用できない
 利用できる (有償 無償)

6 手すり先行足場
 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「動きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中横及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

3章 防水改修工事

特記事項

1 降雨等による養生方法 [改3.1.3(5)]
 [改3.1.3(5)]による 図示

2 既存下地の補修及び処理 [改3.2.6]
 既存防水層撤去後のコンクリート、モルタル面の下地補修及び処理
 図示 別途(施工数量調査による)

既存防水層の補修及び処理
 図示 別途(施工数量調査による)

既存保護層の補修及び処理
 図示 別途(施工数量調査による)

入隅及び出隅等の補修及び処理
 図示 別途(施工数量調査による)

架台回り等の処理
 図示 別途(施工数量調査による)

3 アスファルト防水 [改3.1.4][改3.2.2~6][改3.3.2~5][改3.3.1.1][改3.3.3~表3.3.10]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類
<input type="checkbox"/> P1B工法		<input type="checkbox"/> B-1 <input type="checkbox"/> B-2 <input type="checkbox"/> B-3
<input type="checkbox"/> P1BI工法		<input type="checkbox"/> BI-1 <input type="checkbox"/> BI-2 <input type="checkbox"/> BI-3
<input type="checkbox"/> T1BI工法		<input type="checkbox"/> BI-1 <input type="checkbox"/> BI-2 <input type="checkbox"/> BI-3
<input type="checkbox"/> P2AI工法		<input type="checkbox"/> AI-1 <input type="checkbox"/> AI-2 <input type="checkbox"/> AI-3
<input type="checkbox"/> P2A工法		<input type="checkbox"/> A-1 <input type="checkbox"/> A-2 <input type="checkbox"/> A-3
<input type="checkbox"/> M4C工法		<input type="checkbox"/> C-1 <input type="checkbox"/> C-2 <input type="checkbox"/> C-3 <input type="checkbox"/> C-4
<input type="checkbox"/> M3DI工法		<input type="checkbox"/> D-1 <input type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> D-3 <input type="checkbox"/> D-4
<input type="checkbox"/> PODI工法		<input type="checkbox"/> D-1 <input type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> D-3 <input type="checkbox"/> D-4
<input type="checkbox"/> PODII工法		<input type="checkbox"/> DI-1G <input type="checkbox"/> DI-2G
<input type="checkbox"/> M3DI工法		<input type="checkbox"/> DI-1G <input type="checkbox"/> DI-2G
<input type="checkbox"/> M4DI工法		<input type="checkbox"/> DI-1G <input type="checkbox"/> DI-2G

保護防水

屋内防水

アスファルトの種類 3種 [改3.2.2(7)][改3.3.2(2)]

改質アスファルトルーフィングシート [改3.3.2(3)(カ)]
 (P2AI工法・P2A工法・M4C工法)
 種類 [改3.3.2(3)(カ)]による []
 厚さ(mm) 1.5以上 []

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート [改3.3.2(3)(キ)]
 (P1B工法・P1BI工法・T1BI工法・M3DI工法・PODI工法・PODII工法・M3DI工法・M4DI工法)
 種類 [改3.3.2(3)(キ)]による []
 厚さ(mm) 1.5以上 []

防水の押え金物の材質及び形状寸法 [改3.3.2(6)]
 [改3.3.2(6)]による 図示による

屋根保護防水断熱工法の断熱材 (P1BI工法・T1BI工法・P2AI工法) [改3.3.2(8)]
 材質 [改3.3.2(8)]による []
 厚さ(mm) 25 50 []

屋根露出防水断熱工法の断熱材 (PODI工法・M3DI工法・M4DI工法) [改3.3.2(9)]
 材質 [改3.3.2(9)]による []
 厚さ(mm) 25 50 []

屋根保護防水工法の絶縁用シート (P1BI工法・P2A工法) [改3.3.2(10)]
 [改3.3.2(10)]による []

屋根保護防水断熱工法の絶縁用シート (P1BI工法・T1BI工法・P2AI工法) [改3.3.2(10)]
 [改3.3.2(10)]による []

伸縮調整目地 [改3.3.2(11)][改3.3.1]
 アンカータイプ 付着層タイプ

平場の保護コンクリートの厚さ(mm) [改3.3.5(4)]
 図示による [改3.3.5(4)]による

立上り部の保護 [改3.3.5(5)]
 図示による

脱気装置 [改3.3.3(2)(イ)][改3.3.3(3)]
 (M3DI工法・PODI工法・PODII工法・M3DI工法・M4DI工法)
 設ける 種類 [改3.3.3(2)(イ)][改3.3.3(3)]による []
 設けない 設置数量 [改3.3.3(2)(イ)][改3.3.3(3)]による []

仕上塗料の種類及び使用量 [改3.3.3(2)][改3.3.3(3)]
 製造所の指定による [] kg/m²

二重ドレン(PODI工法・PODII工法) [改3.2.5]
 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する)
 設けない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去(M4C工法・M4DI工法) [改3.2.6(3)(イ)]
 行わない 行う

施工標識 設ける

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4C工法・M4DI工法) [改3.2.6(c)(2)]
 行わない 行う

施工標識 設ける

4 改質アスファルトシート防水 [改3.1.1][改3.4.2~4][改3.4.1~3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類
<input type="checkbox"/> M4AS工法		<input type="checkbox"/> AS-T1 <input type="checkbox"/> AS-T2 <input type="checkbox"/> AS-J3
<input type="checkbox"/> M3AS工法		<input type="checkbox"/> AS-T3 <input type="checkbox"/> AS-T4 <input type="checkbox"/> AS-J2 <input type="checkbox"/> AS-J4
<input type="checkbox"/> POAS工法		<input type="checkbox"/> AS-T3 <input type="checkbox"/> AS-T4 <input type="checkbox"/> AS-J2 <input type="checkbox"/> AS-J4
<input type="checkbox"/> M3ASI工法		<input type="checkbox"/> ASI-T1 <input type="checkbox"/> ASI-J1
<input type="checkbox"/> M4ASI工法		<input type="checkbox"/> ASI-T1 <input type="checkbox"/> ASI-J1
<input type="checkbox"/> POASI工法		<input type="checkbox"/> ASI-T1 <input type="checkbox"/> ASI-J1

改質アスファルトシート [改3.4.2(1)]
 種類 [改3.4.1~表3.4.3]による []
 厚さ(mm) [改3.4.1~表3.4.3]による []

粘着層付改質アスファルトシート [改3.4.2(1)]
 種類 [改3.4.1~表3.4.3]による []
 厚さ(mm) [改3.4.1~表3.4.3]による []

部分粘着層付改質アスファルトシート [改3.4.2(1)]
 種類 [改3.4.1~表3.4.3]による []
 厚さ(mm) [改3.4.1~表3.4.3]による []

屋根露出防水断熱工法の断熱材 (M3AS工法・M4AS工法・POAS工法) [改3.4.2(3)(ウ)]
 材質 [改3.4.2(3)(ウ)]による []
 厚さ(mm) 25 50 []

二重ドレン (POAS工法・POASI工法) [改3.2.5]
 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する)
 設けない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (M4AS工法・M4ASI工法) [改3.2.6(3)(イ)]
 行わない 行う

脱気装置 [改3.4.3(イ)][改3.4.3(ウ)]
 (M3AS工法・POAS工法・M3ASI工法・M4ASI工法・POASI工法)
 設ける 種類 [改3.4.3(イ)][改3.4.3(ウ)]による []
 設けない 設置数量 [改3.4.3(イ)][改3.4.3(ウ)]による []

施工標識 設ける

5 合成高分子系ルーフィングシート防水 [改3.1.1][改3.5.2~4][改3.5.1~改3.5.3]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料	使用分類
<input type="checkbox"/> POS工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
		<input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2		
		<input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1		
<input type="checkbox"/> POSII工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
		<input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2		
		<input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1		
<input type="checkbox"/> S4S工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
		<input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2		
		<input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1		
<input type="checkbox"/> S4SI工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
		<input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2		
		<input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1		
<input type="checkbox"/> S3S工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
		<input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2		
		<input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1		
<input type="checkbox"/> S3SI工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
		<input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2		
		<input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1		
<input type="checkbox"/> M4S工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
		<input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2		
		<input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1		
<input type="checkbox"/> M4SI工法		<input type="checkbox"/> S-F1 <input type="checkbox"/> SI-F1	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー	<input type="checkbox"/> 非歩行 <input type="checkbox"/> 軽歩行
		<input type="checkbox"/> S-F2 <input type="checkbox"/> SI-F2		
		<input type="checkbox"/> S-M1 <input type="checkbox"/> SI-M1		

ルーフィングシート [改3.5.2(イ)]

種類 均質加硫ゴム 一般複合加硫ゴム
 均質塩ビ 一般複合塩ビ
 均質TPE 一般複合TPE

厚さ(mm) [改3.5.1~表3.5.2]による []

絶縁用シート [改3.5.2(2)]
 (新規防水層の種類が、S-M1、S-M2、S-M3、SI-M2の場合)
 材質 [改3.5.2(2)]による []

断熱工法の断熱材 [改3.5.2(3)(イ)][改3.5.2]
 (新規防水層の種類が、SI-F1、SI-F2、SI-M1、SI-M2の場合)
 材質 [改3.5.2(3)(イ)]による []
 厚さ(mm) [] []

脱気装置 [改3.5.3(1)(イ)][改3.5.3(2)(イ)]
 設ける 脱気方法 [改3.5.3(1)(イ)][改3.5.3(2)(イ)]による []
 設けない 設置数量 [改3.5.3(1)(イ)][改3.5.3(2)(イ)]による []

二重ドレン (POS工法・POSI工法) [改3.2.5]
 設ける (排水許容面積を計算し、監督職員に提出する)
 設けない

6 塗膜防水 [改3.1.1][改3.6.3][改3.6.1]

防水改修工法の種類	施工箇所	新規防水層の種類	仕上げ塗料
<input type="checkbox"/> POX工法		<input type="checkbox"/> X-1	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー
<input type="checkbox"/> L4X工法		<input type="checkbox"/> X-2	<input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> シルバー

二重ドレン (POX工法) [改3.2.5]
 設ける 設けない
 行わない 行う

既存塗膜防水層表面の仕上げ塗装の除去 (L4X工法) [改3.2.6(3)(カ)]
 行わない 行う

脱気装置 (POX工法) [改3.6.3(1)(イ)]
 設ける 1ヶ所/50m² []
 設けない

7 シーリング [改3.1.2][改3.7.2~7]

シーリング材の種類は、下記以外[改3.7.1]による

シーリング改修工法の種類	施工箇所	シーリング材の種類(記号)
<input type="checkbox"/> シーリング充填工法	開口塞ぎ、新設壁	PU-2
<input type="checkbox"/> シーリング再充填工法		
<input type="checkbox"/> 拡幅シーリング再充填工法		
<input type="checkbox"/> ブリッジ工法		

ボンドプレーカー張り及びエッジング材張り (ブリッジ工法) [改3.7.7(2)]
 適用する 適用しない

目地寸法 図示による [改3.7.3(a)]による [改3.7.3(1)]

横須賀市上下水道局			
図面名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	建築工事改修特記仕様書(2)		
縮尺	-	図面番号	A-03
製作年月	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者

シーリング材の接着性試験
 行う
 簡易接着性試験 引張接着性試験
 行わない

8 とい
 たてどい(雨水用)
 材種
 配管用炭素鋼管(白管)
 既製たてどい(市販品)
 (アルミニウム製(厚) ステンレス製(厚))

防露巻き
 [改3.8.4]による 行わない
 防露材のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 第三種

床下掃除口
 図示による

たてどい(屋内床排水用)
 材種
 配管用炭素鋼管(白管)
 ステンレス鋼管 厚さ(mm)
 硬質ポリ塩化ビニル管 RF-VPG

防露巻き
 [改3.8.4]による 行わない
 防露材のホルムアルデヒド放散量 規制対象外

床下掃除口
 図示による

軒どい
 材質 []
 材の厚さ(mm) []
 製造所及び製品番号

とい受け金物
 材質 [改3.8.2(c)]による ステンレス製

既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
 図示による

9 ルーフドレン
 材種 鋳鉄製 ステンレス製
 取付け 改3.8.3(8)による 図示による

10 アルミニウム製笠木
 オープン形式 シール形式

■ 4章 外壁改修工事

共通事項
 1 施工数量調査
 調査範囲 外壁部全面 外壁改修範囲 図示の範囲 [改1.3.2]

調査内容
 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分を表面に表示し、また、欠損部の形状寸法等を調査する。
 コンクリート表面のはがれ及びひび割れ部を壁面に表示する。
 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひび割れ部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。
 調査報告書の部数 2部 []

2 モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げの施工後の確認及び試験は、[改4.5.8(4)]による。

3 改修材料 [改4.2.2]

可とう性エポキシ樹脂

性能	常温物性	低温性	加熱劣化	引張接着性(常温物性)
引張強さ	1.0N/mm2以上	1.0N/mm2以上	1.0N/mm2以上	最大引張応力 1.0N/mm2以上
伸び	30%以上	30%以上	30%以上	破断時の伸び 10%以上

比重 表示値±0.10
 押出し性 60秒以下
 スランプ 3mm以下
 加熱減量 5%以下

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと
 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと
 c. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において、製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること

ポリマーセメントモルタル
 ポリマーセメントモルタルの種類
 合成高分子エマルジョン(合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系等)

曲げ強さ	圧縮強さ	標準時	高温時	低温時
6.0N/mm2以上	20.0N/mm2以上	1.0N/mm2以上	0.8N/mm2以上	0.5N/mm2以上

表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと
 透水性 表面の濡れ、水滴の付着がないこと
 均質で有害と認められる異物の混入がないこと

パテ状エポキシ樹脂

初期硬化性(標準)	接着強さ(標準)	圧縮強さ	曲げ強さ	硬化収縮率
2.0N/mm2以上	6.0N/mm2以上	50.0N/mm2以上	30.0N/mm2以上	3.0%以下

a. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと
 b. 対象とする被着体を侵さず、かつ、周囲を汚損しないこと
 c. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において、製造所の指定する期間または製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること

エポキシ樹脂モルタル

項目	全固形分	吸水性	接着強さ	界面剥離率
品質・性能	表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	0.98N/mm2以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

タイル部分張替え用エポキシ樹脂

強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度	0.6N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.4N/mm2以上
浸染破壊率	75%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上

皮膜物性

引張強さ	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ	0.6N/mm2以上	0.6N/mm2以上	0.6N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.4N/mm2以上
伸び	35%以上	35%以上	35%以上	25%以上	25%以上

貯蔵安定性 容積と粘度に著しい変化のないこと
 耐熱性 JIS A 5557により、80℃で4週間、9.8Nのおもりで安定していること

a. 外観は、均質で有害と認められる異物の混入がないこと
 b. タイル、石材、下地等を侵すものでないこと
 c. 「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」に基づく特定化学物質及び「労働安全衛生法」に基づく「有機溶剤中毒予防規則」に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと
 d. ずれが生じないこと
 e. 混練終結時の確認が容易なように色が明瞭であること

既製調合モルタル(タイル張付け用材料)

保水率(%)	単位容積質量(kg/l)	接着強さ(N/mm2)		長さ変化率(%)	曲げ強さ(N/mm2)
		標準時	温冷繰返し後		
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	0.20以下	4.0以上

コンクリート打ち放し仕上外壁
 1 ひび割れ部改修工法 [改4.1.4(1)][改4.3.2][改4.3.4~6]
 樹脂注入工法 [改4.3.4]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
<input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	□ 200~300	□ []	
<input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	□ 50~100	□ 40	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	□ 100~200	□ 70	<input type="checkbox"/>
	0.5以上~1.0以下	□ 150~250	□ 130	<input type="checkbox"/>

注入材料
 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア採取)
 行わない
 行う 抜取り個数及びコアの形状 [改4.3.4(6)]による
 抜取り部の補修方法 図示による

Uカットシール材充填工法 [改4.2.2(2)][改4.3.5]

充填材料	品質・規格等	備考
<input type="checkbox"/> シーリング材料	<input type="checkbox"/> 1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う

可とう性エポキシ樹脂

シール工法
 シール材料 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂 [改4.2.2(3)][改4.3.6]

2 欠損部改修工法 [改4.1.4(1)][改4.3.3][改4.3.7]
 充填工法
 充填材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル

モルタル塗り仕上外壁
 1 既存モルタル塗りの撤去
 行う
 図示の範囲 []
 行わない

2 ひび割れ部改修工法 [改4.1.4(2)][改4.4.2][改4.4.5~7]
 樹脂注入工法 [改4.4.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
<input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	□ 200~300	□ []	
<input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	□ 50~100	□ 40	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	□ 100~200	□ 70	<input type="checkbox"/>
	0.5以上~1.0以下	□ 150~250	□ 130	<input type="checkbox"/>

注入材料
 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア採取)
 行わない
 行う 抜取り個数及びコアの形状 [改4.3.4(6)]による
 抜取り部の補修方法 図示による

Uカットシール材充填工法 [改4.2.2(2)][改4.4.6]

充填材料	品質・規格等	備考
<input type="checkbox"/> シーリング材	<input type="checkbox"/> 1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う

可とう性エポキシ樹脂

シール工法 [改4.2.2(3)][改4.4.7]
 シール材 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂

既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [改4.4.2(4)]
 シール工法の範囲 (幅= 程度) [改4.4.3]

3 欠損部改修工法 [改4.1.4(2)][改4.4.8~9]
 充填工法 [改4.4.8]
 充填材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法 [改4.4.9]
 材 料 [改4.2.2(7)]による
 仕上げ厚または全塗厚が25mmを超える場合の補強 行う (図示)
 行わない

既製目地材 適用しない 適用する (図示)

4 浮き部改修工法 [改4.1.4(2)][改4.4.10~15]

改修工法の種類(モルタルを撤去しない場合)	アンカーピンの本数(本/m)		注入口の箇所数(箇所/m)		充填量(注入量)(ml/箇所)
	一般部分	指定部分	一般部分	指定部分	
<input type="checkbox"/> アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	□ 16	□ 25	□ []	□ []	□ []
<input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	□ 13	□ 20	□ 12	□ 20	□ 25
<input type="checkbox"/> アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	□ 13	□ 20	□ 12	□ 20	□ 50
<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	□ 9	□ 16	□ []	□ []	□ []
<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	□ 9	□ 16	□ 9	□ 16	□ []
<input type="checkbox"/> 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	□ 9	□ 16	□ 9	□ 16	□ 50

アンカーピン
 材質等 [改4.2.2(6)(ウ)]による []
 []

注入口付アンカーピン
 材質等 [改4.2.2(6)(ウ)]による []
 []

充填工法 [改4.4.8]
 充填材料 エポキシ樹脂モルタル ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法 [改4.4.9]
 材 料 [改4.2.2(7)]による
 仕上げ厚または全塗厚が25mmを超える場合の補強 行う (図示)
 行わない

既製目地材 適用しない 適用する (図示)

タイル張り仕上外壁
 1 既存タイル張りの撤去
 行う
 図示の範囲 全面 []
 撤去範囲 下地モルタルまで 張付けモルタルまで []
 行わない

2 ひび割れ部改修工法 [改4.1.4(3)][改4.3.4][改4.5.5~6]
 改修箇所 既存タイル面 既存タイル撤去面(既存コンクリート面 既存モルタル面)
 樹脂注入工法 [改4.1.4][改4.5.5]

注入工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入間隔(mm)	注入量(ml/m)	備考
<input type="checkbox"/> 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	□ 200~300	□ 130	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	□ 50~100	□ 40	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	□ 100~200	□ 70	<input type="checkbox"/>
	0.5以上~1.0以下	□ 150~250	□ 130	<input type="checkbox"/>

注入材料
 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

部材の種類	最小呼称肉厚	表面処理	避雷導体(下水道施設標準図E-01-1)	備考
<input type="checkbox"/> 200形 <input type="checkbox"/> 250形 <input type="checkbox"/> 300形	1.6mm □ []	<input type="checkbox"/> A-1種又はB-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> ブラウン系	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	取付けボルト、ネジ類はステンレス製とする
<input type="checkbox"/> 350形 <input type="checkbox"/> 400形 <input type="checkbox"/> 450形	2.0mm □ []	<input type="checkbox"/> 無色 <input type="checkbox"/> 着色		
<input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []		

既存の笠木等の撤去 [改3.9.3(1)]
 行う 行わない

新規笠木の下地の補修 [改3.9.3(1)]
 図示による

板材折曲げ形の取付工法 [改3.9.3(2)]
 [改3.9.3(2)]による

部材の種類	最小呼称肉厚	表面処理	避雷導体	備考
<input type="checkbox"/> 200形 <input type="checkbox"/> 250形 <input type="checkbox"/> 300形	2.2mm	<input type="checkbox"/> A-1種又はB-1種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> ブラック <input type="checkbox"/> ステンカラー <input type="checkbox"/> ブラウン系	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	取付けボルト、ネジ類はステンレス製とする
<input type="checkbox"/> 350形 <input type="checkbox"/> 400形 <input type="checkbox"/> 450形	3.0mm	<input type="checkbox"/> 無色 <input type="checkbox"/> 着色		
<input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []		

吸水調整材

項目	全固形分	吸水性	接着強さ	界面剥離率
品質・性能	表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	0.98N/mm2以上	50%以下

均質で有害と認められる異物の混入がないこと

タイル部分張替え用エポキシ樹脂

強度	標準	低温硬化	アルカリ温水	冷熱水中繰返し	熱劣化
強度	0.6N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.4N/mm2以上
浸染破壊率	75%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上

皮膜物性

引張強さ	標準	高温	低温	アルカリ温水	熱劣化
引張強さ	0.6N/mm2以上	0.6N/mm2以上	0.6N/mm2以上	0.4N/mm2以上	0.4N/mm2以上
伸び	35%以上	35%以上	35%以上	25%以上	25%以上

注入材料
 建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024低粘度形又は中粘度形)

検査(コア採取)
 行わない
 行う 抜取り個数及びコアの形状 [改4.3.4(6)]による
 抜取り部の補修方法 図示による

Uカットシール材充填工法 [改4.2.2(2)][改4.4.6]

充填材料	品質・規格等	備考
<input type="checkbox"/> シーリング材	<input type="checkbox"/> 1成分形又は2成分形 ポリウレタン系シーリング材	ポリマーセメントモルタルの充填 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う

可とう性エポキシ樹脂

シール工法 [改4.2.2(3)][改4.4.7]
 シール材 パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂

既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [改4.4.2(4)]
 シール工法の範囲 (幅= 程度) [改4.4.3]

横須賀市上下水道局

図 面 名 称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種 別	建築工事改修特記仕様書(3)		
縮 尺	-	図 面 番 号	A-04
製 作 年 月	令和3年7月	原 図 サイズ	A3
課 長	保 長	担 当 者	設 計 者

□ ステンレス製建具の防音ドアセットの適用(大型建具を除く) [改5.6.2]
 □ 適用箇所は図示による
 遮音性能 □ T-1 □ T-2 □ T-3 □ T-4

□ ステンレス製建具の断熱ドアセットの適用(大型建具を除く) G [改5.6.2]
 □ 適用箇所は図示による
 断熱性能 □ H-1 □ H-2 □ H-3 □ H-4

□ ステンレス製建具の耐震ドアセットの適用(大型建具を除く) [改5.6.2]
 □ 適用箇所は図示による
 面変形追随性能 □ D-1 □ D-2 □ D-3

□ 9 防水型建具 [改5.6.2]
 建具用浸水深
 □ 2.0m以下 □ 2.0~4.5m以下 □ 4.5~6.5m以下
 □ 6.5~9.5m以下
 防水性(m³/h/m²)
 □ 0.02以下 □ []
 耐圧性能
 □ []
 気密性(JIS A 4702による)
 □ A-4等級 □ []
 水密性(JIS A 4702による)
 □ W-5等級 □ []
 防水性能試験
 □ 行なう □ 行わない
 * 試験方法は「防水型建具の防水性能試験方法(案)」による。

上記以外(下水道施設標準図 D-21~26)による。

□ 10 木製建具 (16.7.2)
 かまち戸の樹種 (16.7.2(3))
 かまち [] 鏡板 []
 ふすまの上張り (16.7.2(4))
 □ 新鳥の子程度又はビニル紙
 □ 鳥の子

□ 11 建具用金物 [改5.7.2(1)][改表5.7.1]
 金物の種類 金物の仕様

大型丁番	SUS製又は黄銅製 KKシブタニ(DH-340S) 中西産業KK(5K-5600) GK堀商店(2841) 程度とする
内蔵型上げ落し (内蔵型グレモン締り)	ハンドル □ ステンレス製 □ [] □ ローなしハンドル □ ロー付きハンドル KKシブタニ(55Gシリーズ) 中西産業KK(GMS-1300シリーズ) 程度とする
大型上げ落し (大型面付け上部締り)	KKシブタニ(DL-2000) 中西産業KK(5K-5600) GK堀商店(2621) 程度とする
大型扉用戸当りあおり止め	床付け GK堀商店(2113) 中西産業KK(DO-X-19) KKシブタニ(DC-91) 程度 壁付け GK堀商店(2103) 中西産業KK(DO-X-20) 程度
両面締りハンドル (ローラー付きグレモンハンドル)	ハンドル □ ステンレス製 □ [] KKシブタニ(H72SX+JSDL55) 中西産業KK (SUS-X-191-RO) 程度とする
片面締りハンドル (ローラー付きグレモンハンドル、 ロック付き)	ハンドル □ ステンレス製 □ [] KKシブタニ(H170S) 中西産業KK (SUS-FX-191-SR) 程度とする
面付3点両面締りハンドル	ハンドル □ ステンレス製 GK堀商店(2651-3W) KKシブタニ(DL-4000-3D) 程度
面付2点片面締りハンドル (両開き扉用)	ハンドル □ ステンレス製 KKシブタニ(DL-4000-2S) GK堀商店(2651-2) 程度とする

上記以外の金物は改修標準仕様書による。

□ 12 自動ドア開閉機構 [改5.8.3(1)][改5.8.3(2)][改表5.8.4]
 開閉方法 センサーの種類

□ スライディングドア	□ マットスイッチ □ 光線(反射)スイッチ
□ スイングドア	□ 熱線スイッチ □ 音波スイッチ □ 光電スイッチ □ 電波スイッチ □ タッチスイッチ □ 押しボタンスイッチ □ ペダルスイッチ □ 多機能トイスイッチ

□ 寒冷地の凍結防止装置 建具番号[適用箇所は図示による] [改5.8.3(7)]

□ 13 自閉式上吊り引戸装置(多目的トイレ等) [改5.9.3(2)]
 自閉式上吊り引戸装置の性能
 □ (改表5.9.1)による
 □ 製造所の標準仕様による

□ 14 重量シャッター [改5.10.2(2)]
 耐風圧性能(N/m²) [改5.10.2(3)][改表5.10.1]
 □ 1200 □ 図示による
 開閉機能による種類
 □ 上部電動式(手動併用)
 □ 上部手動式
 保護装置(一般の電動シャッター) [改5.10.2(4)]
 □ 障害物感知装置 □ []
 保護装置(煙感知器連動機構または手動閉鎖装置により閉鎖する屋内用防火シャッター) [改5.10.2(4)]
 (煙若しくは熱感知器連動機構または手動閉鎖装置により閉鎖する屋内用防火シャッター
 若しくは防煙シャッター)
 □ 障害物感知装置(自動閉鎖型)かつ「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める
 件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号、最終改正平成17年2月1日国土交通省告示
 第1392号)に定める基準に適合するもの

防火または防煙シャッター以外のシャッターケース [改5.10.2(6)]
 □ 設ける □ 設けない
 ガイドレール形式
 □ 耐風型(はずれ止めを設ける)
 □ 一般型

□ 15 防臭シャッター [改5.10.2(c)][改表5.10.1]
 耐風圧性能(N/m²)
 □ 1200 □ 800 □ 図示による
 通気性能(m³/min・m²)
 □ 0.2 □ []
 開閉機能による種類
 □ 上部電動式(手動併用) □ 上部手動式
 保護装置
 □ 障害物感知装置 □ []
 シャッターケース
 □ 設ける □ 設けない
 スラットの形式
 □ オーバーラッピング形
 □ 耐風型(はずれ止めを設ける) □ 一般型
 ガイドレール形式
 □ 耐風型(はずれ止めを設ける) □ 一般型
 遠置材
 □ クロロプレングム

□ 16 オーバーヘッドドア [改5.12.2(1)]
 形式 □ 一般タイプ □ 防臭タイプ
 セクション材 [改5.12.2(1)]
 □ アルミニウムタイプ JIS H 4001及びJIS H 4100による
 □ スチールタイプ JIS G 3312による
 □ ファイバーグラスタイプ JIS A 5701に準ずる
 □ 断熱タイプ

耐風圧性能(N/m²) [改5.12.2(2)]
 □ 500 □ 750 □ 1000 □ 1250
 □ [図示による]

開閉機構 [改5.12.2(3)]
 □ バランス式 □ チェーン式 □ チェーン式

収納形式 [改5.12.2(4)]
 □ スタンダード形 □ ローヘッド形 □ ハイリフト形 □ パーチカル形

ガイドレール [改5.12.3(2)]
 □ ステンレスSUS304 厚2mm以上 □ 溶融亜鉛めっき鋼板 厚2mm以上

アルミ型材の表面処理 [改5.12.4][改表5.2.2]
 □ B-1種
 □ B-2種
 着色方法 □ 二次電解着色 □ []
 色合い □ ブラック □ ステンカラー □ []
 □ ブラウン系 □ []
 □ JIS H 8602のA2種(無着色陽極酸化塗装複合皮膜)
 □ JIS H 8602のA2種(着色陽極酸化塗装複合皮膜)
 着色方法 □ 二次電解着色 □ []
 色合い □ ブラック □ ステンカラー □ []
 □ ブラウン系 □ []

製造所
 評価名簿による

□ 17 煙感知器連動自閉装置 [改5.13.2(1)]
 機器装置一式は、別図建築電気設備工事による

□ 18 ガラス[適用箇所、寸法並びに厚さは図示による] [改5.13.2(1)]
 強化ガラス
 板ガラスの材質 □ 図示による □ フロート板強化ガラス

熱線吸収板ガラス
 板ガラスの材質 □ 図示による □ フロート板強化ガラス
 色調 (□ グレー □ ブルー □ ブロンズ □ グリーン)

複層ガラス
 板ガラスの材質 □ 図示による □ []
 断熱性・日射熱遮蔽性による区分
 □ 1種 □ 2種 □ 3種(U3-1) □ 3種(U3-2)
 □ 4種 □ 5種

熱線反射ガラス
 板ガラスの材質 □ 図示による □ []
 色調 (□ ブロンズ □ シルバー)
 反射ガラス面の映像調整 □ 行う □ 行わない
 日射熱遮蔽性区分
 □ 1種 □ 2種 □ 3種
 耐久性区分
 □ A類 □ B類

□ 19 ガラスの留め材 [改5.13.2(2)][改表3.7.1]
 建具の種類 材種

アルミニウム製	□ シーリング材 □ ガスケット(Fix部はシーリング材)
鋼製	□ シーリング材 □ []
ステンレス製	□ シーリング材 □ []
木製建具	□ 押縁 □ []

防火戸のガラスの留め材は、建築基準法に基づく防火性能に関する技術的基準に適合したもの。

板ガラスをはめ込む溝の大きさ
 改修標準仕様書5.12.3以外のアルミニウム製建具及び板ガラスの場合は、(社)日本建築学会
 JSA A 17 「3.1 納まり寸法標準」によるほか、性能値が確認できる資料を監督職員に提出す
 る。

□ 20 ガラスブロック [改5.13.5]
 ガラスの色 [改5.13.5]
 □ クリアー
 □ カラー
 □ セラミックカラー □ リズミカラー □ 乳白色 □ 熱線反射

カ骨の材質 [改5.13.5]による □ []

化粧目地モルタルの色 □ []
 □ 白色 □ []

シーリング [改3.7.2]による

金属製化粧カバーの材質、寸法、形状等
 □ 図示による
 □ ステンレス製(SUS304)
 □ アルミニウム製
 表面処理
 □ B-1種 □ B-2種
 着色方法 □ 二次電解着色 □ []
 色合い □ ブラック □ ステンカラー □ ブラウン系 □ []

ガラスブロックの化粧目地
 □ シーリング(外部目地) □ 目地モルタル(内部目地) [改5.13.5(2)]

化粧目地の寸法 [改5.13.5(2)]
 □ 図示による □ [改5.13.5]による

伸縮調整目地の位置 [改5.13.5(2)]
 □ 図示による □ [改5.13.5]による

目地部のカ骨の補強方法
 □ ガラスブロック製造所の仕様による
 □ 図示による

防火性能 □ 有り □ 無し

工法
 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 [改5.13.5(2)]

□ 21 ガラス用フィルム(内張り用) [改5.13.5(2)]

用途による区分	記号
□ ガラス飛散防止フィルム	□ GS-A・B
□ 日射調整フィルム/ガラス飛散防止フィルム	□ SC-A/GS-A・B □ SC-B/GS-A・B □ []
□ ガラス貫通防止フィルム	□ SF-A
□ 日射調整フィルム/ガラス貫通防止フィルム	□ SC-A/SF-A □ SC-B/SF-A □ []

品質 JIS A 5759 による

■ 6章 内装改修工事

一般事項
 □ 1 接着剤
 接着剤のホルムアルデヒド放散量
 □ 規制対象外 □ 第三種
 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

特記事項
 ■ 1 他の部位との取り合い等 [改6.1.3(2)]
 既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲
 □ [改6.1.3(2)]による ■ 図示による

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 [改6.1.3(3)]
 □ [改6.1.3(3)]による ■ 図示による

天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 [改6.1.3(5)]
 ■ [改6.1.3(5)]による □ 図示による

□ 2 既存床の撤去並びに下地補修 [改6.2.2]
 ビニル床シート、ビニル床タイル等の除去
 □ 仕上材のみ(接着剤とも) 範囲 □ 図示による
 □ 下地モルタルまで 範囲 □ 図示による

コンクリート又はモルタル面の下地処理
 材料 □ ポリマーセメントモルタル
 ポリマーセメントモルタルの種類
 合成ゴム系、アクリル系、エチレン-酢ビ系

曲げ強さ	圧縮強さ	接着強さ		
		標準時	湿潤時	低温時
6.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	1.0N/mm ² 以上	0.8N/mm ² 以上	0.5N/mm ² 以上

表面状態 だれの下がり量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと
 透湿性 裏面の濡れ、水滴の付着がないこと
 均質で有害と認められる異物の混入がないこと

□ エポキシ樹脂モルタル

接着強さ	圧縮強さ	曲げ強さ
1.0N/mm ² 以上	20.0N/mm ² 以上	10.0N/mm ² 以上

a. こて塗りが容易で、かつ、硬化後の仕上がりが良好であること
 b. 均質で有害と認められる異物の混入がないこと
 c. 「労働安全衛生法」に基づく有機溶剤中毒予防規則に規定された第一種有機溶剤を使用しないこと
 d. 形状に異常がなく、だれが生じないこと
 e. 常温常湿(温度20±15℃、湿度65±20%)において、製造後6ヶ月間保存した後であっても、上記の品質・性能の各項目に適合していること

施工箇所 □ 図示による □ []

欠損部又は下地モルタル撤去部の下地モルタル塗り [改6.2.2(2)]
 □ 図示による

改修後の床の清掃範囲 [改6.2.2(3)]
 □ 改修箇所の室内 □ []

□ 3 既存壁の撤去並びに下地補修 [改6.3.2]
 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 [改6.3.2(1)]
 □ 図示による
 □ [改6.3.2(a)(5)]による

■ 4 軽量鉄骨天井下地 [改6.6.2(2)][改表6.6.1]
 野縁等の種類 [改6.6.2(2)][改表6.6.1]
 屋外 □ 25型 □ 19型
 屋内 ■ 19型 □ 25型

屋外の軽量鉄骨天井下地 [改6.6.3(1)]
 屋外の野縁受け、吊りボルト及びビニール等の間隔
 ■ 建築工事標準詳細図(3-21-1~4)による
 □ 図示による(耐風圧を確認する)

屋外の野縁の間隔 [改6.6.3(2)]
 □ 建築工事標準詳細図(3-21-1~4)による

横須賀市上下水道局			
図面名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	建築工事改修特記仕様書(5)		
縮尺	-	図面番号	A-06
製作年月	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者

<p>既存の埋込みインサート <input type="checkbox"/> 使用する <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない</p> <p>あと施工アンカーの引抜き試験 <input type="checkbox"/> 行う <input checked="" type="checkbox"/> 行わない</p> <p>軽量鉄骨天井下の補強 耐震性を確保した補強(必要に応じて斜め補強材を入れる。) <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []</p> <p>屋外の軒天井、ピロティ天井等の補強 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []</p>	<p>全面接着工法による敷き方 <input type="checkbox"/> 平場:市松敷き 階段部分:横様流し <input type="checkbox"/> []</p> <p>12 合成樹脂塗床 [改6.10.2][改6.10.3][改表6.10.1~8]</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げる種類</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 弾性ウレタン樹脂系塗床材</td> <td><input type="checkbox"/> 平滑仕上げ <input type="checkbox"/> 防滑仕上げ <input type="checkbox"/> つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> エポキシ樹脂系塗床材</td> <td><input type="checkbox"/> 薄膜流し膜べ仕上げ (<input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑) <input type="checkbox"/> 厚膜流し膜べ仕上げ (<input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑) <input type="checkbox"/> 樹脂モルタル仕上げ (<input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑) <input type="checkbox"/> 防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 薄膜型塗床材</td> <td><input type="checkbox"/> 平滑仕上げ</td> </tr> </table> <p>塗料のホルムアルデヒドの放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種</p>	種別	仕上げる種類	<input type="checkbox"/> 弾性ウレタン樹脂系塗床材	<input type="checkbox"/> 平滑仕上げ <input type="checkbox"/> 防滑仕上げ <input type="checkbox"/> つや消し仕上げ	<input type="checkbox"/> エポキシ樹脂系塗床材	<input type="checkbox"/> 薄膜流し膜べ仕上げ (<input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑) <input type="checkbox"/> 厚膜流し膜べ仕上げ (<input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑) <input type="checkbox"/> 樹脂モルタル仕上げ (<input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑) <input type="checkbox"/> 防滑仕上げ	<input type="checkbox"/> 薄膜型塗床材	<input type="checkbox"/> 平滑仕上げ	<p>下地調整の種類 [改6.14.3] [改6.14.4]</p> <p>モルタル及びプaster面 [改6.14.3(1)][改7.2.5][改表7.2.4]</p> <p><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</p> <p>コンクリート面 [改6.14.3(1)][改7.2.6(1)][改表7.2.5]</p> <p><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</p> <p>せつこうボード面 [改6.14.3(2)][改7.2.7][改表7.2.7]</p> <p><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</p> <p>壁紙のホルムアルデヒドの放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種</p>	<p>内装陶磁器タイル <input type="checkbox"/> 一般地仕様 <input type="checkbox"/> 寒冷地仕様(寒冷地域用) [改6.16.4(2)] 接着剤のホルムアルデヒド放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種</p> <p>18 断熱材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="checkbox"/> 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層付)</td> <td><input type="checkbox"/> 2種b</td> <td><input type="checkbox"/> 一般部</td> <td><input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []</td> <td rowspan="2">ノンフロン のもの</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3種bA</td> <td><input type="checkbox"/> 土層接地スラブ下地</td> <td><input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td><input type="checkbox"/> 2種1号 又は2種2号</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> <td><input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="checkbox"/> 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム</td> <td rowspan="2"><input type="checkbox"/> A種1</td> <td><input type="checkbox"/> 断熱材補修部分</td> <td></td> <td rowspan="2">ノンフロン のもの</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一般部</td> <td><input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 25</td> </tr> </table>	種類	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等	<input type="checkbox"/> 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層付)	<input type="checkbox"/> 2種b	<input type="checkbox"/> 一般部	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []	ノンフロン のもの	<input type="checkbox"/> 3種bA	<input type="checkbox"/> 土層接地スラブ下地	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 硬質ウレタンフォーム断熱材	<input type="checkbox"/> 2種1号 又は2種2号	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []		<input type="checkbox"/> 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム	<input type="checkbox"/> A種1	<input type="checkbox"/> 断熱材補修部分		ノンフロン のもの	<input type="checkbox"/> 一般部	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 25																																																																																			
種別	仕上げる種類																																																																																																																						
<input type="checkbox"/> 弾性ウレタン樹脂系塗床材	<input type="checkbox"/> 平滑仕上げ <input type="checkbox"/> 防滑仕上げ <input type="checkbox"/> つや消し仕上げ																																																																																																																						
<input type="checkbox"/> エポキシ樹脂系塗床材	<input type="checkbox"/> 薄膜流し膜べ仕上げ (<input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑) <input type="checkbox"/> 厚膜流し膜べ仕上げ (<input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑) <input type="checkbox"/> 樹脂モルタル仕上げ (<input type="checkbox"/> 平滑 <input type="checkbox"/> 防滑) <input type="checkbox"/> 防滑仕上げ																																																																																																																						
<input type="checkbox"/> 薄膜型塗床材	<input type="checkbox"/> 平滑仕上げ																																																																																																																						
種類	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層付)	<input type="checkbox"/> 2種b	<input type="checkbox"/> 一般部	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []	ノンフロン のもの																																																																																																																			
	<input type="checkbox"/> 3種bA	<input type="checkbox"/> 土層接地スラブ下地	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 硬質ウレタンフォーム断熱材	<input type="checkbox"/> 2種1号 又は2種2号	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム	<input type="checkbox"/> A種1	<input type="checkbox"/> 断熱材補修部分		ノンフロン のもの																																																																																																																			
		<input type="checkbox"/> 一般部	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 25																																																																																																																				
<p>5 軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーの種類 スタッドの高さが5.0m以下の場合 <input type="checkbox"/> [改表6.7.1]による <input type="checkbox"/> 図示による</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []</p>	<p>13 せつこうボード、その他ボード張り [改6.13.2][改表6.13.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記号</th> <th>仕上げる等</th> <th>部位</th> <th>厚さ(mm)・規格等</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> せつこうボード</td> <td>GB-R</td> <td></td> <td>壁</td> <td><input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>天井</td> <td><input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 不燃積層せつこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td><input type="checkbox"/> 化粧無(下張り用)</td> <td>天井</td> <td><input type="checkbox"/> 9.5(不燃) <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 化粧有(トラバーチン模様)</td> <td>天井</td> <td><input type="checkbox"/> 9.5(不燃) <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 木目化粧せつこうボード</td> <td>GB-D</td> <td><input type="checkbox"/> 木目 <input type="checkbox"/> 柾目 <input type="checkbox"/> 板目</td> <td>天井</td> <td><input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) 幅440mm程度 専用下地材付き</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> シーリングせつこうボード</td> <td>GB-S</td> <td></td> <td>壁</td> <td><input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>天井</td> <td><input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 強化せつこうボード</td> <td>GB-F</td> <td></td> <td>壁</td> <td><input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> 21.0(不燃) <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>天井</td> <td><input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> けい酸カルシウム板タイプ2(無石棉)</td> <td>0.8FK</td> <td></td> <td>壁</td> <td><input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>天井(屋内)</td> <td><input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 化粧ボード</td> <td>壁</td> <td><input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>天井(屋内)</td> <td><input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td><input type="checkbox"/> フラットタイプ(トラバーチン模様) <input type="checkbox"/> 凹凸タイプ</td> <td>天井</td> <td><input type="checkbox"/> 9(不燃) <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> [9] <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ロックウール化粧吸音板(軒天用)</td> <td>DR</td> <td><input type="checkbox"/> フラットタイプ(トラバーチン模様) <input type="checkbox"/> 凹凸タイプ</td> <td>天井</td> <td><input type="checkbox"/> 9(不燃) <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 木質系セメント板(硬質木モセメント板)</td> <td>G HW</td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> メラミン樹脂化粧板 JIS A6903による</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.6 <input type="checkbox"/> []</td> </tr> </table>	種類	記号	仕上げる等	部位	厚さ(mm)・規格等	<input type="checkbox"/> せつこうボード	GB-R		壁	<input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> []				天井	<input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 不燃積層せつこうボード	GB-NC	<input type="checkbox"/> 化粧無(下張り用)	天井	<input type="checkbox"/> 9.5(不燃) <input type="checkbox"/> []			<input type="checkbox"/> 化粧有(トラバーチン模様)	天井	<input type="checkbox"/> 9.5(不燃) <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 木目化粧せつこうボード	GB-D	<input type="checkbox"/> 木目 <input type="checkbox"/> 柾目 <input type="checkbox"/> 板目	天井	<input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) 幅440mm程度 専用下地材付き	<input type="checkbox"/> シーリングせつこうボード	GB-S		壁	<input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> []				天井	<input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 強化せつこうボード	GB-F		壁	<input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> 21.0(不燃) <input type="checkbox"/> []				天井	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> けい酸カルシウム板タイプ2(無石棉)	0.8FK		壁	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []				天井(屋内)	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []			<input type="checkbox"/> 化粧ボード	壁	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []				天井(屋内)	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> ロックウール化粧吸音板	DR	<input type="checkbox"/> フラットタイプ(トラバーチン模様) <input type="checkbox"/> 凹凸タイプ	天井	<input type="checkbox"/> 9(不燃) <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> [9] <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> ロックウール化粧吸音板(軒天用)	DR	<input type="checkbox"/> フラットタイプ(トラバーチン模様) <input type="checkbox"/> 凹凸タイプ	天井	<input type="checkbox"/> 9(不燃) <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 木質系セメント板(硬質木モセメント板)	G HW			<input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> メラミン樹脂化粧板 JIS A6903による				<input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.6 <input type="checkbox"/> []	<p>15 モルタル塗り 吸水調整材 [改6.15.3(4)]</p> <table border="1"> <tr> <th>全固形率(%)</th> <th>吸水量(g)</th> <th>接着強度(N/mm²)</th> <th>界面破断率(%)</th> </tr> <tr> <td>表示値±1.0%以内</td> <td>30分間で1g以下</td> <td>1.0 N/mm²以上</td> <td>50%以下</td> </tr> </table> <p>均質で有害と認められる異物の混入がないこと</p> <p>防水剤(防水モルタル塗りの混入剤) 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 JIS A1404による試験)</p> <table border="1"> <tr> <th>混合割合</th> <th>凝集時間</th> <th>曲げ及び圧縮強度比</th> <th>吸水比</th> <th>透水性</th> </tr> <tr> <td>セメント重量の5%以下</td> <td>JIS R5201の試験において 始発1時間以上 終結10時間以内</td> <td>70%以上</td> <td>95%以下</td> <td>80%以下 294.0 KPa/h</td> </tr> </table> <p>膨張性のひび割れ及びそりがなく、JIS R5201の試験9</p> <p>既製目地 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []</p> <p>床目地 [改6.15.6(2)] <input type="checkbox"/> 設置する 工法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [改6.15.6(2)ウ]による <input type="checkbox"/> 設置しない</p>	全固形率(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm ²)	界面破断率(%)	表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0 N/mm ² 以上	50%以下	混合割合	凝集時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水性	セメント重量の5%以下	JIS R5201の試験において 始発1時間以上 終結10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294.0 KPa/h	<p>ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂等を用いた断熱材のホルムアルデヒド放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種</p> <p>建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームの製造所 評価名簿による</p> <p>19 吸音材</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>品質規格</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> グラスウール</td> <td>グラスウール吸音ボード 32K</td> <td><input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> []</td> <td></td> </tr> </table> <p>ボードの表面のガラスクロス JIS R3414 による EP18A程度</p> <p>ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂等を用いた断熱材ホルムアルデヒドの放散量 <input type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種</p> <p>留付方法 <input type="checkbox"/> インサールピン留め化粧ワッシャー押え <input type="checkbox"/> P.C. ALCの場合はインサールピン化粧ワッシャー押え (@300.9.1本/m) <input type="checkbox"/> ステンレスファスナー留め(壁、天井面8ヶ所/枚(910×1820相当)) <input type="checkbox"/> 樹脂製断熱材ファスナー留め 8ヶ所 (910×1820)</p>	材料	種類	厚さ(mm)	品質規格	<input type="checkbox"/> グラスウール	グラスウール吸音ボード 32K	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> []	
種類	記号	仕上げる等	部位	厚さ(mm)・規格等																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> せつこうボード	GB-R		壁	<input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
			天井	<input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> 不燃積層せつこうボード	GB-NC	<input type="checkbox"/> 化粧無(下張り用)	天井	<input type="checkbox"/> 9.5(不燃) <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
		<input type="checkbox"/> 化粧有(トラバーチン模様)	天井	<input type="checkbox"/> 9.5(不燃) <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> 木目化粧せつこうボード	GB-D	<input type="checkbox"/> 木目 <input type="checkbox"/> 柾目 <input type="checkbox"/> 板目	天井	<input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) 幅440mm程度 専用下地材付き																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> シーリングせつこうボード	GB-S		壁	<input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
			天井	<input type="checkbox"/> 9.5(準不燃) <input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> 強化せつこうボード	GB-F		壁	<input type="checkbox"/> 12.5(不燃) <input type="checkbox"/> 15.0(不燃) <input type="checkbox"/> 21.0(不燃) <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
			天井	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> けい酸カルシウム板タイプ2(無石棉)	0.8FK		壁	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
			天井(屋内)	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
		<input type="checkbox"/> 化粧ボード	壁	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
			天井(屋内)	<input type="checkbox"/> 6 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> ロックウール化粧吸音板	DR	<input type="checkbox"/> フラットタイプ(トラバーチン模様) <input type="checkbox"/> 凹凸タイプ	天井	<input type="checkbox"/> 9(不燃) <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> [9] <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> ロックウール化粧吸音板(軒天用)	DR	<input type="checkbox"/> フラットタイプ(トラバーチン模様) <input type="checkbox"/> 凹凸タイプ	天井	<input type="checkbox"/> 9(不燃) <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> 12(不燃) <input type="checkbox"/> 15(不燃) <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> 木質系セメント板(硬質木モセメント板)	G HW			<input type="checkbox"/> 20 <input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> メラミン樹脂化粧板 JIS A6903による				<input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.6 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																			
全固形率(%)	吸水量(g)	接着強度(N/mm ²)	界面破断率(%)																																																																																																																				
表示値±1.0%以内	30分間で1g以下	1.0 N/mm ² 以上	50%以下																																																																																																																				
混合割合	凝集時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水性																																																																																																																			
セメント重量の5%以下	JIS R5201の試験において 始発1時間以上 終結10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294.0 KPa/h																																																																																																																			
材料	種類	厚さ(mm)	品質規格																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> グラスウール	グラスウール吸音ボード 32K	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> 50 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																					
<p>6 ビニル床シート張りG [改6.8.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 発泡層のないもの</td> <td>FS(被層ビニル床シート) [旧:NC(ビニル床シート)]</td> <td><input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> マーブル柄</td> <td><input type="checkbox"/> 2.5</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 発泡層のあるもの</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> </tr> </table> <p>工法 [改6.8.3] <input type="checkbox"/> 熱溶接工法 <input type="checkbox"/> 突付け (施工箇所)</p>	種類	JISの記号	色柄	厚さ	<input type="checkbox"/> 発泡層のないもの	FS(被層ビニル床シート) [旧:NC(ビニル床シート)]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> マーブル柄	<input type="checkbox"/> 2.5	<input type="checkbox"/> 発泡層のあるもの		<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> []	<p>14 壁紙張り [改6.14.2(1)]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工場所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>紙系</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>織物系</td> <td>難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>プラ</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質系</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>凡例:プラ(プラスチック系)、不燃石膏(不燃石膏ボード下地) :不(不燃)、準(準不燃)、難(難燃)を示す。</p>	施工場所	壁紙の種類	火種別	備考		紙系	不燃			織物系	難燃			プラ	不燃			無機質系	不燃			その他	不燃		<p>16 セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り タイルの種類 [改6.16.3(2)]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわ薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>汚泥タイル</th> <th>再生材G</th> <th>耐凍害性</th> <th>滑り抵抗性</th> <th>タイルの品質等</th> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>図示</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注品</td> <td></td> <td></td> <td>有 無</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>役物 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)</p> <p>タイルの見本焼 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う</p> <p>内装陶磁器タイル <input checked="" type="checkbox"/> 一般地仕様 <input type="checkbox"/> 寒冷地仕様</p> <p>張り付け用材料 [改6.16.3(2)ウ(c)] 既製調合モルタル</p> <table border="1"> <tr> <th>保水率(%)</th> <th>単位容積質量(kg/l)</th> <th>接着強度(N/mm²)</th> <th>長さ変化率(%)</th> <th>曲げ強度(N/mm²)</th> </tr> <tr> <td>70.0以上</td> <td>1.80程度</td> <td>0.60以上</td> <td>0.40以上</td> <td>4.0以上</td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等	浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無			保水率(%)	単位容積質量(kg/l)	接着強度(N/mm ²)	長さ変化率(%)	曲げ強度(N/mm ²)	70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	4.0以上	<p>20 間伐材等 使用箇所 間伐材、合板・製材工場から発生する端材等の残材、林地残材又は小径木の体積比割合が10%以上であること。 室内の内装材にあっては、ホルムアルデヒド放散量「JAS規格による測定方法」が平均値で0.3mg/L以下かつ最大値で0.4mg/L以下であること。</p>																																																
種類	JISの記号	色柄	厚さ																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 発泡層のないもの	FS(被層ビニル床シート) [旧:NC(ビニル床シート)]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> マーブル柄	<input type="checkbox"/> 2.5																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 発泡層のあるもの		<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> []																																																																																																																				
施工場所	壁紙の種類	火種別	備考																																																																																																																				
	紙系	不燃																																																																																																																					
	織物系	難燃																																																																																																																					
	プラ	不燃																																																																																																																					
	無機質系	不燃																																																																																																																					
	その他	不燃																																																																																																																					
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等																																																																																																													
浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無																																																																																																															
保水率(%)	単位容積質量(kg/l)	接着強度(N/mm ²)	長さ変化率(%)	曲げ強度(N/mm ²)																																																																																																																			
70.0以上	1.80程度	0.60以上	0.40以上	4.0以上																																																																																																																			
<p>7 ビニル床タイル張りG [改6.8.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JISの記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 接着形</td> <td>KT(コンポジションビニル床タイル) [旧:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))] CTS(コンポジションビニル床タイル(軟質))]</td> <td><input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物</td> <td><input type="checkbox"/> 2.0</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 置敷形</td> <td>FT(被層ビニル床タイル) [旧:HT(ホモジニアビニル床タイル)]</td> <td><input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> </tr> </table> <p>性能 帯電防止 帯電防止性能評価値(JIS A 1455)1.2以上~3.2未満 または体積電気抵抗値(JIS A 1454)1×10⁷~1×10¹⁰Ω程度 耐動荷重 <input type="checkbox"/> [] 耐薬品 <input type="checkbox"/> []</p>	種類	JISの記号	色柄	厚さ	<input type="checkbox"/> 接着形	KT(コンポジションビニル床タイル) [旧:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))] CTS(コンポジションビニル床タイル(軟質))]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> 2.0	<input type="checkbox"/> 置敷形	FT(被層ビニル床タイル) [旧:HT(ホモジニアビニル床タイル)]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> []	<p>17 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類 [改6.16.4][改6.16.3(6)ウ]</p> <p>タイルの試験張り [改6.16.3(2)ウ(c)] <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う</p> <p>伸縮調整目地の位置 [改6.16.2(1)ウア] <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []</p>	<p>7章 塗装改修工事</p> <p>1 塗装材料等 <input type="checkbox"/> 屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火性能に関する技術的基準に適合するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 <input checked="" type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種</p> <p>2 下地調整 下地調整の種類 [改表7.2.1~7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="3">下地調整の種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプaster面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及びALCパネル面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	下地面の種類		下地調整の種類			木部	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				鉄鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				モルタル面及びプaster面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				コンクリート面及びALCパネル面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				コンクリート面及び押出成形セメント板面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				せつこうボード面及びその他ボード面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																				
種類	JISの記号	色柄	厚さ																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 接着形	KT(コンポジションビニル床タイル) [旧:CT(コンポジションビニル床タイル(半硬質))] CTS(コンポジションビニル床タイル(軟質))]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> 2.0																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 置敷形	FT(被層ビニル床タイル) [旧:HT(ホモジニアビニル床タイル)]	<input type="checkbox"/> 無地 <input type="checkbox"/> 柄物	<input type="checkbox"/> []																																																																																																																				
下地面の種類		下地調整の種類																																																																																																																					
木部	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
鉄鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
モルタル面及びプaster面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
コンクリート面及びALCパネル面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
コンクリート面及び押出成形セメント板面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
せつこうボード面及びその他ボード面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
<p>9 誘導用及び注意喚起用床材 [改6.8.2]</p> <p>形状:JIS T 9251 (色彩は黄色を原則とする)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> レジンコンクリート製</td> <td>300×300 厚さ30程度 <input type="checkbox"/> []</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 塩化ビニル製</td> <td>300×300 <input type="checkbox"/> []</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 磁器質タイル</td> <td>300角 <input type="checkbox"/> []</td> <td></td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	備考	<input type="checkbox"/> レジンコンクリート製	300×300 厚さ30程度 <input type="checkbox"/> []		<input type="checkbox"/> 塩化ビニル製	300×300 <input type="checkbox"/> []		<input type="checkbox"/> 磁器質タイル	300角 <input type="checkbox"/> []		<p>18 断熱材 [改6.14.2(1)]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>品質等</th> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="checkbox"/> 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層付)</td> <td><input type="checkbox"/> 2種b</td> <td><input type="checkbox"/> 一般部</td> <td><input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []</td> <td rowspan="2">ノンフロン のもの</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3種bA</td> <td><input type="checkbox"/> 土層接地スラブ下地</td> <td><input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td><input type="checkbox"/> 2種1号 又は2種2号</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> <td><input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"><input type="checkbox"/> 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム</td> <td rowspan="2"><input type="checkbox"/> A種1</td> <td><input type="checkbox"/> 断熱材補修部分</td> <td></td> <td rowspan="2">ノンフロン のもの</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一般部</td> <td><input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 25</td> </tr> </table>	種類	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等	<input type="checkbox"/> 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層付)	<input type="checkbox"/> 2種b	<input type="checkbox"/> 一般部	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []	ノンフロン のもの	<input type="checkbox"/> 3種bA	<input type="checkbox"/> 土層接地スラブ下地	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 硬質ウレタンフォーム断熱材	<input type="checkbox"/> 2種1号 又は2種2号	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []		<input type="checkbox"/> 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム	<input type="checkbox"/> A種1	<input type="checkbox"/> 断熱材補修部分		ノンフロン のもの	<input type="checkbox"/> 一般部	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 25	<p>17 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類 [改6.16.4(2)]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわ薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>汚泥タイル</th> <th>再生材G</th> <th>耐凍害性</th> <th>滑り抵抗性</th> <th>タイルの品質等</th> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>図示</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注品</td> <td></td> <td></td> <td>有 無</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>役物 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)</p> <p>タイルの見本焼 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等	浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無			<p>横須賀市上下水道局</p> <p>図面名称 下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事</p> <p>種別 建築工事改修特記仕様書(6)</p> <p>縮尺 - 図面番号 A-07</p> <p>製作年 令和3年7月 原図サイズ A3</p> <p>課長 係 担当者 設計者</p>																																																									
種類	寸法(mm)	備考																																																																																																																					
<input type="checkbox"/> レジンコンクリート製	300×300 厚さ30程度 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																						
<input type="checkbox"/> 塩化ビニル製	300×300 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																						
<input type="checkbox"/> 磁器質タイル	300角 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																						
種類	種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層付)	<input type="checkbox"/> 2種b	<input type="checkbox"/> 一般部	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []	ノンフロン のもの																																																																																																																			
	<input type="checkbox"/> 3種bA	<input type="checkbox"/> 土層接地スラブ下地	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 硬質ウレタンフォーム断熱材	<input type="checkbox"/> 2種1号 又は2種2号	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 25 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム	<input type="checkbox"/> A種1	<input type="checkbox"/> 断熱材補修部分		ノンフロン のもの																																																																																																																			
		<input type="checkbox"/> 一般部	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 25																																																																																																																				
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等																																																																																																													
浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無																																																																																																															
<p>10 ビニル幅木 [改6.8.2(4)]</p> <p>高さ(mm) <input type="checkbox"/> 60 <input type="checkbox"/> 75 <input type="checkbox"/> 100 厚さ(mm) <input type="checkbox"/> 1.5 <input type="checkbox"/> []</p>	<p>14 壁紙張り [改6.14.2(1)]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工場所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>紙系</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>織物系</td> <td>難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>プラ</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質系</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> </table>	施工場所	壁紙の種類	火種別	備考		紙系	不燃			織物系	難燃			プラ	不燃			無機質系	不燃			その他	不燃		<p>17 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類 [改6.16.4(2)]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわ薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>汚泥タイル</th> <th>再生材G</th> <th>耐凍害性</th> <th>滑り抵抗性</th> <th>タイルの品質等</th> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>図示</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注品</td> <td></td> <td></td> <td>有 無</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>役物 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)</p> <p>タイルの見本焼 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等	浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無			<p>7章 塗装改修工事</p> <p>1 塗装材料等 <input type="checkbox"/> 屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火性能に関する技術的基準に適合するものとする。 <input checked="" type="checkbox"/> 屋内で使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量 <input checked="" type="checkbox"/> 規制対象外 <input type="checkbox"/> 第三種</p> <p>2 下地調整 下地調整の種類 [改表7.2.1~7]</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">下地面の種類</th> <th colspan="3">下地調整の種類</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプaster面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及びALCパネル面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及びその他ボード面</td> <td><input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	下地面の種類		下地調整の種類			木部	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				鉄鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				モルタル面及びプaster面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				コンクリート面及びALCパネル面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				コンクリート面及び押出成形セメント板面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種				せつこうボード面及びその他ボード面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																	
施工場所	壁紙の種類	火種別	備考																																																																																																																				
	紙系	不燃																																																																																																																					
	織物系	難燃																																																																																																																					
	プラ	不燃																																																																																																																					
	無機質系	不燃																																																																																																																					
	その他	不燃																																																																																																																					
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等																																																																																																													
浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無																																																																																																															
下地面の種類		下地調整の種類																																																																																																																					
木部	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
鉄鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
モルタル面及びプaster面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
コンクリート面及びALCパネル面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
コンクリート面及び押出成形セメント板面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
せつこうボード面及びその他ボード面	<input type="checkbox"/> RA種 <input type="checkbox"/> RB種 <input type="checkbox"/> RC種																																																																																																																						
<p>11 タイルカーペット敷き [改6.9.3][改表6.9.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>パイル形式</th> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ループパイル</td> <td><input type="checkbox"/> 第一種 <input type="checkbox"/> 第二種</td> <td><input type="checkbox"/> 500×500 <input type="checkbox"/> []</td> <td><input type="checkbox"/> 6.5 <input type="checkbox"/> []</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> カットパイル</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> カットループ併用</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> <td><input type="checkbox"/> []</td> <td></td> </tr> </table>	パイル形式	種類	種類	総厚さ(mm)	施工箇所	<input type="checkbox"/> ループパイル	<input type="checkbox"/> 第一種 <input type="checkbox"/> 第二種	<input type="checkbox"/> 500×500 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 6.5 <input type="checkbox"/> []		<input type="checkbox"/> カットパイル	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []		<input type="checkbox"/> カットループ併用	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []		<p>14 壁紙張り [改6.14.2(1)]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工場所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>紙系</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>織物系</td> <td>難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>プラ</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質系</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> </table>	施工場所	壁紙の種類	火種別	備考		紙系	不燃			織物系	難燃			プラ	不燃			無機質系	不燃			その他	不燃		<p>17 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類 [改6.16.4(2)]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわ薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>汚泥タイル</th> <th>再生材G</th> <th>耐凍害性</th> <th>滑り抵抗性</th> <th>タイルの品質等</th> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>図示</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注品</td> <td></td> <td></td> <td>有 無</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>役物 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)</p> <p>タイルの見本焼 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等	浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無			<p>横須賀市上下水道局</p> <p>図面名称 下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事</p> <p>種別 建築工事改修特記仕様書(6)</p> <p>縮尺 - 図面番号 A-07</p> <p>製作年 令和3年7月 原図サイズ A3</p> <p>課長 係 担当者 設計者</p>																																																		
パイル形式	種類	種類	総厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																			
<input type="checkbox"/> ループパイル	<input type="checkbox"/> 第一種 <input type="checkbox"/> 第二種	<input type="checkbox"/> 500×500 <input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 6.5 <input type="checkbox"/> []																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> カットパイル	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []																																																																																																																				
<input type="checkbox"/> カットループ併用	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []																																																																																																																				
施工場所	壁紙の種類	火種別	備考																																																																																																																				
	紙系	不燃																																																																																																																					
	織物系	難燃																																																																																																																					
	プラ	不燃																																																																																																																					
	無機質系	不燃																																																																																																																					
	その他	不燃																																																																																																																					
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等																																																																																																													
浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無																																																																																																															
<p>帯電性 <input type="checkbox"/> 人体帯電圧 3kV以下 (フリーアクセスフロア施設範囲) <input type="checkbox"/></p>	<p>14 壁紙張り [改6.14.2(1)]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工場所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>紙系</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>織物系</td> <td>難燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>プラ</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質系</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>不燃</td> <td></td> </tr> </table>	施工場所	壁紙の種類	火種別	備考		紙系	不燃			織物系	難燃			プラ	不燃			無機質系	不燃			その他	不燃		<p>17 接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの種類 [改6.16.4(2)]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>吸水率による区分</th> <th>うわ薬</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>汚泥タイル</th> <th>再生材G</th> <th>耐凍害性</th> <th>滑り抵抗性</th> <th>タイルの品質等</th> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>図示</td> <td>I類 II類 III類</td> <td>無釉 施釉</td> <td>有 無</td> <td>標準 特注品</td> <td></td> <td></td> <td>有 無</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>役物 標準的な曲がりの役物は一体成形とする。(特殊役物は除く)</p> <p>タイルの見本焼 <input type="checkbox"/> 行わない <input type="checkbox"/> 行う</p>	施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等	浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無			<p>横須賀市上下水道局</p> <p>図面名称 下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事</p> <p>種別 建築工事改修特記仕様書(6)</p> <p>縮尺 - 図面番号 A-07</p> <p>製作年 令和3年7月 原図サイズ A3</p> <p>課長 係 担当者 設計者</p>																																																																						
施工場所	壁紙の種類	火種別	備考																																																																																																																				
	紙系	不燃																																																																																																																					
	織物系	難燃																																																																																																																					
	プラ	不燃																																																																																																																					
	無機質系	不燃																																																																																																																					
	その他	不燃																																																																																																																					
施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分	うわ薬	役物	色	汚泥タイル	再生材G	耐凍害性	滑り抵抗性	タイルの品質等																																																																																																													
浴室	図示	I類 II類 III類	無釉 施釉	有 無	標準 特注品			有 無																																																																																																															

<input type="checkbox"/> 3 錆止め塗料塗り 塗料種別 鉄鋼面錆止め塗料 EP-G以外 <input type="checkbox"/> A種 鉛・クロムフリーさび止めペイント1種 EP-G <input type="checkbox"/> B種 亜鉛めっき面錆止め塗料 EP-G以外 <input type="checkbox"/> B種 変性エポキシ樹脂プライマー EP-G <input type="checkbox"/> C種		[改7.3.2~3]
<input type="checkbox"/> 4 塗装塗り [改7.4.2~7.14.2][改表7.4.1~7.14.1]		
塗装の種類	塗装面	工程
		塗替え 新規
<input type="checkbox"/> 合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部(外部)	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [] [改7.4.3] [改7.4.3]
	木部(内部)	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] [改7.4.3] [改7.4.3]
	鉄鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.4.4] [改7.4.4]
	亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] [改7.4.5] [改7.4.5]
	鋼製建具	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] [改7.4.5] [改7.4.5]
<input type="checkbox"/> フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)	屋内木部	[改7.6.2]
	鉄鋼面	[改7.6.3]
	亜鉛めっき鋼面	[改7.6.3]
<input type="checkbox"/> アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	屋内のコンクリート面・モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> B種 [改7.7.2] [改7.7.2]
<input type="checkbox"/> 耐候性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 [改7.8.2]
	亜鉛めっき鋼面 上塗り <input type="checkbox"/> 1級(ふっ素樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 2級(アクリルシリコン樹脂塗料) <input type="checkbox"/> 3級(ポリウレタン樹脂塗料)	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種 [改7.8.3]
	コンクリート面	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C種 <input type="checkbox"/> C-2種 [18.7.4] [改7.8.4]
	押出成形セメント板面	<input type="checkbox"/> A-1種 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> A-2種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> B-1種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> B-2種 <input type="checkbox"/> C種 <input type="checkbox"/> C-1種 <input type="checkbox"/> C種 <input type="checkbox"/> C-2種 [18.7.4] [改7.8.4]
<input type="checkbox"/> つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	屋内木部	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> [] [改7.9.3] [改7.9.3]
	屋内鉄鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.4] [改7.9.4]
	屋内亜鉛めっき鋼面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.5] [改7.9.5]

塗装の種類	塗装面	工程
		塗替え 新規
<input type="checkbox"/> つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	(つづき) <input type="checkbox"/> つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コンクリート面 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2] [改7.9.2] モルタル面 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2] [改7.9.2] プラスター面 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2] [改7.9.2] せっこうボード面 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.9.2] [改7.9.2]
<input type="checkbox"/> 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)	塗装面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2] [改7.10.2]
	コンクリート面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2] [改7.10.2]
	モルタル面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2] [改7.10.2]
	プラスター面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2] [改7.10.2]
	せっこうボード面	<input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> [] <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.10.2] [改7.10.2]
<input type="checkbox"/> 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)	屋内コンクリート面・モルタル面 プラスター面・せっこうボード面・木部等	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.11.2] <input type="checkbox"/> C種 [改7.11.2]
<input type="checkbox"/> ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)	木部	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.12.2] [改7.12.2]
<input type="checkbox"/> クリアラッカー塗り (CL)	木部	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.5.2] [改7.5.2]
<input type="checkbox"/> ラッカーエナメル塗り (LE)	木部	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.13.2] [改7.13.2]
<input type="checkbox"/> オイルステイン塗り (OS)	木部	[改7.14.2] [改7.14.2]
<input type="checkbox"/> 木材保護塗料塗り (WP)	木部	<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 [改7.15.2] [改7.15.2]
合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 <input type="checkbox"/> 1種 [改7.4.2]		
<input type="checkbox"/> 5 床用塗料塗り	材質 <input type="checkbox"/> ウレタン樹脂系塗料 仕上種別 <input type="checkbox"/> 平滑仕上げ <input type="checkbox"/> 防滑仕上げ (施工箇所) 塗付量 <input type="checkbox"/> プライマー塗りのうえ主材2回塗りとし、総塗付量は、プライマー塗りを含めて0.5kg/m ² 以上とする。	

■ 8章 耐震改修工事		
<input type="checkbox"/> 1 鉄筋の種類 <input type="checkbox"/> 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> 図示による	[改8.2.1]	
<input type="checkbox"/> 2 溶接金網 網目の形状寸法 鉄線の径 施工箇所 <input type="checkbox"/> 100×100 <input type="checkbox"/> 6.0 (JIS G 3551) <input type="checkbox"/> 構造細目共通図による	[改8.2.2]	
<input type="checkbox"/> 3 鉄筋の継手 <input type="checkbox"/> 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> []	[改8.3.4]	
<input type="checkbox"/> 4 鉄筋の最小かぶり厚さ <input type="checkbox"/> 構造細目共通図による 塩害対策 <input type="checkbox"/> 必要としない <input type="checkbox"/> 必要とする	[改8.3.5]	
<input type="checkbox"/> 5 帯筋 <input type="checkbox"/> 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> []	[改8.3.4(6)(イ)]	
<input type="checkbox"/> 6 壁開口部の補強 <input type="checkbox"/> 構造細目共通図による <input type="checkbox"/> 図示による	[改8.3.7]	
<input type="checkbox"/> 7 ガス圧接 圧接部の確認試験 <input type="checkbox"/> 超音波探傷試験 <input type="checkbox"/> 引張試験	[改8.3.8(10)(イ)] (5.4.10 (イ)(b))	

<input type="checkbox"/> 8 コンクリートの材料 セメントの種類 [改8.2.5(1)] ■ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R5210の規定に適合し、かつ、次の規定に適合するものとする。 水和熱が7日目で352J/g以下、28日目で402J/g以下とする。 <input type="checkbox"/> 早強ポルトランドセメント(JIS R5210) <input type="checkbox"/> 高炉セメントのB種(JIS R5211)			
骨材 [改8.2.5(2)] 砕石及び砕砂(JIS A5005)のアルカリシリカ反応性による区分 <input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B アルカリ骨材反応抑制対策を行う 細骨材の塩分含有量(%) <input checked="" type="checkbox"/> 0.04以下 <input type="checkbox"/> []			
混和材料の種類 [改8.2.5(4)] <input checked="" type="checkbox"/> 混和剤 JIS A6204 に適合するAE剤、AE減水剤及び高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI種とする。 また、防錆材を併用する場合はJIS A6205 に適合する防錆材とする。 <input type="checkbox"/> 混和材 JIS A6201 に適合するフライアッシュのI種、II種若しくはIV種、JIS A6206 に適合する高炉スラグ微粉末、JIS A6207 に適合するシリカフェューム又はJIS A6202 に適合する膨張材とする。			
<input type="checkbox"/> 9 コンクリートの種類及び強度 [改8.1.3][改表8.1.1] レディーミクストコンクリートの類別 <input type="checkbox"/> I類 <input checked="" type="checkbox"/> II類 普通コンクリート [改8.1.4(1)(ア)][改8.1.4(2)(イ)]			
設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	施工箇所	
<input type="checkbox"/> 27	<input type="checkbox"/> 15 <input checked="" type="checkbox"/> 18	開口閉鎖部、新設壁部	
<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18		
<input type="checkbox"/> 10 コンクリートの品質 [改8.1.4(3)(ア)] コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 許容差 <input checked="" type="checkbox"/> [改8.1.4(3)(ア)①]による <input type="checkbox"/> 図示による 測定方法 <input checked="" type="checkbox"/> [改8.1.4(3)(ア)②]による <input type="checkbox"/> 図示による コンクリートの打直し仕上げ 合板せき板を用いる場合 [改8.1.4(3)(イ)][改表8.1.4]			
種別	適用箇所		
<input type="checkbox"/> A種			
<input checked="" type="checkbox"/> B種			
<input type="checkbox"/> C種			
コンクリートの仕上りの平坦さ [改8.1.4(3)(イ)] <input type="checkbox"/> [改表8.1.4]による <input type="checkbox"/> 図示による			
外部に面するコンクリート打直し仕上げ面の打増し厚さ(mm) [改8.7.8(1)(オ)] <input type="checkbox"/> 図示による			
<input type="checkbox"/> 11 型枠 型枠(せき板)の種類 [改8.2.7] <input checked="" type="checkbox"/> 合板 塗装の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有(内部打直しB・C種で、吹付け・塗装等を行わない面) <input type="checkbox"/> 無(上記以外)			
貫通孔(スリーブ) [改8.2.7(7)]			
材種	仕様箇所		
溶融亜鉛めっき鋼板	下記以外の円形スリーブ		
つば付き鋼管	外壁の地中部分等水密を要する部分のスリーブ		
硬質塩化ビニル管	地中部分で水密を要しない部分のスリーブ		
紙スリーブ	柱及び梁以外の箇所、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分		
<input type="checkbox"/> 12 モルタル及びグラウト材 [改8.2.12(1)] 柱底等の均しモルタル <input type="checkbox"/> 無収縮モルタル 製造所は、評価名簿による グラウト材 [改8.2.12] <input checked="" type="checkbox"/> 無収縮グラウト材 構造体用モルタルの圧縮強度及びフロー値 [改8.2.6] <input type="checkbox"/> 図示による			
<input type="checkbox"/> 13 無筋コンクリート [改8.11.1(3)]			
設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	粗骨材の最大寸法 (mm)	施工箇所
<input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> 25	
<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 15 <input type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/> []	

床目地 <input type="checkbox"/> 設置する 工法 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [改6.15.6(1)(カ)]による <input type="checkbox"/> 設置しない	
<input type="checkbox"/> 14 あと施工アンカー工事 材料 [改8.2.4(2)] <input type="checkbox"/> 金属系アンカー(耐震補強用) 引張り耐力及びせん断耐力 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [] アンカー本体の径及び埋込み深さ <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [] アンカーのセット方式 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 本体打込み式 接合筋の種類 <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [] 接合筋の径及び長さ <input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [] <input checked="" type="checkbox"/> 接着系アンカー((回転・打撃型)) [改8.2.4(3)] 引張り耐力及びせん断耐力 <input checked="" type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> カプセル型 アンカーの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [] アンカーの接着剤の品質 <input type="checkbox"/> 有機系 <input checked="" type="checkbox"/> 無機系 アンカー筋の径及び埋込み深さ <input checked="" type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> [] アンカー筋の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート用棒鋼 <input type="checkbox"/> 全ねじボルト <input type="checkbox"/> [] アンカー筋の新設壁内への定着の長さ <input checked="" type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> []	
性能確認試験 [改8.2.4(4)] <input checked="" type="checkbox"/> 行う (確認強度は図示による) <input type="checkbox"/> 行わない	
穿孔前の埋込み配管等の探査 [改8.12.4(2)] 範囲 <input checked="" type="checkbox"/> あと施工アンカー施工部分全て <input type="checkbox"/> 図示による 方法 <input checked="" type="checkbox"/> 探査器により探査し、配管等の位置の墨出しを行う。 <input type="checkbox"/> はつり出しによる	
施工確認試験 [改8.12.7] <input checked="" type="checkbox"/> 行う (確認強度は図示による) 試験法 <input checked="" type="checkbox"/> 引張り試験(抜取り) <input type="checkbox"/> 打音試験	

横須賀市上下水道局			
図面名称	下町浄化センター焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	建築工事改修特記仕様書(7)		
縮尺	-	図面番号	A-08
製作年月	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者

15 鉄骨の製作工場 [改8.1.5]

建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鉄骨工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

S H M R

監督職員の承諾する製作工場 [改8.1.5]

施工管理技術者
適用する 適用しない

16 鋼材 [改8.2.8][改表8.2.7]

材質	使用箇所	規格等
<input type="checkbox"/> SN400A		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SN400B		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SN400C		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SN490B		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SN490C		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SS400		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SSC400		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> STKR400		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SNR400B		<input type="checkbox"/> JISによる
<input type="checkbox"/> SNR490B		<input type="checkbox"/> JISによる

17 鉄骨工作 仮組 [改8.12.10]

行わない 行う

18 高力ボルト接合 材料 [改8.2.9(1)]

種類	性能等	セットの種類
<input type="checkbox"/> トルシア形高力ボルト	建築基準法に基づき指定又は認定を受けたもの	2種(S10T)
<input type="checkbox"/> JIS形高力ボルト	JISによる	2種(F10T)
<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき高力ボルト	建築基準法に基づき指定又は認定を受けたもの	1種(FBT相当)

摩擦面のすべり係数試験 [改8.14.2(3)]
行わない 行う(仕様は図示による。)

ナット回転法の回転量(ボルトの長さが呼び径の3倍を超える場合) [改8.14.7(7)]
図示による

19 溶接接合 開先の形状 [改8.15.4(1)]
図示による

スカーラップの形状 [改8.15.7(2)(エ)]
改良型スカーラップ []

溶接部の試験 [改8.15.12(イ)]
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
行う

20 錆止め塗料 [改8.17.4]

鉄骨に溶接された鋼製スリーブの内面 [改8.16.4(1)]による []

耐火被覆材の接着する面の塗装
行わない JIS K5622(ただし、耐火被覆に接する面の種類は2種とする。)
行う []

21 耐火被覆材 [改8.18.2~8.18.9]

種別	性能及び適用構造区分
<input type="checkbox"/> 耐火材吹付け	<input type="checkbox"/> 乾式吹付けロックウール <input type="checkbox"/> 半乾式吹付けロックウール <input type="checkbox"/> 湿式吹付けロックウール
<input type="checkbox"/> 耐火板張り	
<input type="checkbox"/> 耐火材巻付け	
<input type="checkbox"/> 耐火塗料	
<input type="checkbox"/> ラス張りモルタル塗り	

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。

22 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 [改8.21.2(1)(ア)]

既存仕上げの撤去範囲
図示による [改8.20.2(a)(1)]による

設備機器、配管等の撤去及び移設 [改8.21.2(1)(イ)]
図示による [改8.20.2(a)(2)]による

既存構造体の撤去範囲 [改8.21.2(2)(ア)]
図示による []

はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 [改8.21.2(2)(イ)]
図示による
鉄筋は、曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。鉄骨は、発泡スチロール等で養生する。

既存コンクリート面の目荒し [改8.21.3]

適用範囲 既存コンクリートとの打継ぎ面
 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面
[]

目荒らしの程度 既存柱、梁面 打継ぎ面の15~30%程度
 既存壁 打継ぎ面の10~15%程度

目荒らしの範囲 平均深さ2~5mm(最大深さ7mm)程度の凹面を全体にわたってつける
[]

割裂補強筋の仕様 [改8.21.6(1)]
図示による []

材質 普通鉄線(SWM-B) JIS G 3532
 異形棒鋼(SD295A)

コンクリートの打込み [改8.21.8(1)]
流込み工法 圧入工法

既存構造体と増設壁の取合いの処理方法 [改8.21.9]
図示による [改8.21.9]による

増設壁工事後の仕上げ [改8.21.10]
図示による

23 鉄骨ブレースの設置工事 [改8.22.2]

既存仕上げの撤去範囲 図示による [改8.21.2(1)(ア)]による

設備機器、配管等の撤去及び移設 [改8.22.2]
図示による [改8.21.2(1)(イ)]による

既存構造体の撤去範囲 [改8.22.2]
図示による []

はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 [改8.22.2]
図示による
鉄筋は、曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。鉄骨は、発泡スチロール等で養生する。

既存コンクリート面の目荒し [改8.22.3]

適用範囲 既存コンクリートとの打継ぎ面
 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面
[]

目荒らしの程度 既存柱、梁面 打継ぎ面の15~30%程度
 既存壁 打継ぎ面の10~15%程度

目荒らしの範囲 平均深さ2~5mm(最大深さ7mm)程度の凹面を全体にわたってつける
[]

割裂補強筋の仕様 [改8.22.7(1)]
仕様 図示による []

材質 普通鉄線(SWM-B) JIS G 3532
 異形棒鋼(SD295A)

ブレース設置後の仕上げ 図示による

24 柱補強工事 [改8.23.2]

既存仕上げの撤去範囲
図示による [改8.21.2(1)(ア)]による

設備機器、配管等の撤去及び移設 [改8.23.2]
図示による [改8.21.2(1)(イ)]による

既存構造体の撤去範囲 [改8.23.2]
図示による []

はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 [改8.23.2]
図示による
鉄筋は、曲げることなく、必要に応じてウレタン等を巻き養生する。鉄骨は、発泡スチロール等で養生する。

既存コンクリート面の目荒し(連続繊維補強工法以外の工法の場合) [改8.23.3]

適用範囲 既存コンクリートとの打継ぎ面
 既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てん部の接合面
[]

目荒らしの程度 既存柱、梁面 打継ぎ面の15~30%程度
 既存壁 打継ぎ面の10~15%程度

目荒らしの範囲 平均深さ2~5mm(最大深さ7mm)程度の凹面を全体にわたってつける
[]

溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 [改8.23.5]
柱頭及び柱脚の隙間 [改8.23.5(2)(ウ)]
設ける ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む
 桧木(角材)
 図示による
設けない

打込むコンクリート又はグラウトの厚さ
図示による

コンクリート及び構造体用モルタルの打込み [改8.23.5(3)]
流込み工法 圧入工法

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 [改8.23.6]
柱頭及び柱脚の隙間 [改8.23.6(1)(ア)]
設ける ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む
 桧木(角材)
 図示による
設けない

25 連続繊維補強工事 [改8.24.4]

既存仕上げの撤去範囲 図示による [改8.21.2(1)(ア)]による

設備機器、配管等の撤去及び移設 [改8.24.4]
図示による [改8.21.2(1)(イ)]による

既存構造体の撤去範囲 [改8.24.4]
図示による []

材料・形状 [改8.21.3]
採用した工法の規定を満たすもの

材質 [改8.21.3]
引張り強度(含浸硬化後) 2500N/mm² 以上
 3000N/mm² 以上
ヤング係数(含浸硬化後) 2.35 × 10⁴ N/mm² 程度
 2.00 × 10⁵ N/mm² 以上

強度試験 [改8.24.4(6)]
引張試験(JIS A 1191に準拠する方法)
試験数量 JIS A 1191による [本]
付着強度試験(JIS A 6909に準拠する方法)

工法 [改8.21.3]
 (一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法
[]

仕上げモルタルの除去 [改8.24.6(1)(イ)]
行わない 行う

ひび割れ部の補修 [改8.24.6(1)(ウ)]
行う(4章「外壁改修工法」の項による)
行わない

柱の隅角部の面取り [改8.24.6(1)(ウ)]
工法の評価内容による

補強工事後の仕上げ [改8.24.7]
図示による

9章 環境配慮改修工事

1 石綿含有建材の除去工事 [改9.1.1(4)]
石綿含有建材除去後の仕上げ工事
図示による

石綿含有建材の調査報告書の貸与 [改9.1.1(5)]
貸与あり 貸与なし

分析による石綿含有の調査 [改9.1.1(5)(ア)]
行う 分析方法 JISA1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部: 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」
 JISA1481-3「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部: アスベスト含有率のX線回折定量分析方法」
分析対象 アスベスト6種類(アモサイト、クリノサイト、クロソドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トリモライト)
箇所(材料) []
行わない

石綿粉じん濃度測定 [改9.1.1(6)]
行う(測定名称及び測定点は下表による)
測定箇所 ※図示

測定名称	測定時期	測定場所	第 工区	備 考
・測定1	処理作業前	処理作業室内		—
・測定2		施工区画周辺又は敷地境界		—
・測定3	処理作業中	処理作業室内		—
・測定4		セキュリティゾーン入口		空気の流れを確認
・測定5		負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)		除じん装置の性能確認
・測定6		施工区画周辺又は敷地境界		—
・測定7	処理作業後	処理作業室内		—
・測定8	(シート養生中)	施工区画周辺又は敷地境界		—
・測定9	処理作業後シート	処理作業室内		—
・測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近		—

石綿粉じん濃度測定方法
石綿粉じん濃度の測定は、「JIS K3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部: 光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡による。測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5
計数機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトニートリアセチレン法又は、シュウ酸ジェテル法		
計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野		
計数アスベスト	直径3 μm未満、長さ5 μm以上、長さ直径比3:1以上		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

横須賀市上下水道局

図 面 名 称 下町浄化センター焼却炉監視棟耐震補強建築工事

種 別 建築工事改修特記仕様書(8)

縮 尺 - 図 面 番 号 A-09

製 作 年 月 令和3年7月 原 図 大 小 寸 寸 寸 A3

課 長 係 長 担 当 者 設 計 者

報告書の作成(記録する項目)
 ア.測定結果
 イ.測定時間
 ウ.測定位置(測定高さとともに図面上に記載する)
 エ.サンプリング条件(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)
 オ.メンテナンス法
 カ.顕微鏡視野面積、計数視野数
 キ.測定時(各測定場所ごと)天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

石綿含有吹付け材の除去(レベル1) [改9.1.3]
 除去工法 [改9.1.3(2)(ア)]
 [改9.1.3(2)(ア)]による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。
 []
 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止 [改9.1.3(2)(イ)]
 密封処理(二重袋梱包)
 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん器フィルタについても密封処理を行う。
 セメント固化

石綿含有保温材等の除去(レベル2) [改9.1.4]
 作業場の隔離
 行わない 行う

■ 石綿含有成形板の除去(レベル3) [改9.1.5]
 2 PCB含有シーリング材の除去
 第一次判定
 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及びPCB含有分析の要否を判断する
 採取箇所数 箇所
 採取箇所 図示
 第二次判定
 専門分析機関にて、PCB含有量の分析を行う
 分析回数 個

除去処理工事
 除去範囲 図示による
 除去方法 「標準施工要領書(日本シーリング工事共同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による

保管場所
 監督職員との協議による

3 外断熱改修工事 [改9.3.2(1)]
 断熱材
 種類 ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材(ノンフロム)G
 押出法ポリスチレンフォーム断熱材2種b(ノンフロム)G
 硬質ウレタンフォーム断熱材(ノンフロム)G
 厚さ(mm) []

外装材 [改9.3.2(4)]
 種類 []
 防火性能 []

既存外壁の仕上げ材の撤去 [改9.3.3(1)]
 図示による

下地面の清掃 [改9.3.3(2)]
 図示による

下地に欠損部がある場合の補修 [改9.3.3(3)]
 図示による 「4章 外壁改修工法」による

通気層 [改9.3.4(3)]
 有り 厚さ(mm) []
 無し

外装材の外壁への取り付け [改9.3.4(4)]
 あと施工アンカー 接着剤 []

断熱材の施工 [改9.3.4(6)]
 [改9.3.4(d)]による

外装材の施工 [改9.3.4(1)]
 図示による []

4 断熱材現場発泡工法 [改9.5.4]
 建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種1
 厚さ(mm) []

5 断熱材後張り工法 [改9.5.4]
 断熱材 [改9.5.4(1)]
 種類 押出法ポリスチレンフォーム断熱材2種b(ノンフロム)
 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1(ノンフロム)
 []
 厚さ(mm) []

■ 10章 ユニット及びその他の工事

1 止水板
 施行箇所 図示による
 材質 塩ビ系 ゴム系
 形式 センターバルブ型 耐震型
 アンカ型 []
 寸法 200×6 300×7 300×16
 工法 図示による

2 くつきマット (市販品)
 材質 ステンレス製(受枠とも)

3 屋上丸環
 ステンレス製 (SUS304 No.2B仕上げ程度)

4 フリーアクセスフロア

施工箇所	構法	仕上高mm	適用地震時水 平力	耐荷重性能	表面仕上材
	<input type="checkbox"/> パネル式	<input type="checkbox"/> 100	<input type="checkbox"/> 1.0G	<input type="checkbox"/> 3,000N	<input type="checkbox"/> タイルカーペット
	<input type="checkbox"/> 溝式	<input type="checkbox"/> 300	<input type="checkbox"/> 0.6G	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 帯電防止床タイル
			<input type="checkbox"/> 0.4G		

 耐震性能 5,000N、高さ300以上については、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したもの又は同等品とする。
 表面仕上材の品質・規格等は、19章内装工事の項による
 コンセント等の取付対応 製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事による)
 配線取り出し用開口 対応品又は工場加工品
 インナータイプコンセント取付タイプとし容易に破損しないものとする。また、全てのパネルに2箇所程度設ける。
 空調用吹き出しパネル 無し
 有り(固定式 可変式)
 ボーダー及びスロープ 製造所の標準仕様 図示
 コンセント、空調用吹き出しパネル、スロープ等の施工箇所は図示による

5 階段滑り止め

材種	形状	幅(mm)	工法
<input type="checkbox"/> ステンレス製 (SUS304)	<input type="checkbox"/> ビニルタイヤ入り又はゴム縁りこみ 両端フラットエンド	<input type="checkbox"/> 約35	<input type="checkbox"/> 接着工法
<input type="checkbox"/> 黄銅製	<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> 埋め込み工法
<input type="checkbox"/> アルミニウム製	<input type="checkbox"/> ステンレスSUS304 <input type="checkbox"/> ビニル製 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> タイヤなし		

6 床点検口 [改9.3.2(4)]

材質	受け枠	寸法(mm)	形式	備考
<input type="checkbox"/> アルミニウム製	<input type="checkbox"/> 硬質アルミ製	<input type="checkbox"/> 600角	<input type="checkbox"/> 一般	製造所は評価名簿による
<input type="checkbox"/> ステンレス製	<input type="checkbox"/> ステンレス製	<input type="checkbox"/> 450角	<input type="checkbox"/> 防水型	
		<input type="checkbox"/> []		

7 マンホール蓋 [改9.3.3(2)]

形式	耐荷重	備考
<input type="checkbox"/> 防水防臭型(密閉形)	<input type="checkbox"/> T-2	マーク入り
<input type="checkbox"/> 簡易防水防臭型(簡易密閉形)	<input type="checkbox"/> T-6	<input type="checkbox"/> 電
<input type="checkbox"/> パッキン式	<input type="checkbox"/> T-20	<input type="checkbox"/> []
<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []	
<input type="checkbox"/> FRP製		

8 グレーチング [改9.3.4(4)]

材種	受枠	耐荷重	備考
<input type="checkbox"/> 鋼製(溶融亜鉛めっき)	<input type="checkbox"/> 鋼製	<input type="checkbox"/> 図示による	
<input type="checkbox"/> ステンレス製	<input type="checkbox"/> ステンレス製	<input type="checkbox"/> []	
<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/>		

9 開口部の蓋 [改9.3.4(1)]
 材質 コンクリート製
 FRP製 (ハンカタイプ サンドイッチタイプ)
 合成木材製 (単板蓋タイプ 組立蓋タイプ)
 アルミ製
 既製手すり一体型開口部蓋
 材質 SS400 SUS304
 型式 一般タイプ 簡易防水タイプ
 防水タイプ(外部用)
 設計荷重 4.9kN/m²(0.5t/m²) []
 製造所
 既製手すり一体型マンホール蓋
 材質 アルミニウム
 製造所

設計荷重(kN)(図示)を蓋に表示する
 既製昇降設備用伸縮手掛け()
 材質 SUS304
 製造所
 既製収納式タラップ()
 材質 アルミニウム
 下水道施設標準図S-21-11による
 製造所()

10 既製Exp.金物

材質	仕上げ	クリアランス	耐火性能	防水性
<input type="checkbox"/> アルミニウム製	<input type="checkbox"/> シルバー <input type="checkbox"/> カラー	<input type="checkbox"/> 図示による <input type="checkbox"/> 50mm <input type="checkbox"/> 100mm <input type="checkbox"/> 150mm	<input type="checkbox"/> 有 耐火時間 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> 外壁 <input type="checkbox"/> 床 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 適用しない
<input type="checkbox"/> ステンレス製 (SUS304)	<input type="checkbox"/> HL仕上げ <input type="checkbox"/> []			

 追従レベル変位量 以上 図示
 製造所
 11 可動間仕切(パーティション)
 構造形式による種類 パネル式 スタッド式 スタッドパネル式
 空間の仕切り方 図示による 密閉形 開放形 床置き形
 遮音性能 無 有(透過損失:)
 防火性能 無 有(防火等級:)
 パネル部の総厚さ (60 mm)
 表面材種及び厚さ 鋼板 (0.6mm以上 0.8mm以上)
 [] (mm)
 表面仕上 マリン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料焼付塗装 (常備色 特注色)
 []
 パネル内に取付ける建具の寸法及び形状 図示による []
 品質 JIS A6512による又は評価名簿によるもの

12 移動間仕切(スライディングドア)
 パネルの操作方法 手動式 電動式 部分電動式
 表面材種 鋼板 []
 表面仕上 マリン樹脂塗料又はアクリル樹脂塗料焼付塗装 (常備色 特注色)
 壁紙張り仕様は壁紙の項による
 パネル圧接装置の操作方法 製造所の仕様による
 []
 ハンガーレール取付け下地の補強 図示による
 (20.2.4)による
 遮音性能(JIS A 6512の遮音試験に準拠する)
 一般タイプ(透過損失:36dB未満)
 遮音タイプ(透過損失:36dB以上)
 製造所 評価名簿による

13 既設トイレース

表面の材種	仕上げ材	脚部形状	エッジ
<input type="checkbox"/> 木質系	<input type="checkbox"/> メラミン樹脂化粧板 <input type="checkbox"/> ポリエステル樹脂化粧板	<input type="checkbox"/> 幅木タイプ(SUS304) <input type="checkbox"/> ポストタイプ(SUS304)	<input type="checkbox"/> アルミ押出型材
<input type="checkbox"/> 鋼板製	<input type="checkbox"/> アクリル樹脂焼付鋼板		

製造所 評価名簿による

14 アコーデオンドア
 材質 ビニルレザー(防炎加工品)
 []
 折りたたみ幅(mm)
 約230 約120 []

15 煙突ライニング

名称	安全使用温度	備考
<input type="checkbox"/> 煙突用成形ライニング材	<input type="checkbox"/> 650℃ <input type="checkbox"/> [°C]	
<input type="checkbox"/> キャスタブル耐火物	<input type="checkbox"/> 650℃ <input type="checkbox"/> [°C]	監督員の承諾する製造所

16 天井点検口

材質	受け枠	寸法(mm)	備考
<input type="checkbox"/> アルミニウム製	<input type="checkbox"/> 額縁タイプ <input type="checkbox"/> 目地タイプ	<input type="checkbox"/> 600角 <input type="checkbox"/> 450角 <input type="checkbox"/> []	
<input type="checkbox"/> []			

17 トップライト

材種	取付方法	開閉仕様	耐火性能	備考
<input type="checkbox"/> ポリカーボネート樹脂製	<input type="checkbox"/> 枠付 <input type="checkbox"/> 直付	<input type="checkbox"/> 固定式 <input type="checkbox"/> 開閉式	<input type="checkbox"/> 耐火30分 <input type="checkbox"/>	製造所は評価名簿による
<input type="checkbox"/>				

■ 18 天井回り線
 材種 ■ アルミ合金製(押出し形材)
 塩化ビニル製

19 防煙垂れ壁
 固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
<input type="checkbox"/> 網入り磨き板ガラス	<input type="checkbox"/> 6.8	<input type="checkbox"/> 500	アルミ製枠付き
<input type="checkbox"/> 線入り磨き板ガラス	<input type="checkbox"/> []	<input type="checkbox"/> []	

可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
<input type="checkbox"/> 垂直降下式(巻取り型)	<input type="checkbox"/> 不織布(不燃認定品)	<input type="checkbox"/> 500 <input type="checkbox"/> 800 <input type="checkbox"/> []	ガイドレール <input type="checkbox"/> 固定式(壁埋込み型) <input type="checkbox"/> 可動式(天井収納型)
<input type="checkbox"/> 回転降下式	<input type="checkbox"/> 鋼製又はアルミ製	<input type="checkbox"/> 500 <input type="checkbox"/> 800 <input type="checkbox"/> []	表面仕上げ 天井仕上げ材 <input type="checkbox"/> []

 降下機能:煙感知器連動及び手動開放装置(埋込み型)

20 防鳥網
 ステンレス平織り金物 SUS304 線径 1.5mm 網目 15mm

21 吊りフック
 材質 鋼製(亜鉛めっき処理)
 ステンレス製(SUS304)

荷重kN(t)	U型	施工箇所
10(1)	<input type="checkbox"/> (箇所)	
20(2)	<input type="checkbox"/> (箇所)	
30(3)	<input type="checkbox"/> (箇所)	
50(5)	<input type="checkbox"/> (箇所)	
	<input type="checkbox"/> (箇所)	

見やすい箇所に荷重標示板を設け、許容荷重(kN及びt)を表示する

横須賀市上下水道局
 図面名称 下町浄化センター焼却炉監視棟耐震補強建築工事
 種別 建築工事改修特記仕様書(9)
 縮尺 - 図面番号 A-10
 製作年月 令和3年7月 原図サイズ A3
 課長 係長 担当者 設計者

□ 22 ホイストレール
鋼材の材質
□ SS400(JIS規格品)
□ 7.2.10の試験に合格するもの

ボルト
普通ボルト(二重ナット)

アンカーボルトの材料
□ JIS G3101の2種(SS400)

アンカーボルトの保持及び埋込み工法
□ B種

仕上げ
□ 溶融亜鉛めっき仕上げC種

荷重表示
□ 見やすい箇所に荷重標示板を設け、許容荷重(kN及びt)を表示する。

種類	規格	寸法(mm)	色彩	枠	備考
□ 鋼製黒板	□ 焼付け	高さ	□ 緑	□ アルミ製	□ 平面
□ ほうろう黒板	□ 研ぎ出し	幅	□ 黒		□ 曲面
			□ []		□ スクリーン付引分け
□ ホワイトボード	□ ほうろう	高さ 1,200	□ 白		□ 行事線入り
		幅 3,600			

種類	規格	寸法(mm)	色彩	枠	備考
□ アルミニウム製	□ 特殊レザー	□ 900×1800			
□ ステンレス製	□ ビニルレザー	□ 900×1200			
	□ ラシャ	□ 1200×3600			
	□ コルク				
	□ 塩ビ発泡シート	□ []			

□ 25 鏡
寸法(mm) □ 図示による □ []
厚さ(mm) □ 5.0

施工箇所	名称・品質	ひだの種類	形式	引き分け装置
			□ 引き分け	□ 手引き □ ひも引き
			□ 片引き	□ 電動
			□ 引き分け	□ 手引き □ ひも引き
			□ 片引き	□ 電動

暗幕用カーテンの両端、上部及び召し合わせの重ねかけ 300mm以上

材種	形状	備考
□ アルミニウム製	□ D形又は角形	
□ ステンレス製	□ C形	

形式	備考
□ 横形ブラインド	
□ アルミ合金製	焼付け塗装仕上げ
□ 鋼製	□ クロススラット (防炎加工品)
開閉方式	□ 片開き方式 □ 両開き方式
操作方法	□ ギヤ式 □ コード式 □ 操作棒式
ヘッドボックス及びボトムレールの材種	□ 鋼製 □ アルミ合金製 □ 珪酸化ビニル金属積層板製
ヘッドレールの材種	□ アルミ製 □ []
スラットの幅 (mm)	□ 25 □ 35 □ []
	□ 100 □ 80 □ []

材質	製法	溝幅×深さ(mm)	表面処理
□ アルミニウム製	□ 押出し型材	□ 120×150	□ B-1種
□ 鋼製	□ []	□ 180×150	□ B-2種
□ 図示による		□ 250×150	□ ブラック
□ []		□ 120×80	□ ステンカラー
		□ 図示による	□ ブラウン系
		□ []	□ []

名称	寸法	仕様	備考
□ 流し台(トラップ付)	L= □ 1,200 □ 1,500 □ 1,800	□ 優良住宅部品 (セクショナルキッチンI型)	
□ コンロ台	L= □ 600 □ 700	□ 優良住宅部品 (セクショナルキッチンI型)	バックガードの有無 □ 有 □ 無
□ つり戸だな	高さ×幅 □ 500×300 □ 500×600 □ 500×900 □ 500×1,200 □ 700×600 □ 1,000×600	□ 優良住宅部品 (セクショナルキッチンI型)	
□ 水切りだな	幅 L= □ 1,200 □ 900 □ 600	□ 市販品(ステンレス製)	階段数 □ 1段 □ 2段
□ ミニキッチン	L= □ 1,200	□ 市販品	付属品()

□ 31 浴槽
材質
□ FRP製 □ ステンレス製
□ ほうろう製 □ シャワーユニット

大きさ(mm)
□ 図示による □ [mm× mm× mm]

浴槽のふた
□ 有
製造所

□ 32 下足箱
□ 鋼製(既製品)
大きさ(mm)
□ 図示による □ [mm× mm× mm]

製造所

□ 木製
表面仕上げ
□ メラミン樹脂化粧板
□ ポリエステル樹脂化粧板

□ 33 郵便受(既製品)
□ ステンレス □ 埋込型 □ 露出型

製造所

区分	取付方法	材質厚さ(mm)	寸法(mm)	印字方法
□ 室名札	□ 平付け型	□ アクリル板	□ 200×40	□ シルクスクリーン印刷
	□ 持出し型	厚5	□ 250×50 □ 300×60 □ 200×80 □ []	□ エナメル書
□ 階段表示板	□ 平付け型		□ 600×100 □ 800×100 □ 1,000×100	
	□ 持出し型		□ 150×150 □ 200×200 □ []	
□ 案内板	□ 図示による		□ 600×400 □ 800×500 □ 900×600 □ []	□ シルクスクリーン印刷
□ ピクトグラフ	□ 平付け型 (標準詳細図 8-42-1による) □ 持出し型		□ 150×150 □ 200×200	
□ 誘導標識	□ 平付け型 □ ()	□ アクリル板 厚5	□ 380×120	□ シルクスクリーン印刷
		□ アルミニウム板 厚1.9		□ アルマイト印刷 地色 □ 緑 [] 文字矢印 □ 白
□ 荷重表示板	□ 平付け型	□ アクリル板 厚2	□ 300×400 □ []	□ シルクスクリーン印刷 □ エナメル書
□ 衝突防止表示		ステンレス製	□ 約30φ	□ 両面 □ 片面
□ 水槽名板	□ 平付け型	□ アクリル板 厚8	□ 200×40 □ 250×50 □ 300×60 □ []	□ シルクスクリーン印刷 □ エナメル書
□ []	□ 平付け型	□ アクリル板 厚5		□ シルクスクリーン印刷 □ エナメル書

室名札
太ゴシック正体文字の割り付けについては、監督職員の承諾による。

誘導標識
材料は、消防法技術基準に合格したもの。

取付(又は表示)位置
図面特記による他監督職員と協議の上決定する。

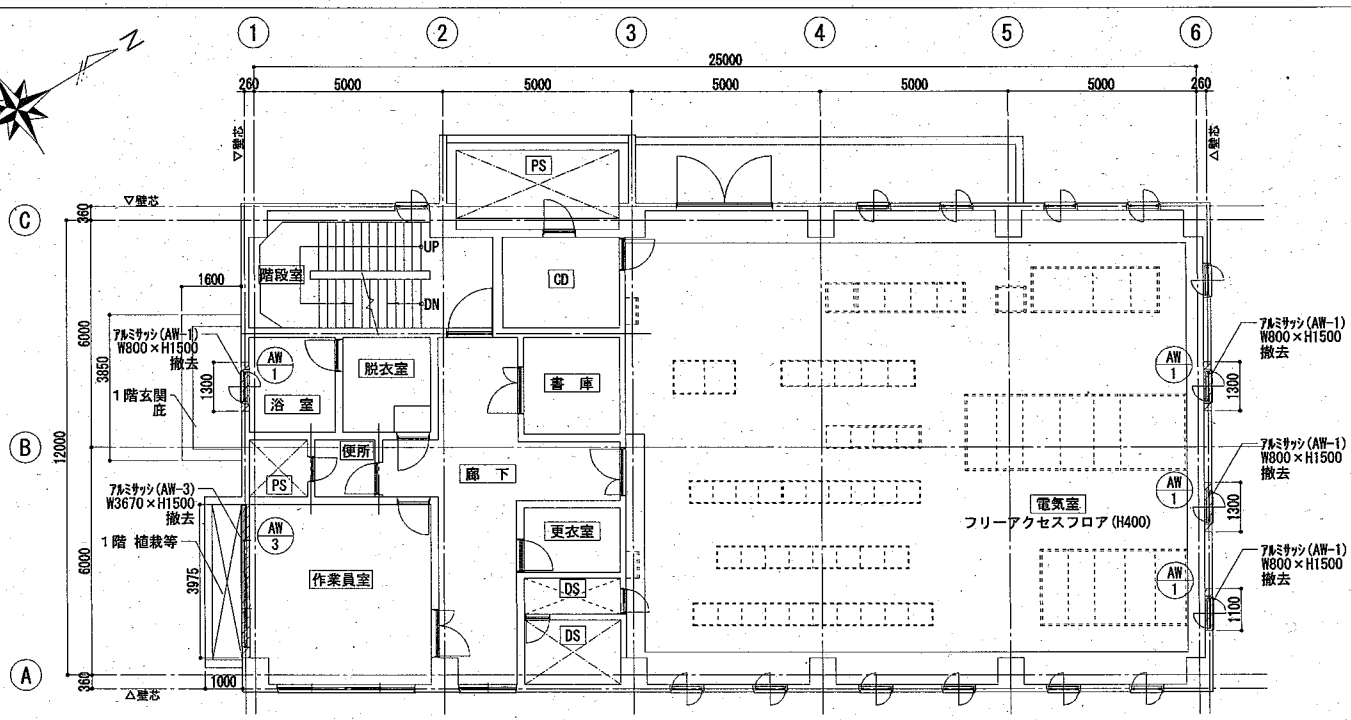
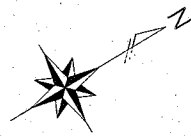
□ 35 かぎ箱
市販品
形式
□ 10本用 □ 20本用 □ 30本用 □ 60本用 □ 120本用 □ 200本用

□ 36 水質実験台など
仕様等
□ 図示による

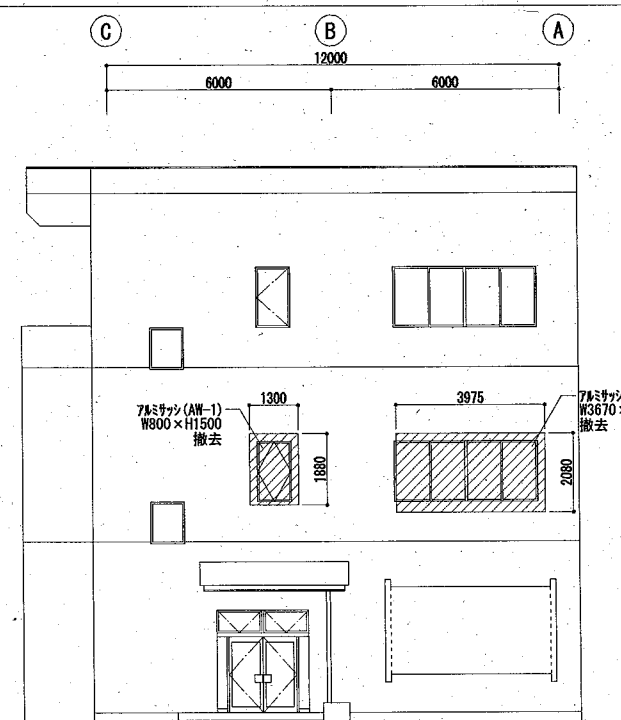
製造所
アドバンテック東洋KK KKイトーキ
KK岡村製作所 オリエンタル技研工業KK
KK協立製作所 島津理化器械KK
KK小畑製作所 KKダルトン
KKヤマト科学

程度とする

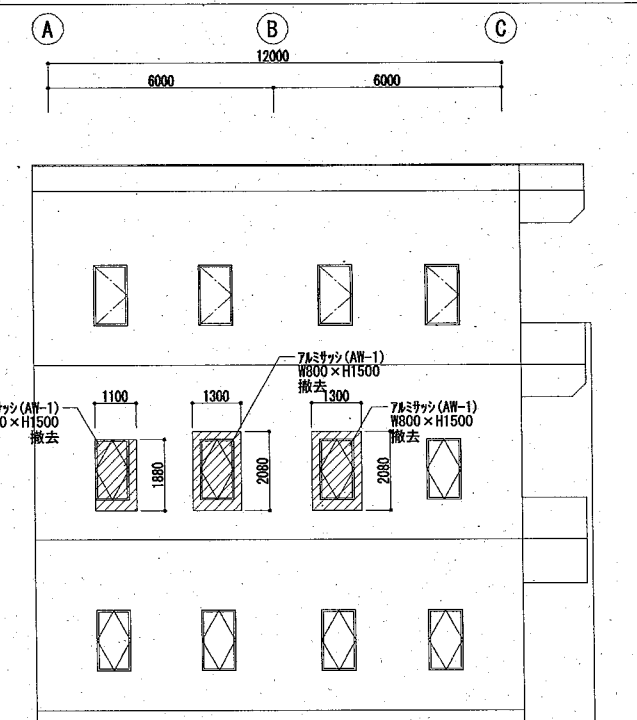
横須賀市上下水道局				
図面名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事			
種別	建築工事改修特記仕様書(10)			
縮尺	-	図面番号	A-11	
製作年	令和3年7月	原図サイズ	A3	
課長	係長	担当者	設計者	



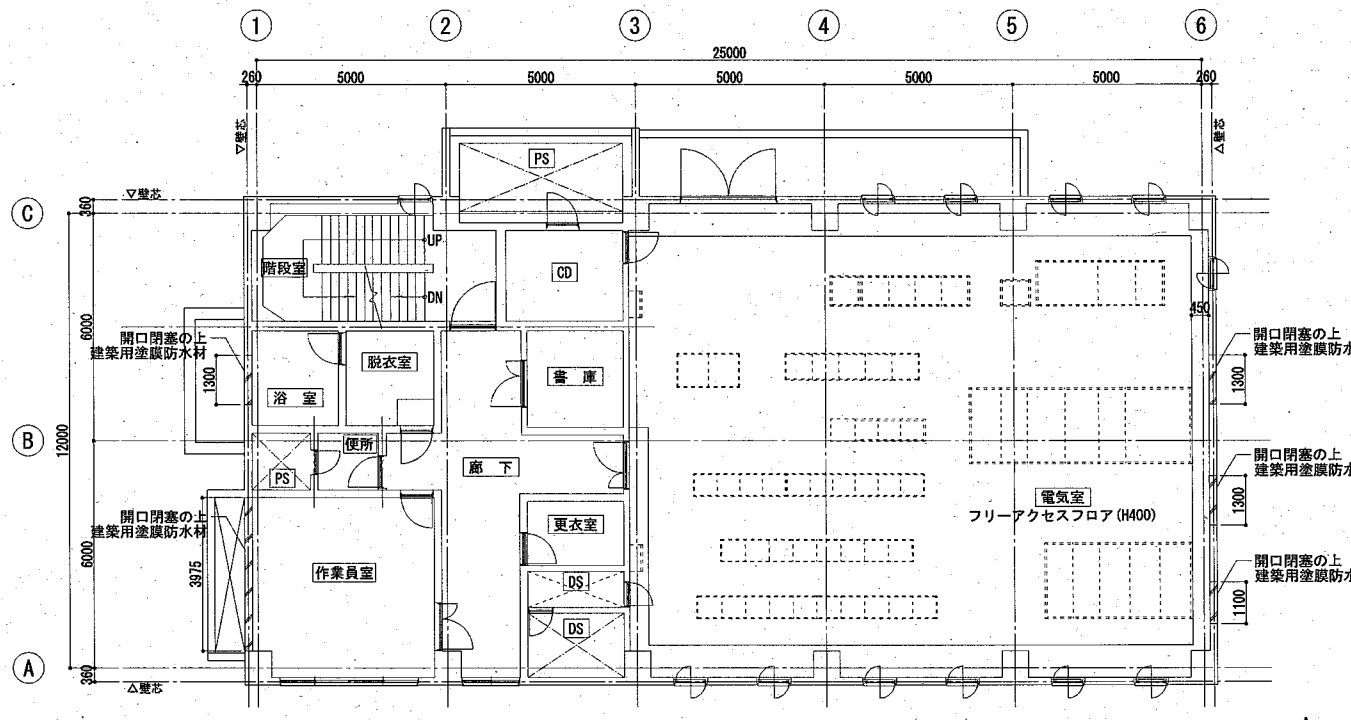
2階平面図(改修前) (1/200) : 開口閉塞箇所



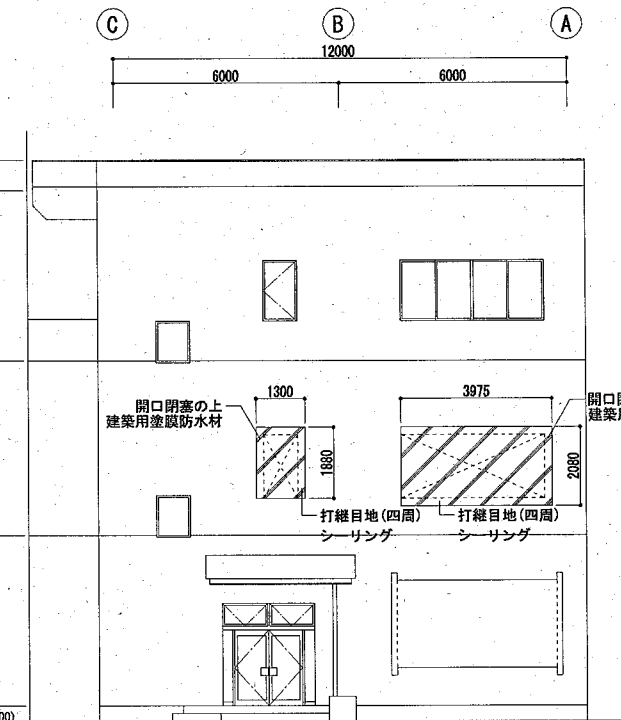
南立面図(改修前) (1/200) : 開口閉塞箇所



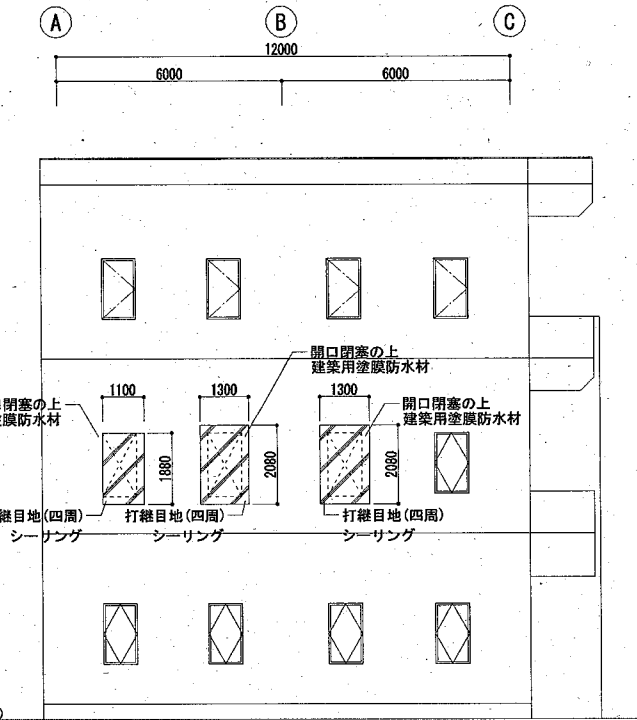
北立面図(改修前) (1/200) : 開口閉塞箇所



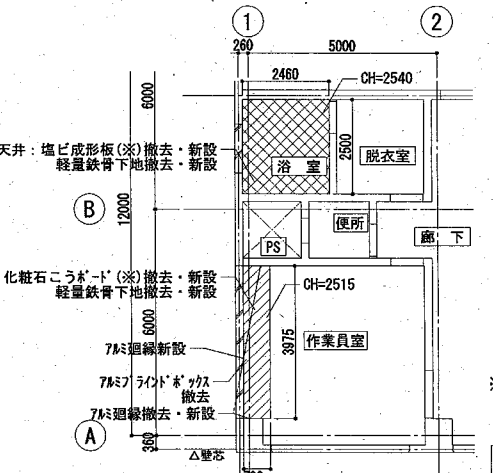
2階平面図(改修後) (1/200)



南立面図(改修後) (1/200) : 既存開口を示す

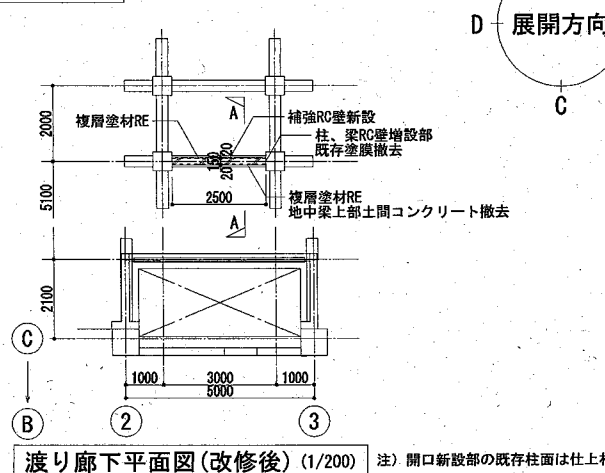


北立面図(改修後) (1/200) : 既存開口を示す

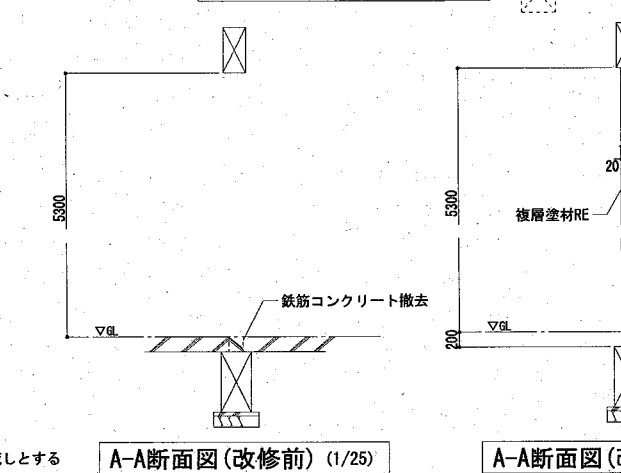
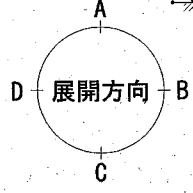


※ 7&Mに含有建材(L・A・B)を示す

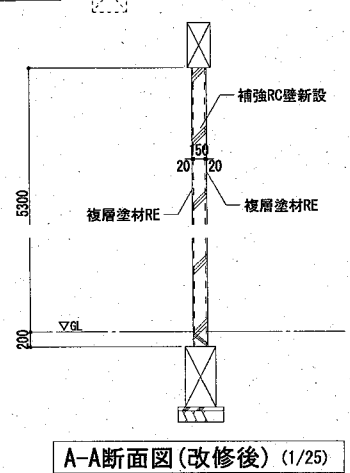
天井伏図 (1/200)



渡り廊下平面図(改修後) (1/200) 注) 開口新設部の既存柱面は仕上撤去の上、目荒しとする



A-A断面図(改修前) (1/25)



A-A断面図(改修後) (1/25)

横須賀市上下水道局				
工 事 名 称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事			
図 面 名 称	焼却炉監視棟 2階平面図・立面図・天井伏図			
縮 尺	1/200	図 面 番 号	A-12	
製 作 年 月	令和 3 年 7 月	原 図 サ イ ズ	A3	
課 長	係 長	担 当 者	設 計 者	

構造細目共通図 (建築構造物)

1 特記事項

1.1 適用範囲

- 本構造細目共通図は下水道施設における処理場、ポンプ場の建築構造物に適用する。
- 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

1) 建築工事特記仕様書	(A-02~A11参照)
2) 公共建築工事標準仕様書 (建築工事編) 国土交通省大臣官房官庁営繕部	(平成 31 年版)

- 項目は、○印のついたものを適用する。●印のない場合は、※印のあるものを適用する。◎印と⊗印のある場合は、共に適用する。

1.2 鉄筋の仕様

鉄筋の種類及び継手は1.1表による。

1.1表 鉄筋の種類及び継手

種類	種別	径
鉄筋の種類	SD 295A	※D16以下
	SD 345	※D19以上
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外
	ガス圧接	※D19以上、D29以下の柱、梁主筋
	機械式継手	・図面による。

1.3 コンクリートの仕様

コンクリートは1.2表による。

1.2表 コンクリートの仕様

分類	コンクリート種別	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	セメントの種類
鉄筋コンクリート	地上	※27	※18	※普通ポルトランドセメント・高炉セメントB
	地下 基礎、基礎梁	※24	※15	※普通ポルトランドセメント・高炉セメントB
無筋コンクリート	※普通コンクリート	※18	※15	・普通ポルトランドセメント・高炉セメントB

注1: 無筋コンクリートには捨てコンクリートを含む。

1.4 砕石及び捨てコンクリート

砕石及び捨てコンクリートの厚さは、特記がなければ1.3表による。

1.3表 砕石及び捨てコンクリートの仕様

種別	厚さ (mm)
砂利または砕石 (再生クラッシュラン)	※60
捨てコンクリート	※50

2 共通事項

2.1 記号及び符号

設計図中で使用する記号及び符号は、2.1表及び2.2表を標準とする。

2.1表 鉄筋の断面表示

径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
記号	●	×	○	●	○	◎	⊗	◎

2.2表 一般凡例

記号・符号	内容	※印の説明及び注意事項
F※	フーチング断面種別	※ 番号
※1C※2	柱断面種別	※1 階数 ※2 その階の番号
※1G※2	大梁断面種別	※1 階数、地中大梁はFとする ※2 その階の番号 X方向1, 2, 3-... Y方向A, B, C-...
CG※	片持大梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1B※2	小梁断面種別	※1 地中小梁のみFとする。 ※2 階別区分はしない 地中小梁を除く
CB※	片持小梁断面種別	※ 番号、階別区分はしない
※1W※2	壁配筋種別	※1 E: 耐震壁, K: 階段壁 D: 土圧、水圧を受ける壁 階別区分はしない ※2 壁厚 (cm)
※1S※2※3	床版配筋種別	※1 片持床版のみCとする ※2 床版厚 (cm) ※3 配筋種別 (英大文字) 階別区分はしない
※1K※2	階段の配筋種別	※1 A: 片持床版形 B: 二辺固定床版形 ※2 配筋種別 (数字) 階別区分はしない
CB※	コンクリートブロック壁	※ 壁厚 (cm)
////	打ち増し範囲	
////	梁・床版の上がり下がり	一般には基準FLよりの+、-に 応じた凡例により表示
(※)	床用積載荷重	積載荷重の値 (kN/m ²)
STP	あばら筋、スターラップ	梁、基礎梁、小梁
HOOP	帯筋、帯鉄筋、フープ	柱
S.HOOP	スパイラル筋、らせん筋	柱
幅止め筋	幅止め筋	柱、梁、壁
組立筋	組立筋	床版、底版

2.2 一般注意事項

- 設計図は監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

3 鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、3.1表及び3.2表を標準とする。

- Dは、折曲げ内法直径を示す。
- dは、鉄筋直径 (呼び名) を示す。

3.1表 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (末端部)

曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)		使用箇所
		SD 295A SD 345		
180°		D16以下	D19~D38	柱、梁の主筋 杭基礎のベース筋 D16以上の鉄筋
135°		3d以上	4d以上	D13以下の鉄筋 あばら筋、帯筋、 スパイラル筋
90°		3d以上	4d以上	T形及びL形の梁の あばら筋
135° 90°		3d以上	4d以上	90° 幅止め筋

- 片持スラブ先端、壁筋の自由端の先端で90°フック又は135°フックを用いる場合は、余長を4dとする。
- 90°未満の折曲げの内法直径は図示による。

3.2表 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (中間部)

曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径 (D)			使用箇所
		SD 295A SD 345			
		D16以下	D19~D25	D29~D38	
90°以下		3d以上	4d以上	-	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
		4d以上	6d以上	8d以上	その他の鉄筋

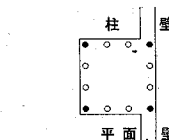
4 異形鉄筋の末端部

4.1 フックを設ける位置

異形鉄筋の末端部には、4.1表によりフックを設ける。

4.1表 フックを設ける位置

部位	継手方式		備考
	重ね継手	圧接継手	
柱	四隅の主筋	1) 最上階の柱頭部	4.1図の◎印 8.1図参照
	上下階の柱断面が異なる場合	1) 下階の柱主筋を引き通すことができない柱頭部	4.1図の◎印 8.2図参照
	帯筋 (HOOP)	1) 末端部 2) 継手部	9.1図参照
梁	あばら筋 (STP)	1) 末端部 2) 継手部	1.1.1図参照
杭基礎	独立フーチング基礎の底盤筋	1) 末端部 2) 継手部	2.0.1図参照
煙突の鉄筋	1) 末端部 2) 継手部	1) 末端部	壁の一部となる場合を含む
幅止め筋			3.1表参照

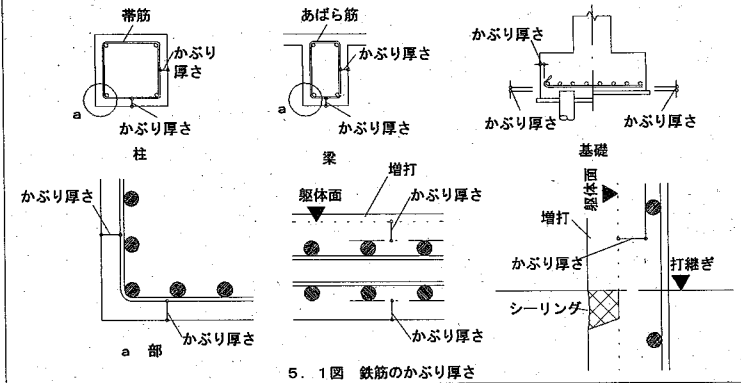


4.1図 異形鉄筋の末端部

5 鉄筋のかぶり及び間隔

5.1 かぶり厚さ

かぶり厚さは、一番外側の鉄筋 (幅止め筋、組立筋を除く) の外面から躯体面までの距離 (5.1図) をいう。
鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚さに許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



5.2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、5.1表による。

- 床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
- 柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上として最小かぶり厚さを定める。
- 溶接金網にも適用する。

5.1表 鉄筋の最小かぶり厚さ (mm)

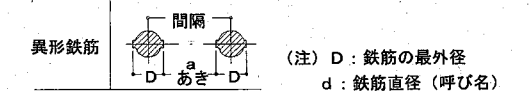
構造部分の種類	埋置区分		
	※ 通常の施工の場合	◎ 埋置対策を必要とする場合	
一般	床、耐力壁以外の壁	30	40
	柱、梁、耐力壁	40	50
	底版	40	50
土、水に接する部分	柱、梁、床、壁	40	50
	底版、基礎	60	70
煙突等高温を受ける部分		60	70

- 打継目地部分は目地底より最小かぶり厚さを確保する。
- 杭基礎の場合の最小かぶり厚さは、杭先端からとし、「2.1 杭基礎の補強」を参照。
- 仕上なしの場合を標準とする。

5.3 鉄筋相互のあき

鉄筋相互のあきは、下記の最大値のもの以上とする。ただし、機械式継手及び溶接継手の場合はあきは特記による。

- 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- 最小のあき25mm
- 隣り合う鉄筋の平均径 (呼び名の数値) の1.5倍



5.2図 鉄筋相互のあき

5.2表 鉄筋径と鉄筋間隔の関係一覧

鉄筋径 (mm)	鉄筋相互のあき: a			最小鉄筋間隔
	鉄筋径 d	最外径 D		
D10	11		(1) 粗骨材径×1.25	25mm
D13	14		(2) 最小あき	
D16	18		(3) 鉄筋径×1.5	
D19	21			
D22	25			
D25	28			
D29	33			

横須賀市上下水道局

図面名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	構造細目共通図 (1)		
縮尺	-	図番	S-01
製作月	令和3年7月	原図	A3
課長	係長	担当者	設計者

6 鉄筋の継手及び定着

6.1 継手及び定着

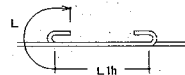
6.1.1 鉄筋の重ね継手

- 鉄筋の重ね継手の長さは、6.1表による。
- 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。
- 主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さは40dとする。ただし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。

6.1表 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	L1 (フックなし)		L1h (フックあり)
		L1	L2	L1h
SD295A	24, 27	35d	30d	25d
	30	35d	30d	25d
SD345	24, 27	40d	35d	30d
	30	35d	30d	25d

- (注) 1. L1, L1h: フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ
2. フックありの場合のL1hは、6.1図に示すようにフック部分Lを含めない。



6.1図

6.1.2 継手の特記事項

- 継手は、極力応力の小さい位置に設ける。
- 異径の鉄筋をガス圧接する場合は、鉄筋径の直近の範囲内とする。

6.1.3 鉄筋の定着

- 鉄筋の定着の長さは、6.2表による。

6.2表 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	フックなし				フックあり			
		L1	L2	L3		L1h	L2h	L3h	
SD295A	24, 27	35d	30d	小梁 20d	スラブ かつ 150mm 以上	25d	20d	小梁 10d	スラブ -
	30	35d	30d			25d	20d		
SD345	24, 27	40d	35d	小梁 20d	スラブ かつ 150mm 以上	30d	25d	小梁 10d	スラブ -
	30	35d	30d			25d	20d		

- (注) 1. L1, L1h: 2. 以外の直線定着の長さ及びフックありの長さ
2. L2, L2h: 割製破壊の恐れのない箇所への直線定着の長さ及びフックあり定着の長さ
3. L3: 小梁及びスラブの下端の直線定着の長さ (基礎梁、片持ちスラブ及びこれを支える小梁を除く)
なお、片持ち小梁及び片持ちスラブの場合は、20d及び10dを25d以上とする。
4. L3h: 小梁の下端部のフックあり定着の長さ
5. フックあり定着の場合は、6.2図(イ)に示すようにフック部分Lを含めない。また、中間部での折曲げは行わない。

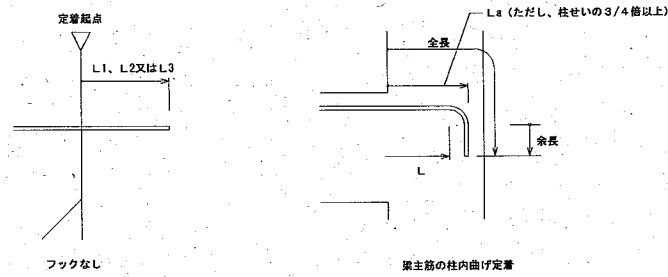
6.1.4 定着の方法

定着の方法は6.2図による。

なお、(ロ)折曲げ定着の梁主筋の柱内折曲げ定着において、柱口内に縦に折曲げて定着する鉄筋の定着長さが、6.2表のフックあり定着の長さを確保できない場合は、全長を6.2表に示すフックなし定着長さとし、かつ、余長を8d、柱口面から鉄筋外面までの投影定着長さを6.3表に示す長さのみ込ませる。

- (注) 1. La, Lbは、6.3表の鉄筋の投影定着長さを示し、下記条件を満たすものとする。

- 梁主筋の柱内定着においては、原則として柱せい $\frac{3}{4}$ 倍以上
- 小梁主筋の大梁内定着においては、原則として大梁幅 $\frac{1}{2}$ 倍以上
- スラブの梁内定着においては、原則として梁幅 $\frac{1}{2}$ 倍以上



6.2図 定着の方法

6.3表 鉄筋の投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F_c (N/mm ²)	La	Lb
SD295A	24, 27	15d	15d
	30	15d	15d
SD345	24, 27	20d	15d
	30	15d	15d

- (注) 1. La: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ (基礎梁、片持ちスラブを含む。)
2. Lb: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ (片持ち小梁及び片持ちスラブを除く。)

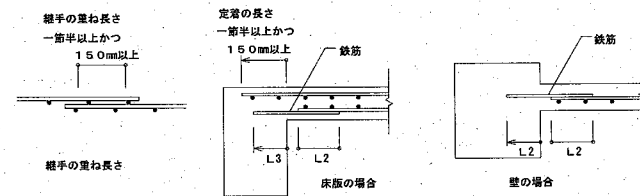
6.2 隣り合う継手の位置及び定着

- 隣り合う継ぎ手の位置は、6.4表により、a寸法を守ること。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD16以下の場合を除く。

6.4表 隣り合う継手の位置

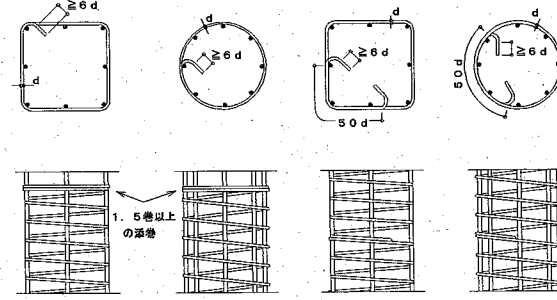
条件	重ねる場合		離す場合	
	重なる場合	離す場合	重なる場合	離す場合
重なる継手	フック有りの場合			$a \geq 0.5L1h$
	フックなしの場合			$a \geq 0.5L1$
圧接継手	$a \geq 400\text{mm}$			

(2) 溶接金網の継手及び定着



6.3図 溶接金網の継手及び定着要領

(3) スパイラル筋の継手及び定着



6.4図 スパイラル筋の継手及び定着要領

7 柱筋の継手位置

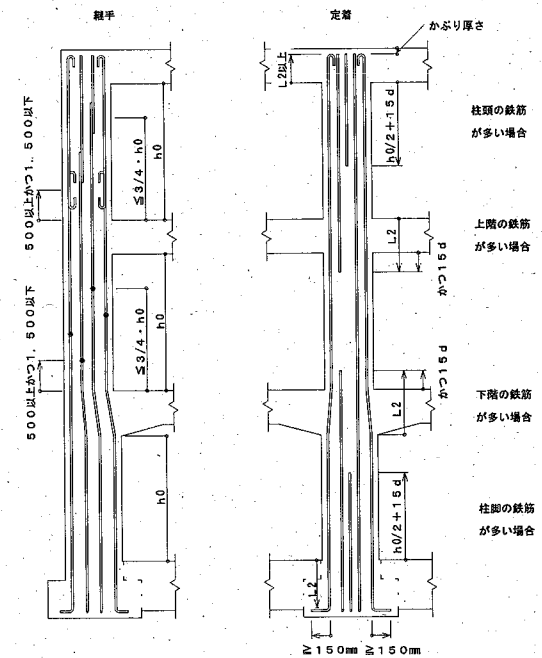
7.1 継手及び圧接中心位置

- 柱の継手及び圧接中心位置は、梁上端から50cm以上、150cm以下かつ $\frac{3}{4}h_o$ (h_o は柱の内法高さ)以下とする。

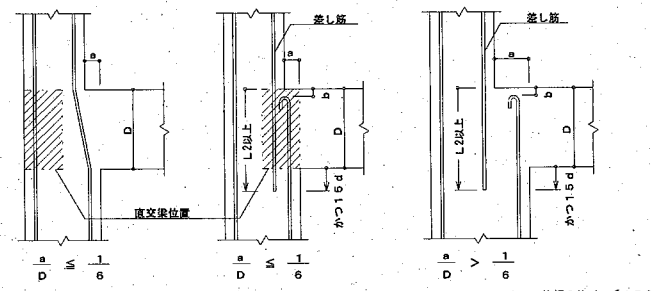
8 柱筋の継手及び定着

8.1 一般事項

- 継手長さはL1とし、定着及び余長は、8.1図による。
- 柱頭定着長さL2が確保出来ない場合は、図面による。
- 上下の柱断面が異なる場合の柱主筋の折曲げ及び定着は、8.2図による。



8.1図 柱主筋の継手、定着及び余長

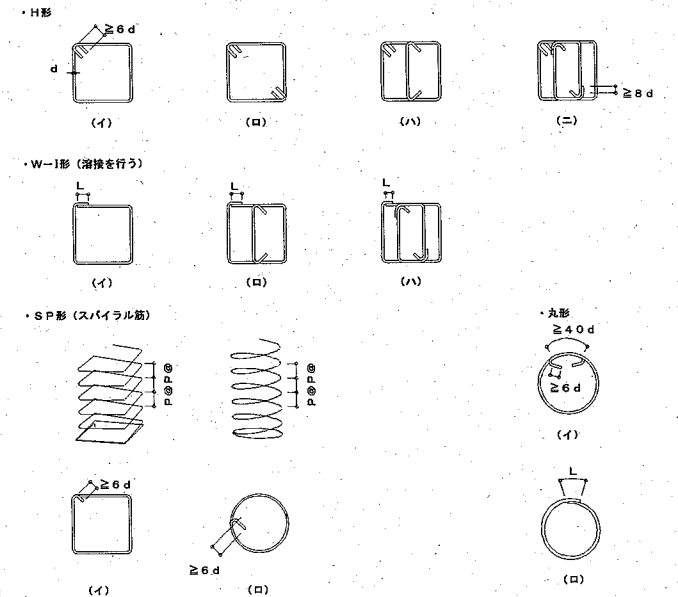


8.2図 上下の柱断面が異なる柱主筋の折曲げ及び定着

9 帯筋

9.1 帯筋の形状

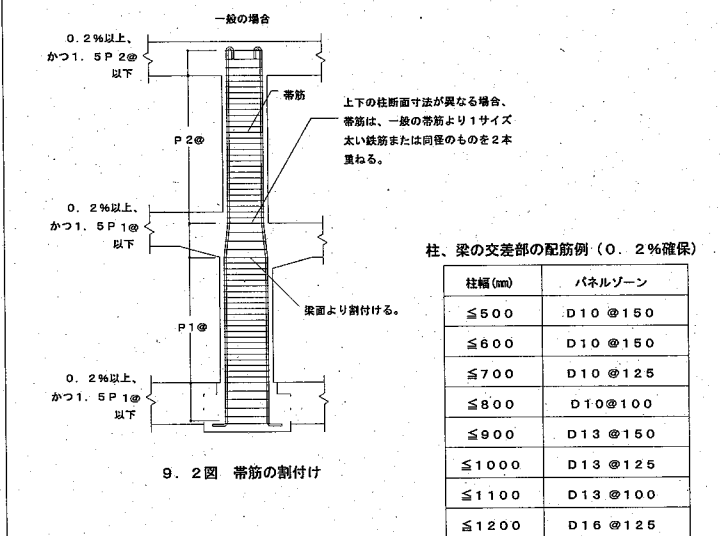
- 帯筋の形状は、9.1図とし、種別は図面による。図面になければ下記による。
 - H形を標準とする。
 - H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-1形とする。
 - 溶接する場合の溶接長さは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とし、組立前に行う。
 - SP形において、柱頭及び柱脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。



9.1図 帯筋組立の形

9.2 帯筋の割付け

- フック及び継手の位置は交互とする。
- 帯筋の割付けは、9.2図による。ただし、図面にある場合はそれによる。
- 柱、梁の交差部 (パネルゾーン) の帯筋のせん断補強率は、0.2%以上を確保し、補強筋間隔 $\leq 1.5P$ とする。



*1. 5P1, 1.5P2のピッチは150mm以下とする。

横須賀市上下水道局

図面名称 下町浄化センター
焼却炉監視棟耐震補強建築工事

種別 構造細目共通図(2)

縮尺 - 図面番号 S-02

製作年月 令和3年7月 原図サイズ A3

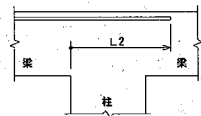
課長 係長 担当者 設計者

10 大梁筋の継手及び定着

10.1 大梁（基礎梁以外の大梁に限る）主筋の継手、定着及び余長

大梁主筋の継手及び定着の一般事項

- a. 梁主筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことが出来ない場合は、b. により柱内に定着することができる。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、10.1図による。

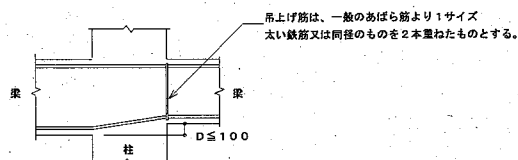


10.1図 梁主筋の梁内定着

- b. 梁主筋を、柱内に折曲げて定着する場合は次による。なお、定着の方法は、6.1.4による。

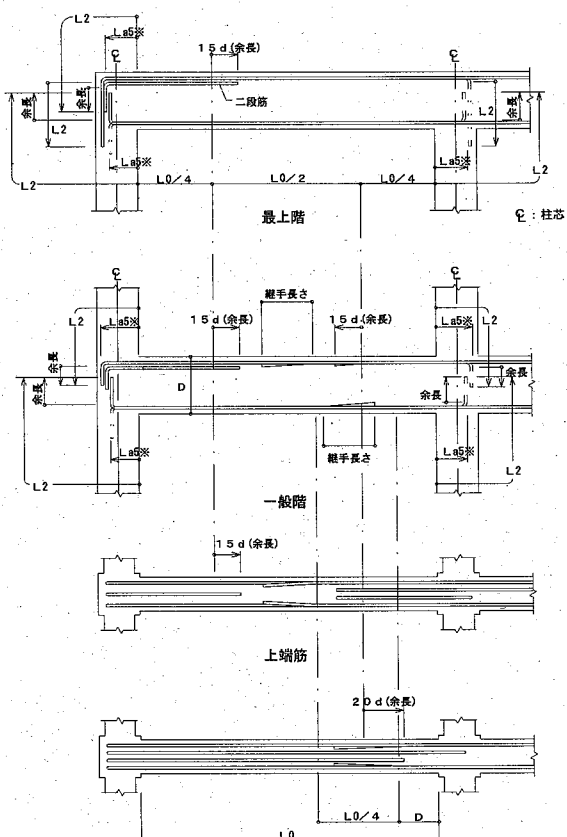
上端筋：曲げ下ろす。
下端筋：原則として曲げ上げる。

- c. 段違い梁は10.2図による。



10.2図 段違い梁

10.2 ハンチのない場合

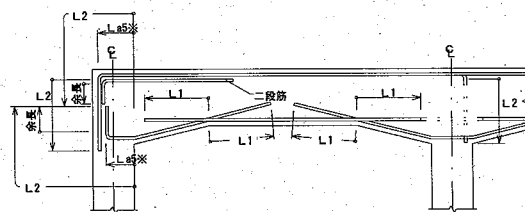


- (注) 1. 継手中心位置は次による。
上端筋：中央 $L_0/2$ 以内
下端筋：柱面より梁せい (D) 以上離し、 $L_0/4$ を加えた範囲以内
2. 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。
3. 印は、継手及び余長を示す。
4. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの $3/4$ 倍以上とする。

10.3図 大梁の重ね継手、定着及び余長

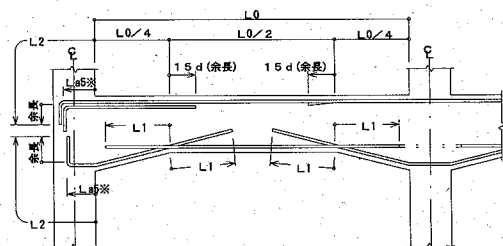
10.3 ハンチのある場合

(1) 最上階の場合



10.4図 ハンチのある大梁の定着及び余長（最上階）

(2) 一般階の場合

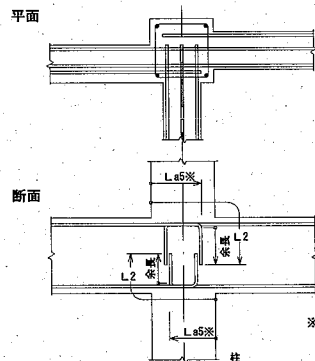


10.5図 ハンチのある大梁の定着及び余長（一般階）

- (注) 1. 4. 異形鉄筋の末端部で定めた鉄筋には、フックを付ける。
2. 印は、継手及び余長を示す。
3. 梁内定着の端部下端筋が接近するときは、 \dots のように引き通すことができる。
4. 破線は、梁内定着の場合を示す。
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの $3/4$ 倍以上とする。

10.4 水平段差のある場合

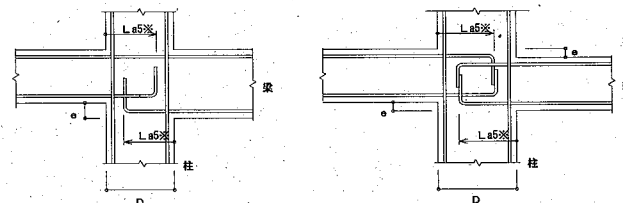
水平段差のある場合



10.6図 大梁の定着及び余長（水平段差のある場合）

10.5 鉛直段差 (e) のある場合

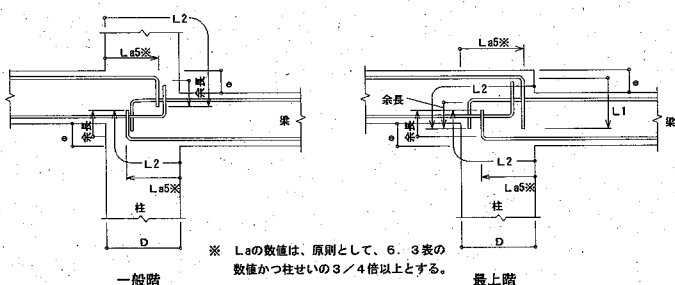
(1) $e/D \leq 1/6$ の場合



- 定着の長さは、10.3図に準ずる
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの $3/4$ 倍以上とする。

10.7図 鉛直段差梁（その1）

(2) $e/D > 1/6$ の場合



- ※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの $3/4$ 倍以上とする。

10.8図 鉛直段差梁（その2）

11 梁のあばら筋、腹筋及び幅止め筋

11.1 一般事項

- (1) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは、150mm程度とする。
- (2) 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは、 L_2 とする。
- (3) 土圧、水圧を受ける梁は、図面による。
- (4) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、 $D10-1000$ mmピッチ程度とする。

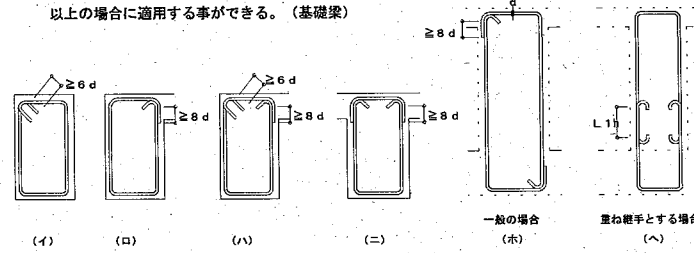
11.2 あばら筋組立の形及びフックの位置

(1) 形は、11.1図 (イ) を標準とする。ただし、(イ) によることが出来ない場合は、下記の方法によること出来る。

- a. 床版が片側に付く場合は、(ロ) 又は (ハ)
- b. 床版が両側に付く場合は、(ロ) ~ (ニ)

(2) フックの位置

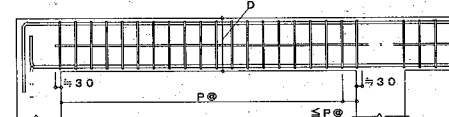
- a. (イ) の場合は交互とする。
- b. (ロ) の場合 床版が片側に付く場合は床版の付く側。床版が両側に付く場合は交互。
- c. (ハ) の場合は床版の付く側を 90° 折曲げ、 $8d$ 確保する。
- d. (ホ) (ヘ) の場合は梁の上下にスラブが付く場合でかつ、梁せいが1.5m以上の場合に適用する事ができる。(基礎梁)



11.1図 あばら筋組立の形及びフックの位置

11.3 あばら筋の割付け

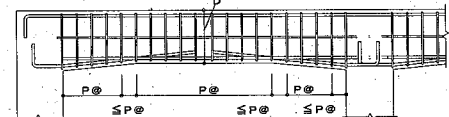
(1) 間隔が一律でハンチのない場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2. 図中の P は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

11.2図 あばら筋の割付け（その1）

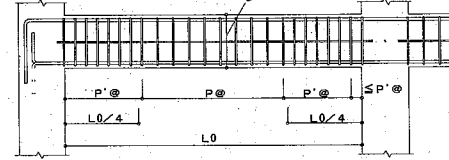
(2) 間隔が一律でハンチのある場合



- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置及びハンチに切り替わる位置から割付ける。
2. 図中の P は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

11.3図 あばら筋の割付け（その2）

(3) 梁の端部で間隔の異なる場合



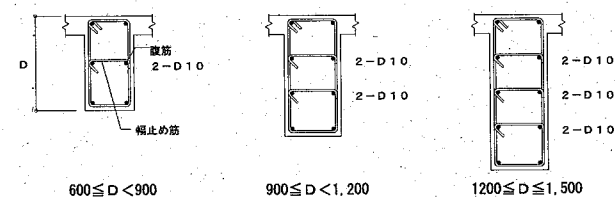
- (注) 1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。
2. 図中の P は、特記されたあばら筋の間隔を示す。

11.4図 あばら筋の割付け（その3）

11.4 腹筋及び幅止め筋

(1) 一般の梁

a) 腹筋及び幅止め筋



11.5図 腹筋及び幅止め筋

(2) 特殊な梁

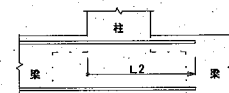
腹筋及び幅止め筋は、図面による。

12 基礎梁及び底版の継手及び定着

12.1 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

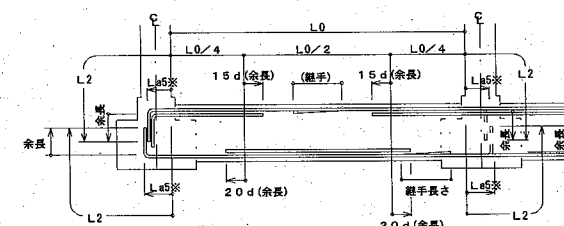
(1) 一般事項

- (a) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は柱内に定着する。やむを得ず梁内に定着する場合は、12.1図による。
- (b) 梁筋を柱内に定着する場合は10.1(1)bによる。

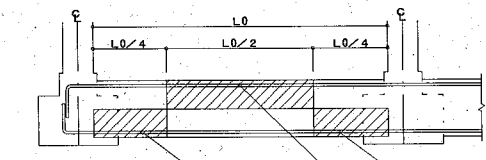


12.1図 梁筋の基礎梁内への定着

(2) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長

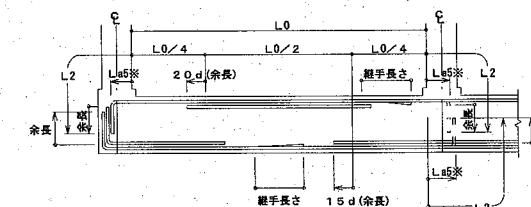


- (注) 1. 図示のない事項は、10.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの $3/4$ 倍以上とする。

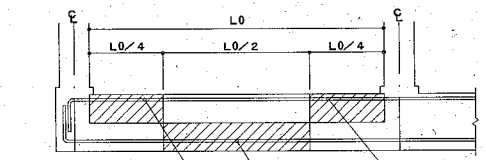


12.2図 主筋の継手、定着及び余長（その1）

(3) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長



- (注) 1. 図示のない事項は、10.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
※ L_a の数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱せいの $3/4$ 倍以上とする。

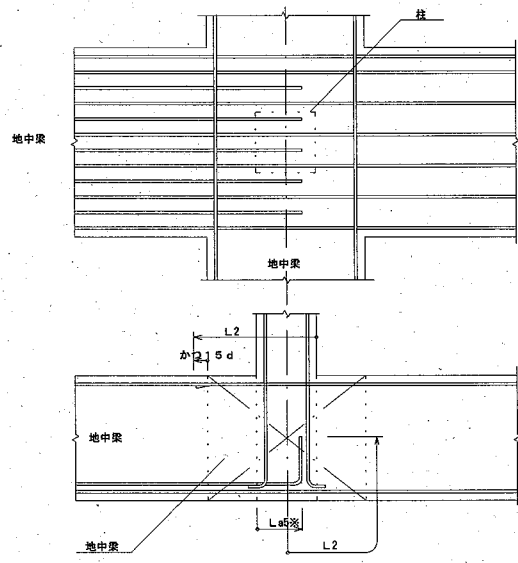


12.3図 主筋の継手、定着及び余長（その2）

横須賀市上下水道局

図面名称	下町浄化センター焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	構造細目共通図(3)		
縮尺	-	図番号	S-03
製作年月	令和3年7月	原サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者

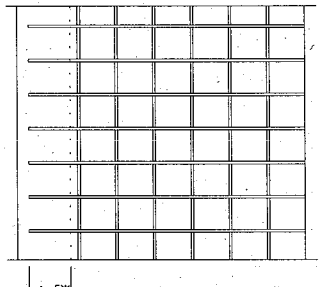
(4) 柱幅<梁幅の場合
(a) 交差部のスターラップを設ける場合は、図面による。



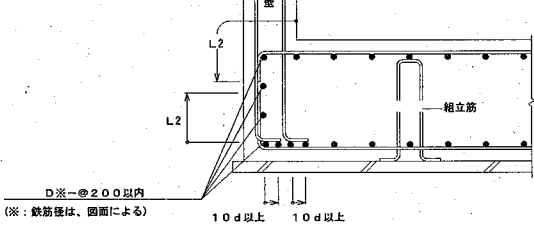
※ Lbの数値は、原則として、6.3表の数値かつ柱径の3/4倍以上とする。
12.4図 主筋の継手、定着及び余長 (その3)

12.4 梁形を設けない場合の基礎底版 (オイルタンク等)

(1) 定着の取り方は、壁の面からとする。
(2) 途中で配筋が変わる場合の定着は、12.2図のように基礎底版筋を梁筋と読みかえる。

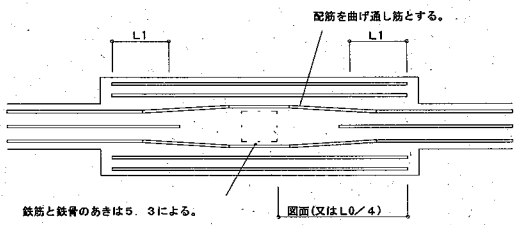


※ Lbの数値は、原則として、柱径の3/4倍以上とする。



12.5図 主筋の継手、定着及び余長 (その4)

(3) 鉄骨造のBOX柱等が埋め込まれる場合の端部と中央部の断面の異なる場合



12.6図 主筋の継手、定着及び余長 (その5)

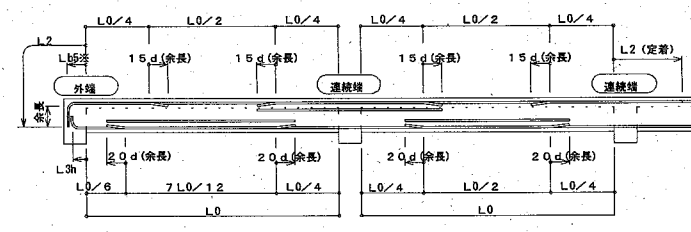
13 小梁及び片持梁の配筋要領

13.1 一般事項

(1) 図面にない事項は大梁、梁のあばら筋、及び基礎梁の項に準ずる。
(2) 印は、継手及び余長を示す。

13.2 小梁

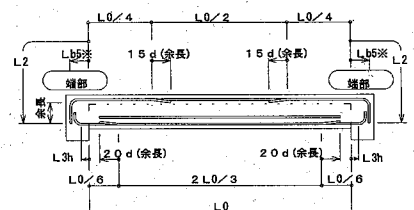
(1) 連続小梁の場合



※ Lbの数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

13.1図 小梁主筋の継手、定着及び余長 (その1)

(2) 単独小梁の場合

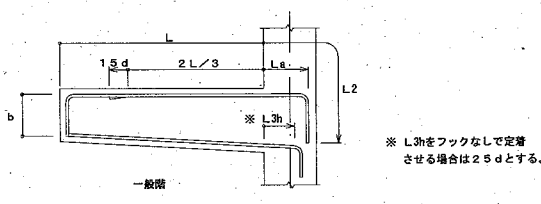


13.2図 小梁主筋の継手、定着及び余長 (その2)

(注) 1. 印は、継手及び余長を示す。
2. 梁内の定着筋において梁せいが小さく垂直で余長がとれない場合、斜めにしてもよい。
3. 図示のない事項は、10.1及び12.1に準ずる。
※ Lbの数値は、原則として、6.3表の数値かつ梁幅の1/2倍以上とする。

13.3 片持梁筋の定着

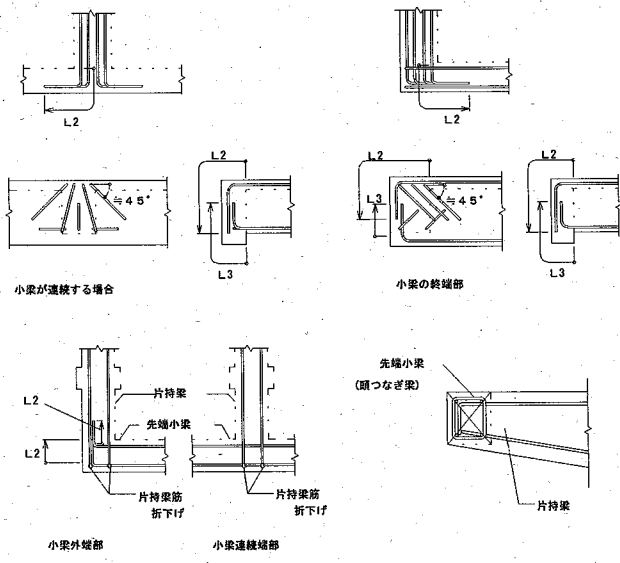
(1) 先端に小梁のない場合
a. 先端の折曲げの長さbは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
b. 梁筋を引き通さない場合は、取り合い部材に定着する。ただし、柱に取り合う場合は、全数を引き通すことができる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。



13.3図 片持梁主筋の定着及び余長 (先端に小梁のない場合)

(2) 先端に小梁がある場合

a. 上端筋は、先端小梁内に斜めに定着する。
b. 先端小梁終端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
c. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を貫通する通し筋としてよい。

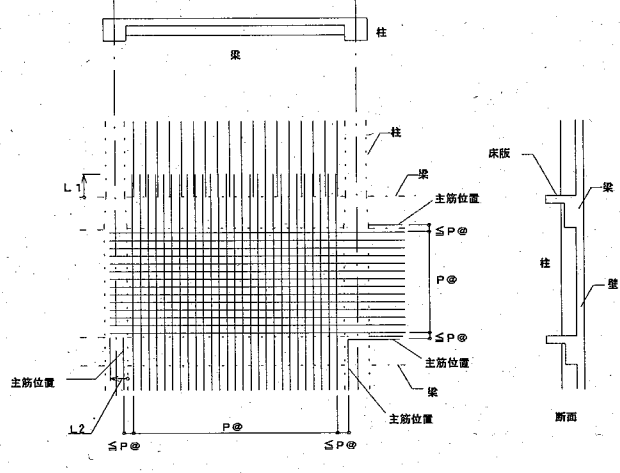


13.4図 片持梁主筋の定着

14 壁の配筋要領

14.1 一般事項

(1) 壁配筋の継手の長さはL1、及び定着の長さは、L2とする。
(2) 土圧及び水圧などを受ける壁及び耐震壁として、図面に示されたものは、継手長さをL1、定着長さはL2とする。ただし、耐力壁の重ね継手の長さは40dとし、SD390、SD490を使用する場合は特記による。
(3) 幅止め筋は、縦、横ともD10-@1000を標準とする。
(4) 一般部壁筋は、14.1図による。



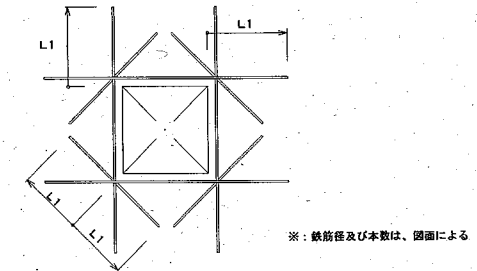
14.1図 壁の配筋

14.2 耐震壁の開口

(1) 耐震壁等の開口は、図面以外に設けてはならない。
(2) やむを得ず開口を設ける場合は、H19国土交通省告示593号の規定を満足することを構造計算によって確認すること。

14.3 壁開口部の補強

(1) 壁開口部の補強は、図面による。補強筋の長さ及び位置は、14.3図を標準とする。

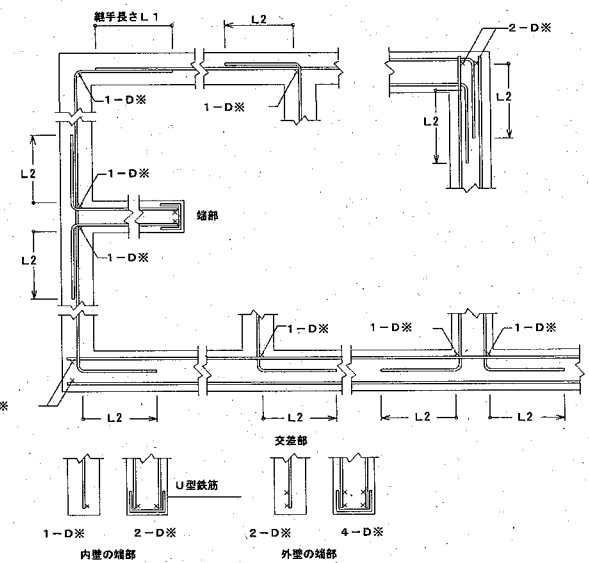


14.3図 壁開口部の補強の定着長さ

(2) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げるにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強筋を省略することができる。

14.4 壁の交差部及び端部

壁と壁の交差部は、14.4図による。
a. 交差部補強筋DはD13以上、かつ壁主筋と同径とする。
b. 壁の端部にU型鉄筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。

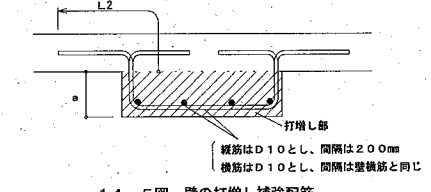


14.4図 壁の交差部及び端部の配筋

※壁構造の場合は、「壁構造配筋指針・同解説」(建築学会)に基づき図面による。

14.5 壁の打増し要領

コンセントボックス等を壁に埋め込む場合の補強は、特記によるほか、配管等での壁の打増し補強筋は、14.5図による。
打増し厚さのaが50mm以上、200mm以下に適用する。
200mmを超える場合は、特記による。



14.5図 壁の打増し補強配筋

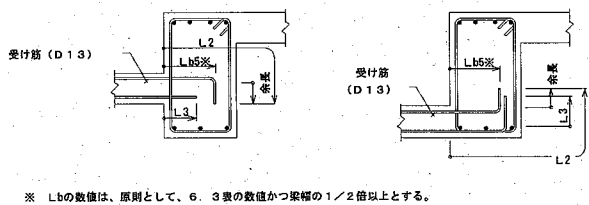
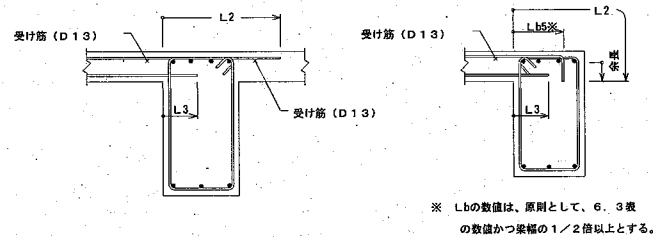
横須賀市上下水道局

図面名称	下町浄化センター焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	構造細目共通図(4)		
縮尺	-	図番	S-04
製作年月	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者

15 床の配筋要領

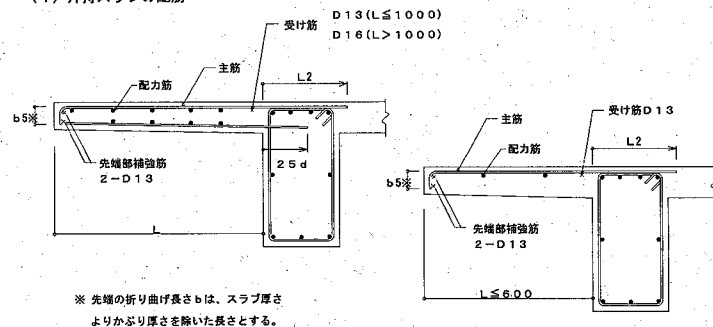
15.1 一般事項

- (1) 鉄筋の継手長さは、L1とする。
- (2) 定着長さ及び受け筋は、15.1図による。ただし、引き通すことができない場合は、15.2図、15.3図により案内に定着する。
- (3) 基礎梁と床版を一体打ちとし、打ち継ぎを設ける場合の補強は図面による。図面がなければ16.5図による。

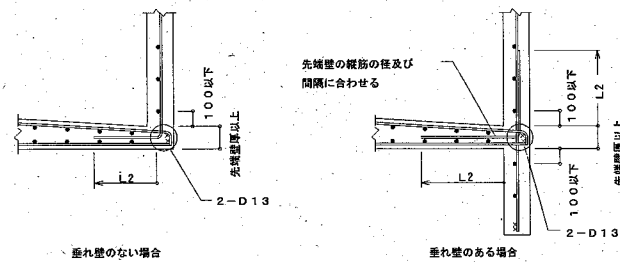


15.2 片持スラブ

(1) 片持スラブの配筋

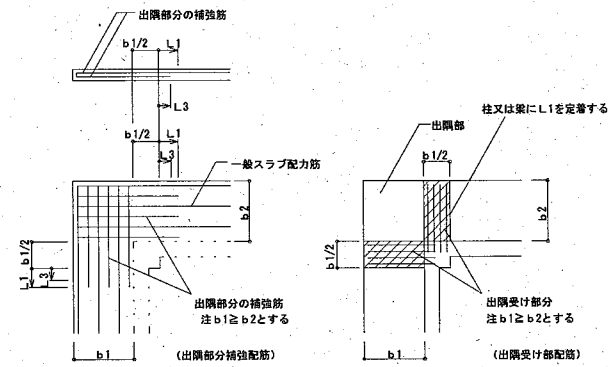


(2) 先端に小梁がなく壁が取り付けられる場合



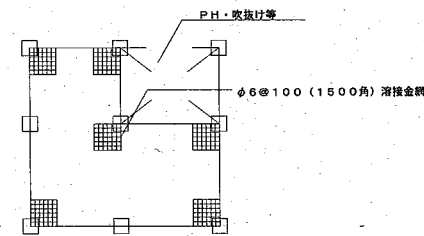
15.3 出隅部の配筋方法

- (1) 補強の配筋は図面による。配筋方法は、15.6図による。特記がない場合は、D10@100ダブルとする。
- (2) 出隅受け部分(図のハッチ部分)の配筋は、図面(幅はb/2とする)による。



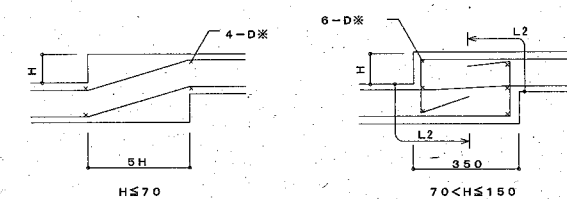
15.4 地上部最上階の屋根床版

- (1) 出隅及び入隅部分には、15.7図により、補強筋(溶接金網)を上端筋の下側に配筋する。
- (2) 陸屋根、勾配屋根共通とする。



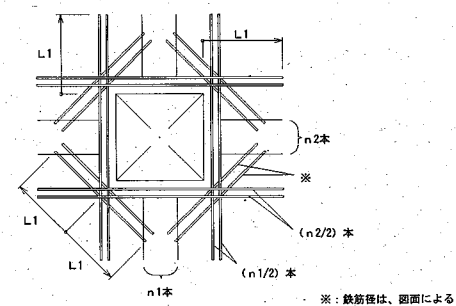
15.5 段差床版の補強

- 同一床版に段差がある場合、15.8図の補強を行う。ただし、H>150の場合は、小梁を設ける事を原則とする。



15.6 床版開口部の補強

- (1) 開口の最大径≦700の場合は、開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には、斜め方向に主筋径以上の鉄筋2本を上下筋の内側に配筋する。(15.9図) 開口の最大径>700の場合は図面による。

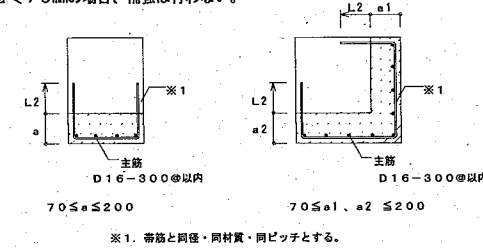


- (2) 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強筋を省略することができる。

16 柱及び梁の増し打ち要領

16.1 柱

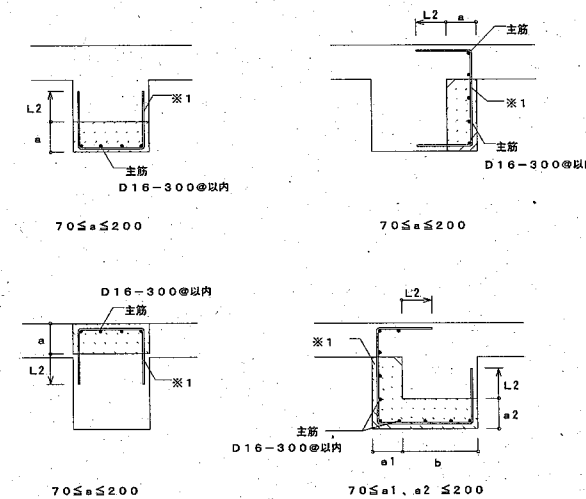
- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、16.1図による。ただし、a<70mmの場合、補強は行わない。



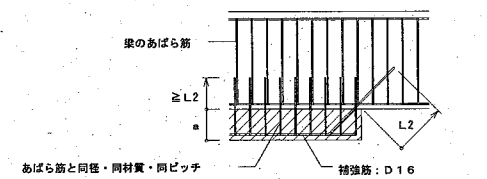
- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。
- (3) 増し打ち部分の帯筋の定着長さは、L2以上とする。
- (4) 増し打ち部分主筋の定着、重ね長さは、柱の主筋による。

16.2 梁

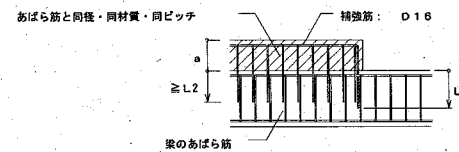
- (1) 増し打ちコンクリートの補強は、16.2図による。ただし、a<70mmの場合、補強は行わない。



- (2) 増し打ち部分での鉄筋は、定着長さとして認めない。ただし、躯体と一体打ちの場合は除く。
- (3) 増し打ち部分のあばら筋の定着長さは、L2以上とする。
- (4) 増し打ち部分の主筋の定着、重ね長さは、梁の主筋による。
- (5) 梁の上下の増し打ちが途中で終わる場合



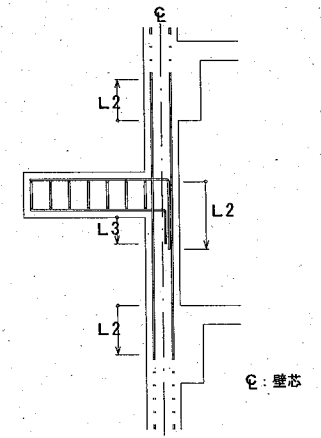
- (6) 梁の側面の増し打ちが途中で終わる場合



18 階段の配筋要領

18.1 階段の配筋要領

- (1) 壁配筋は、図面による。
- (2) 階段主筋は、壁の中心線を越えてから縦に曲げ下ろす。



18.1図 片持スラブ形階段配筋の定着

横須賀市上下水道局

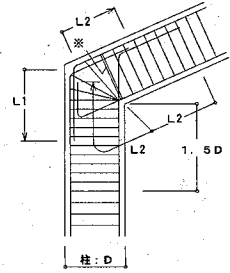
図面名称	下町浄化センター焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	構造細目共通図(5)		
縮尺	-	図番	S-05
製作年	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者

19 勾配屋根の取り合い

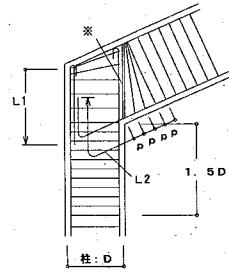
19.1 斜め柱・斜め梁の取り合い

- (1) ※印の鉄筋は、同径以上とし、かつダブル巻きとする。
- (2) 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、またはダブル巻きとし@100以下とする。
- (3) 柱の取合い部における斜め梁のせん断補強筋中心間隔は、当該梁部材のせん断補強筋中心間隔p以下とする。

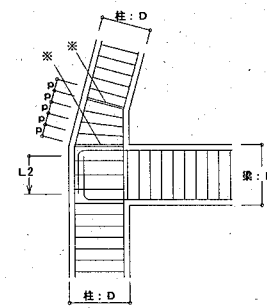
a) 柱幅と斜材(柱又は梁)幅が同一



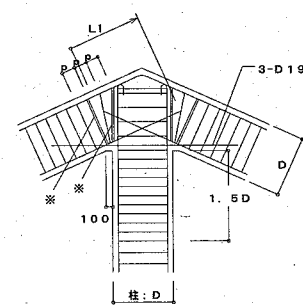
b) 柱幅と斜材幅が異なる



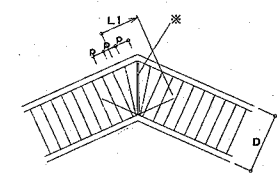
c) 柱脚で斜材となる



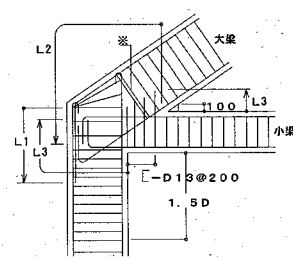
d) 柱頭で斜材となる上端筋は、連続筋とする。



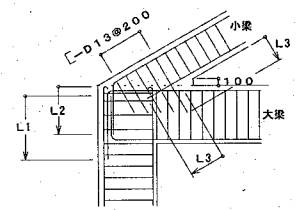
e) 梁が斜材となる上端筋は、連続筋とする。



f) 斜め大梁に小梁が接する場合 柱筋はa), b)に倣う。



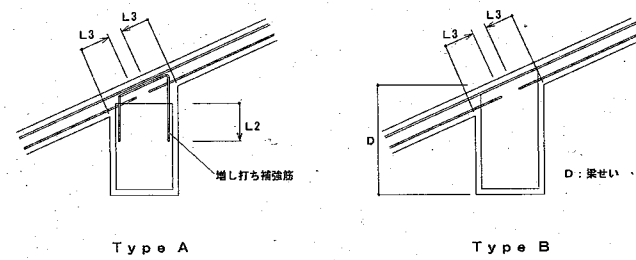
g) 大梁に斜め小梁が接する場合 柱筋はa), b)に倣う。



19.1図 斜め柱・斜め梁の取り合い配筋

19.2 梁と床版の取り合い

増し打ち補強要領は、16.2による。



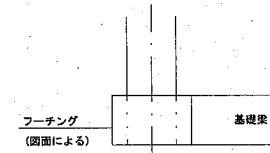
19.2図 梁と床版の取り合い配筋

19.3 円柱の取り合い

円柱と梁の取り合い



- 1) 柱頭部で柱芯に梁が取り付く場合
- 2) 柱頭部で柱外面に梁が取り付く場合



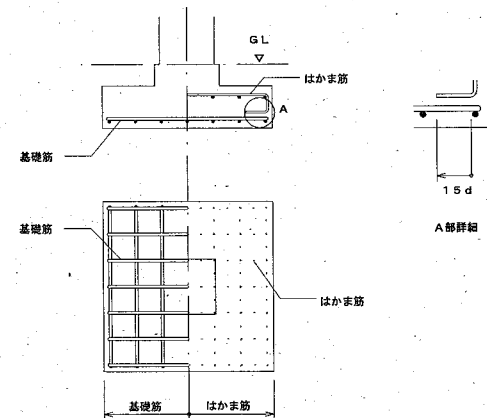
- 3) 柱脚部の円柱と基礎との取合い

19.3図 円柱の取り合い配筋

20 基礎及び基礎梁の配筋

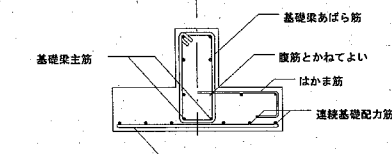
20.1 直接基礎の配筋

(1) 独立基礎



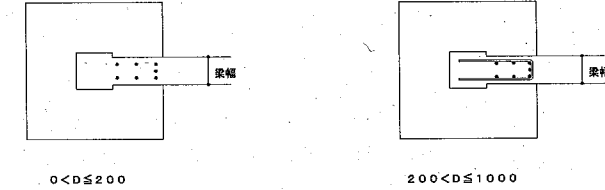
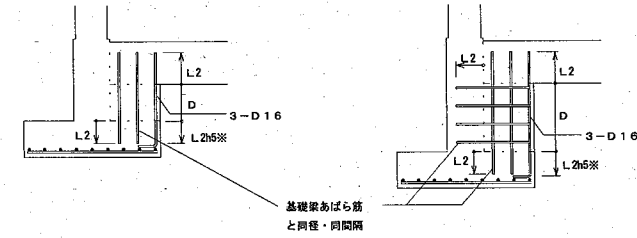
20.1図 独立基礎の配筋

(2) 連続基礎



20.2図 連続基礎の配筋

20.2 基礎接合部の補強配筋

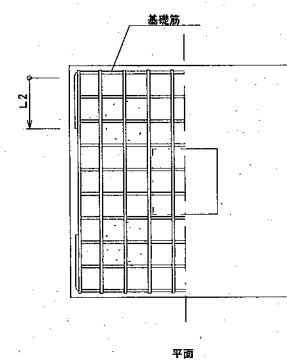
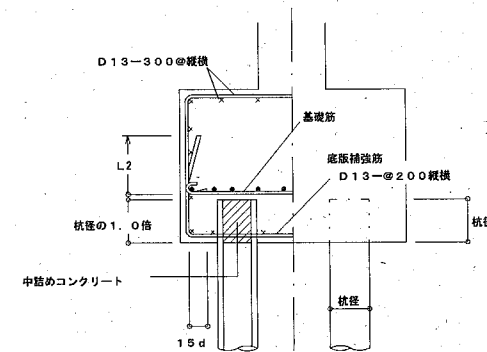


※L2hを確保できない場合は、標仕(5.3.4(e)(2))によることができる。

21 杭基礎の補強

21.1 杭基礎の配筋

- (1) 中詰めコンクリートは、基礎のコンクリートと同じ調合のコンクリートを使用する。
- (2) 既製コンクリート杭以外の場合は、特記による。



21.1図 杭基礎の配筋及び杭頭部の補強方法

21.2 基礎接合部の補強

基礎接合部の補強は、20.2による。

横須賀市上下水道局

図面名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	構造細目共通図(6)		
縮尺	-	図面番号	S-06
製作年月	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者

構造改修基準図

一般事項

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版及び、日本建築防災協会「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震改修設計指針同解説」による。

2. 使用材料

コンクリート : 設計基準強度27N/mm² スランプ18cm
 鉄筋 : D16以下 SD295A (規格品)
 D19以上 SD345 (規格品)
 スパイラル筋 : JIS G 3532に規格される普通鉄線
 グラウト材 : 無収縮モルタル
 設計基準強度σ_m=30N/mm²以上

あと施工アンカー : カプセル型又は、チューブ型とし、メーカーにより接合筋の母材強度が保証されたものとする。

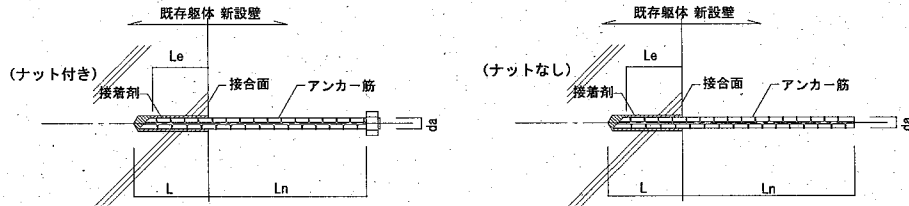
あと施工アンカー

(1) あと施工アンカーの仕様

- あと施工アンカー : カプセル型又は、チューブ型
- 施工方式 : 回転・打撃式
- 軸部アンカー筋 : 下図参照
- 埋め込み深さ L : 下図参照
- 有効埋め込み深さ Le : L-da
- 有効定着長さ Ln : 下図参照

(2) アンカー筋の寸法

• 接着系アンカー



L : コンクリートの穿孔深さ (L = Le + da)
 Le : アンカーの有効埋め込み長さ
 Ln : 有効埋め込み長さ・定着長さ
 da : アンカー軸部の直径、アンカー筋の呼び名

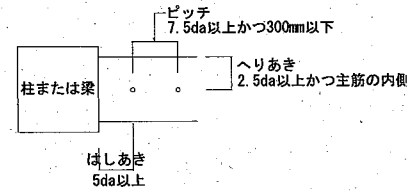
(3) アンカーの埋込み深さ及び定着長さ

アンカー関係共通事項	
接着系アンカーの有効埋め込み長さ	Le = 7da
接着系アンカーの有効定着長さ	Ln = 20da
アンカー筋形状	ナット付き異形棒鋼(開口補強筋用はナットなし)とし、ナットからねじ山が2山以上でること。 また、先端形状は45°カットとする。

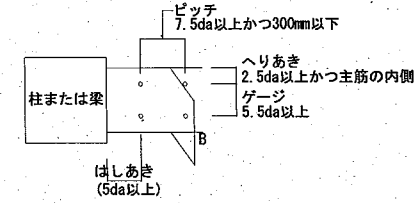
施工確認試験荷重	
アンカー筋呼び名 (da)	荷重 (kN)
D10	-
D13	37.2
D16	58.3
D19	93.6
D22	128.5

(4) アンカー筋のピッチ及びヘリあき

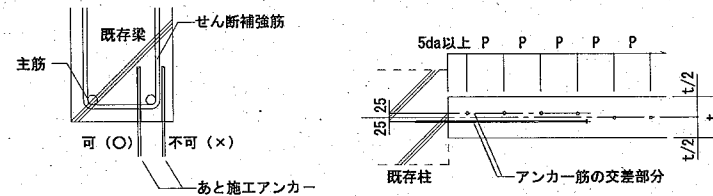
1) シングル配筋



2) ダブル配筋

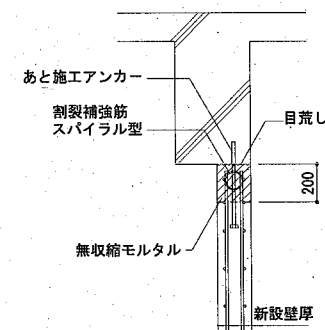


(5) アンカー筋の配置



新設・増設壁上部グラウト要領

(1) 特記なき新設壁・増設壁・開口閉塞部・新設開口上部は、無収縮モルタル(200mm以上)を充填する。

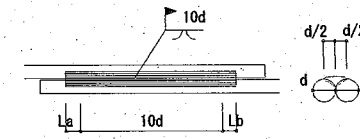


(2) 無収縮モルタル充填

- コンクリート打設は2段打ちとし、2段目に無収縮モルタルを充填する。充填に先立ち1段目打設端は、レイタンス等が残らないように十分にケレン清掃を行う。また無収縮モルタル充填は、空気抜きパイプよりオーバーフローを確認する。
- 型枠は充填時の圧力で破損、変形のない堅固な構造とし、圧入モルタルの噴出のないように組み立てる。
- 圧入に先立ち既存コンクリート表面及び吸水性のせき板表面は十分に水浸しを行う。
- 圧入は、適切な圧力で中断しないように行う。
- 無収縮モルタルの充填は、空気抜き孔を設け、無収縮モルタルが全ての空気孔から出てくる事により確認する。
- 無収縮モルタルの強度発現期間内は十分な湿潤状態で養生する。また養生期間中は振動等を与えないようにする。

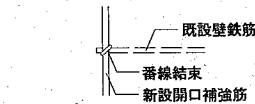
鉄筋フレア溶接要領

1. 鉄筋のフレア溶接の溶接長さは、ビードの始点 (La) 及び、クレーター (Lb) を除いた部分の長さとする。但し、La及びLbは2d以上とする。

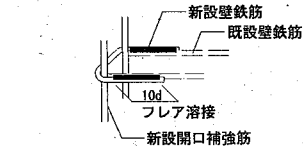


片面フレア溶接

既存壁鉄筋と新設開口補強筋の接合方法



シングル配筋

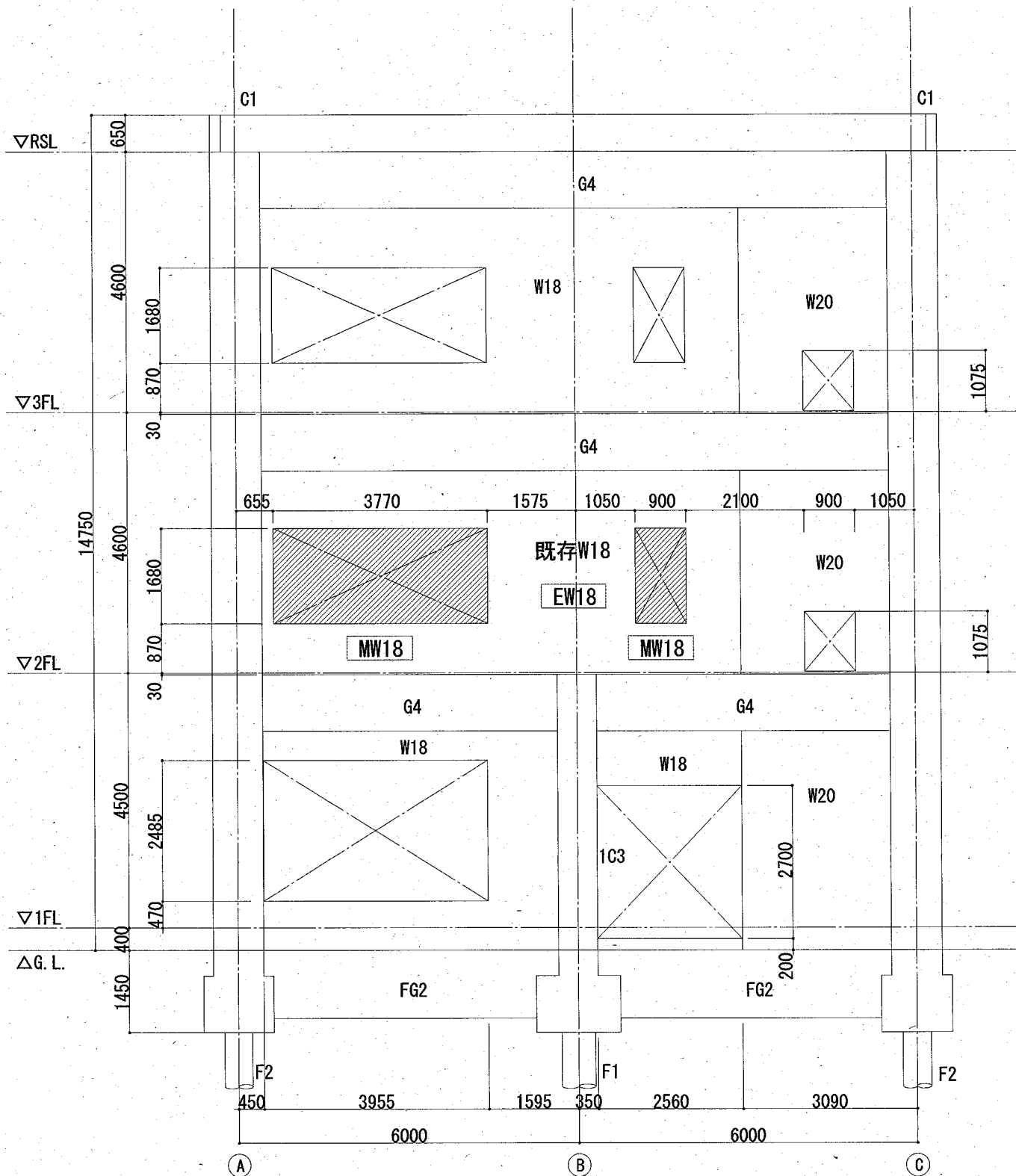


ダブル配筋

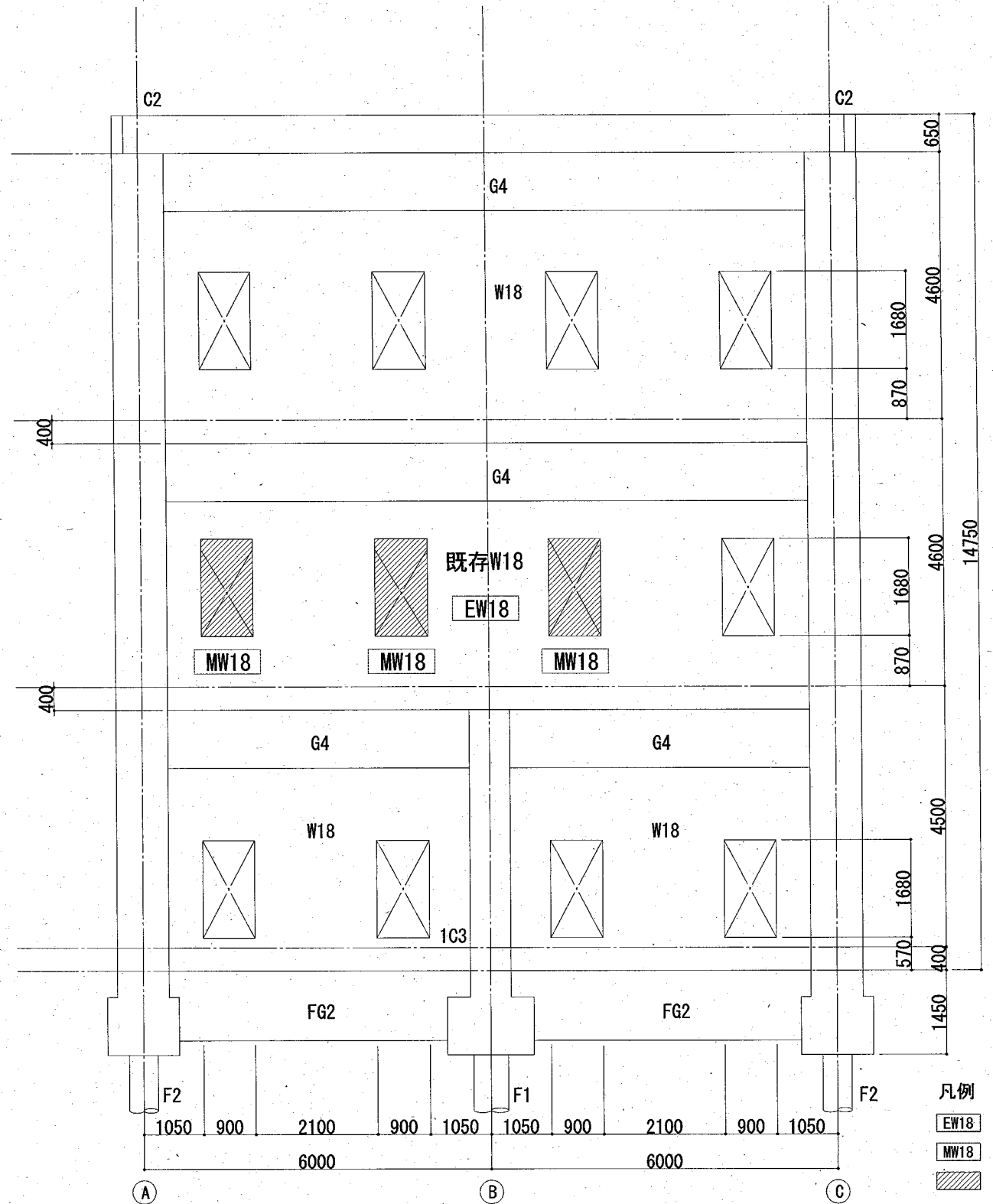
※ 新設壁鉄筋 : 既存壁鉄筋と同径・同ピッチとする。 ※ 新設開口補強筋 : 既存壁鉄筋と同径・同ピッチとする。

横須賀市上下水道局

図面名称	下町浄化センター焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	構造改修基準図		
縮尺	-	図番	S-07
製作年	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者



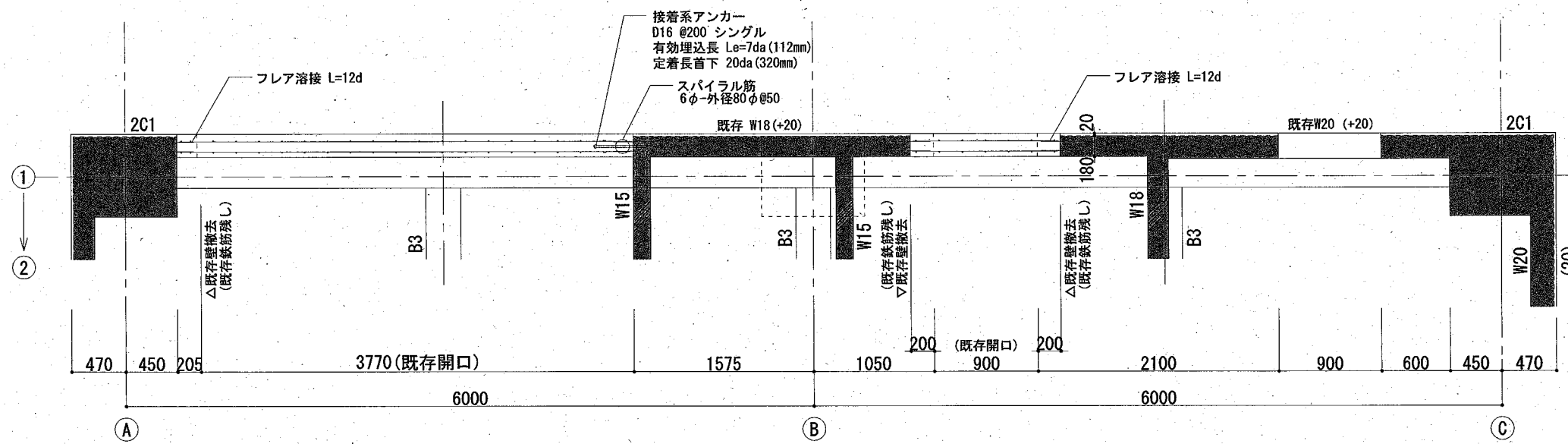
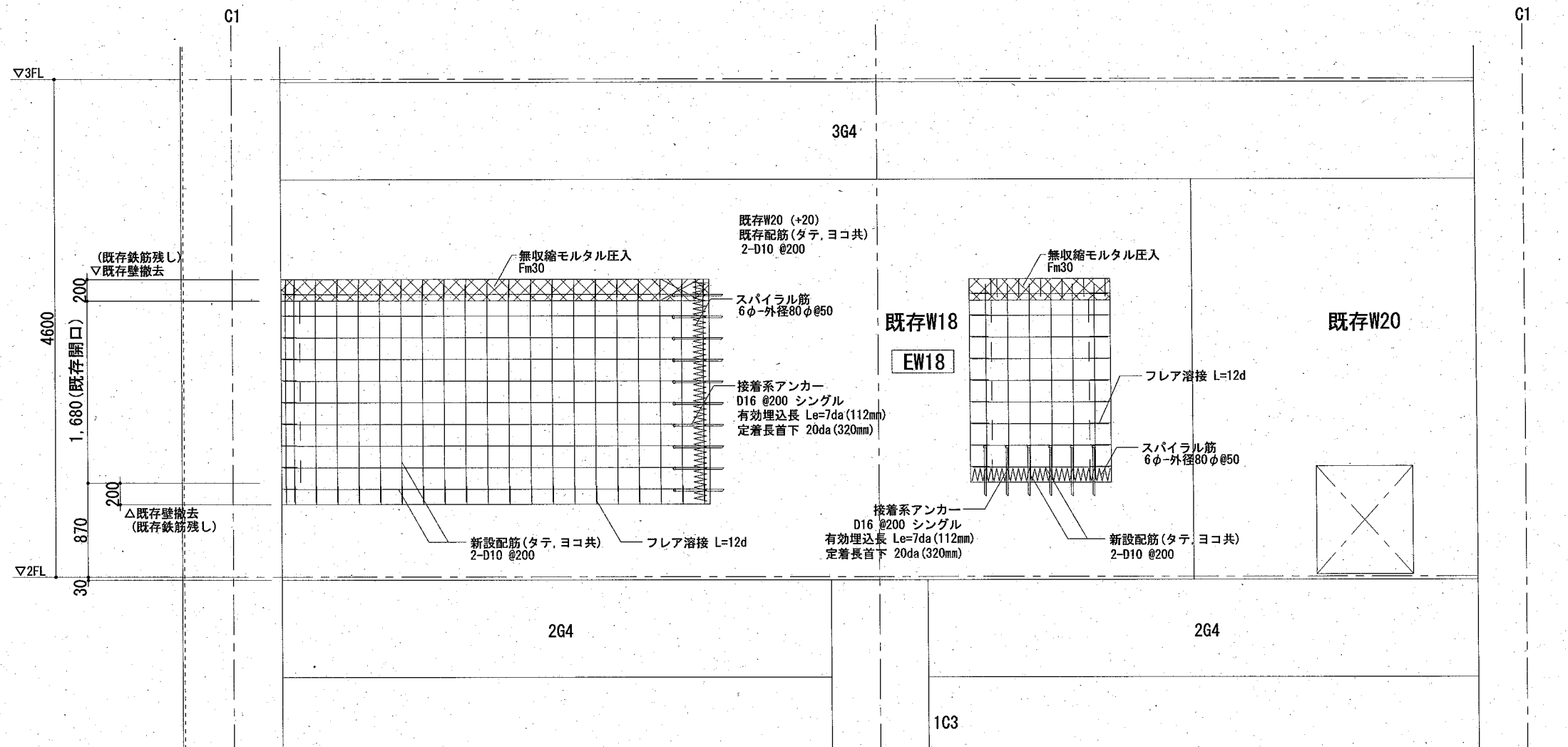
補強軸組図 ①通り (1/100)



補強軸組図 ⑥通り (1/100)

- 凡例
- EW18 開口閉塞後
 - MW18 開口閉塞
 - 斜線 壁開口閉塞

横須賀市上下水道局			
図名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	補強軸組図		
縮尺	1/100	図番	S-09
製作年	令和3年7月	原図	A3
課長	係長	担当者	設計者



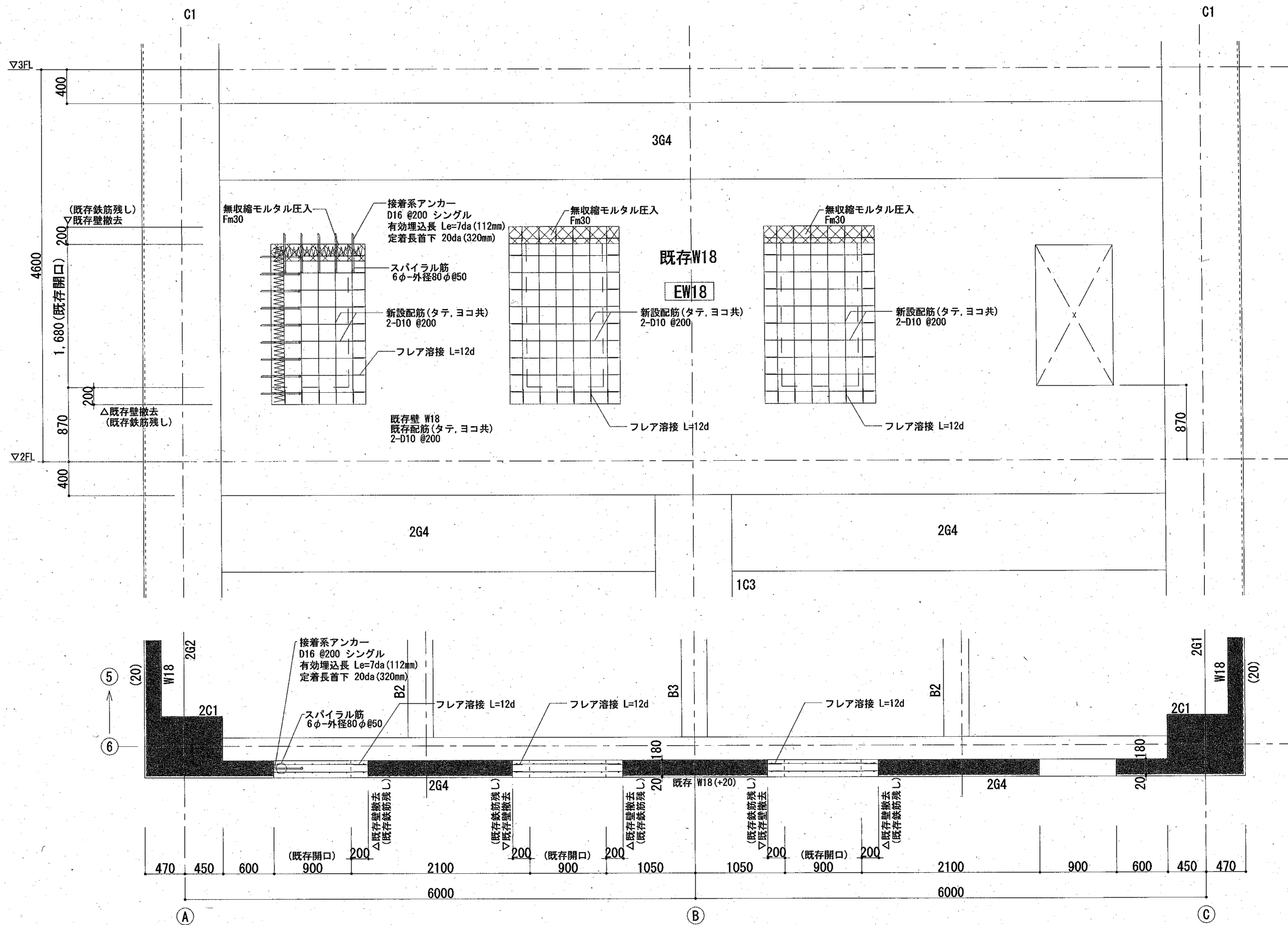
- 凡例
- EW18 開口閉塞後
 - MW18 開口閉塞
 - 壁開口閉塞

1通り開口閉塞MW18詳細図 (1/50)

- 使用材料
1. コンクリート $F_c=27N/mm^2$
 2. 鉄筋 SD295 (D13以下)
 3. あと施工アンカー 接着系SD295 (D16)
 4. 無収縮モルタル $F_m=30N/mm^2$
 5. スパイラル筋 SR235

注記) A軸柱への壁横筋は、長さを確認するとともに定着を確認張力試験を行う。試験の結果が不可の場合は、接着系アンカー D13 @200 チドリ ($Le=7da$) を打設してスパイラル筋6φ-外径120φ-@50を設置すること。

横須賀市上下水道局			
図面名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	開口閉塞詳細図 (1)		
縮尺	1/50	図番	S-10
製作月	令和3年7月	原図	A3
課長	係長	担当者	設計者



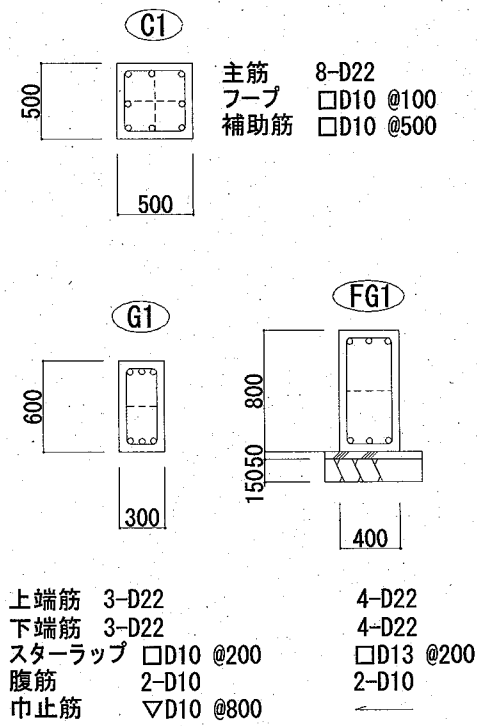
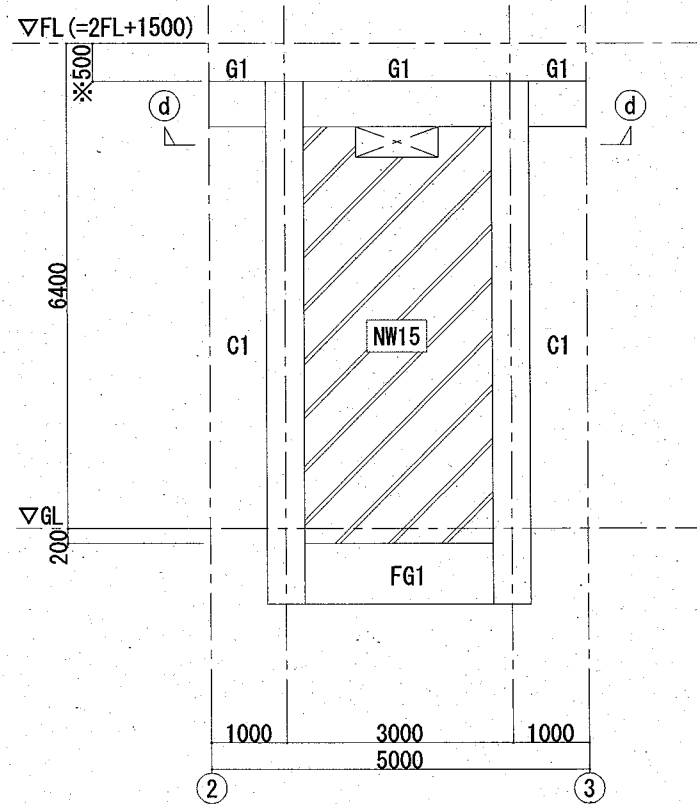
- 凡例
- EW18 開口閉塞後
 - MW18 開口閉塞
 - 壁開口閉塞

6通り開口閉塞MW18詳細図 (1/50)

- 使用材料
1. コンクリート $F_c=27N/mm^2$
 2. 鉄筋 SD295 (D16以下)
 3. あと施工アンカー 接着系SD295 (D16)
 4. 無収縮モルタル $F_m=30N/mm^2$
 5. スパイラル筋 SR235

横須賀市上下水道局

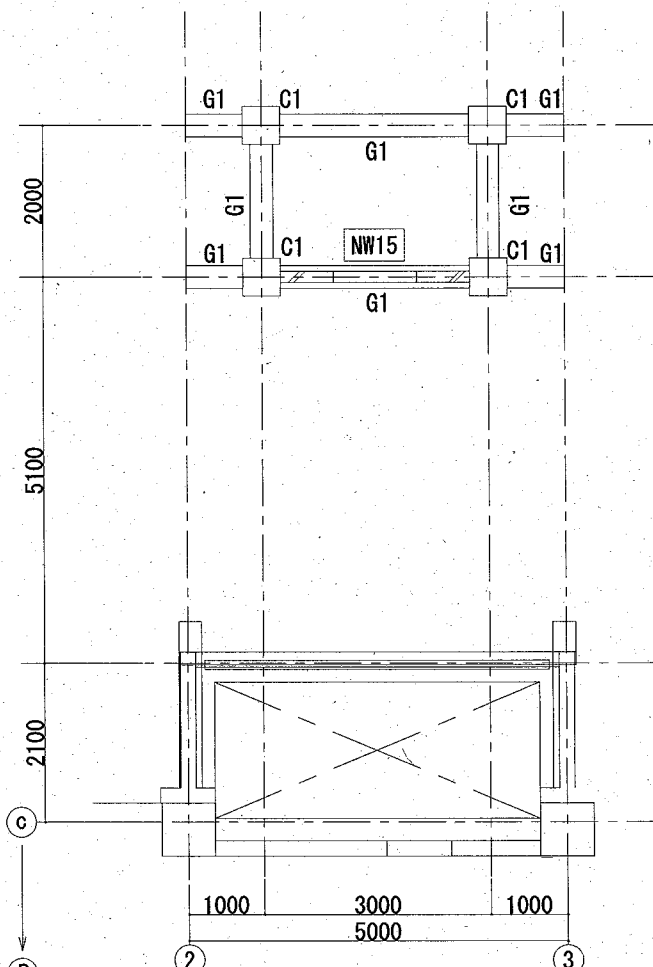
図面名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	開口閉塞詳細図(2)		
縮尺	1/50	図番	S-11
製作年	令和3年7月	原図	A3
課長	係長	担当者	設計者



C+7, 200通り軸組図 (1/100)

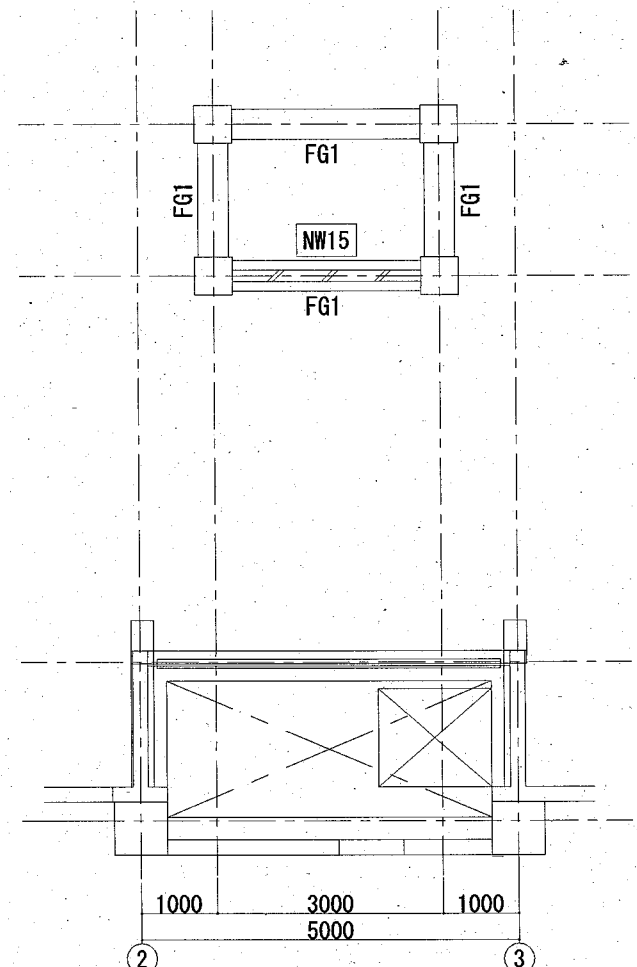
凡例: NW15: 新設壁

注記) ※印寸法は、実測により確認を行うこと。

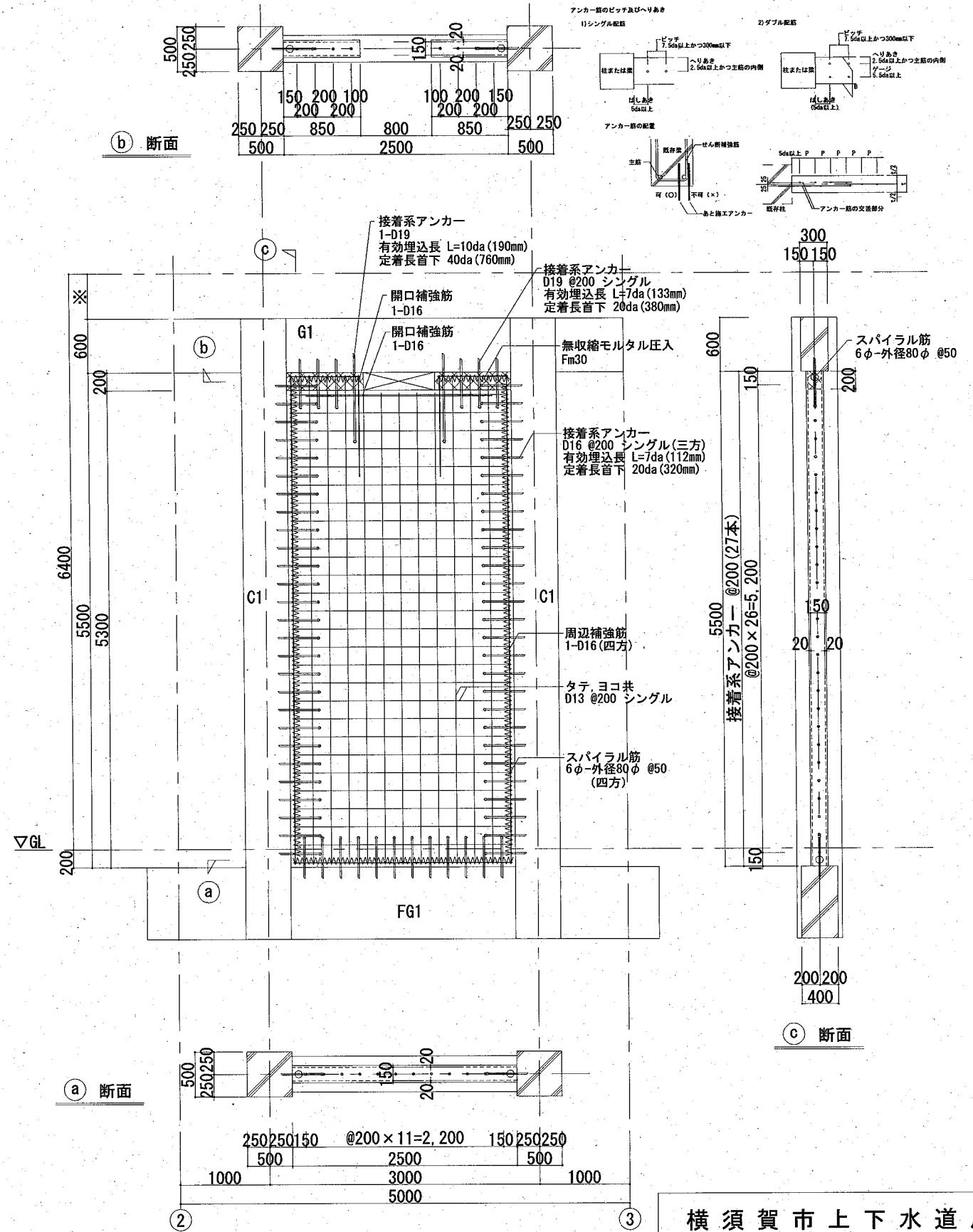


梁伏図 (1/100)

(断面 d-d)



基礎伏図 (1/100)



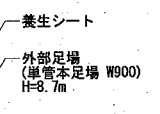
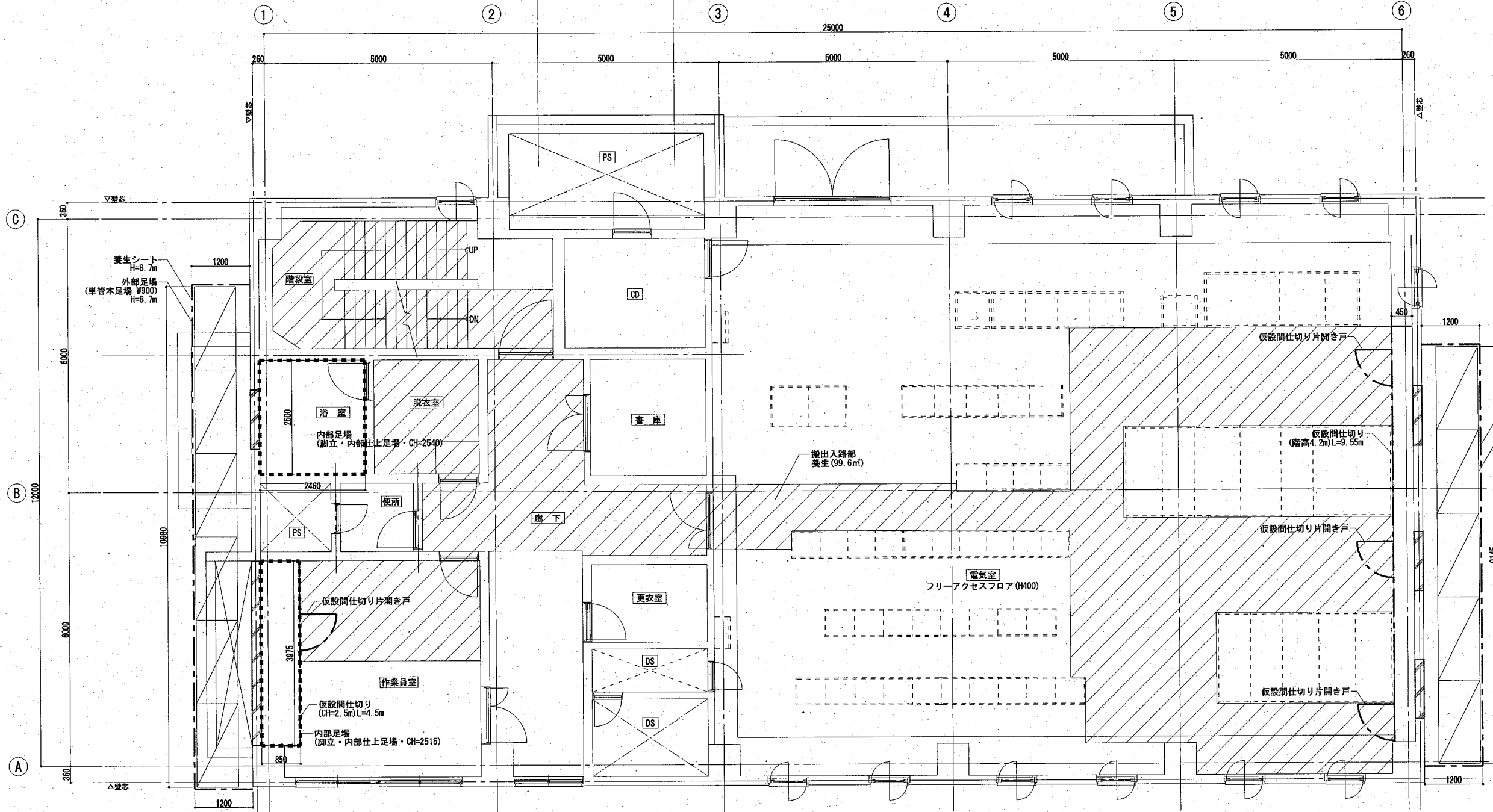
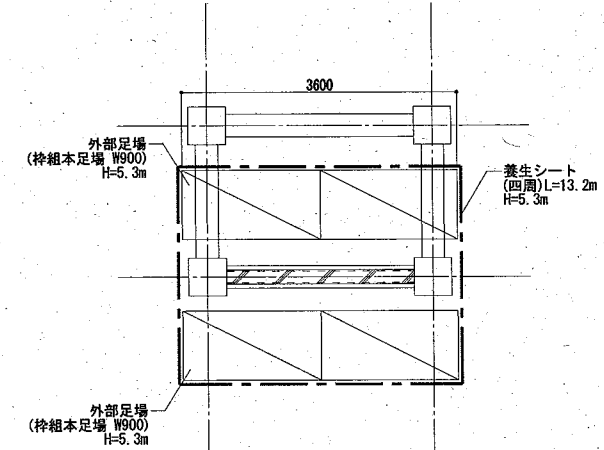
NW15補強詳細図 (1/60)

- 使用材料
1. コンクリート $F_c=27N/mm^2$
 2. 鉄筋 SD295 (D13以下), SD345 (D16以上)
 3. あと施工アンカー 接合系SD295 (D16, D19)
 4. スパイラル筋 SR235
 5. 無収縮モルタル $F_m=30N/mm^2$

注記) ※印寸法は、実測により確認を行うこと。
補強部材が接合される既存躯体面には、十分な目荒しを施すこと。

横須賀市上下水道局

図面名称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
種別	渡り廊下	補強位置図	NW15補強詳細図
縮尺	1/60, 1/100	図面番号	S-12
製作月	令和3年7月	原図サイズ	A3
課長	係長	担当者	設計者



仮設計画平面図(参考図)

搬出通路部養生

横須賀市上下水道局

工 事 名 称	下町浄化センター 焼却炉監視棟耐震補強建築工事		
図 面 名 称	焼却炉監視棟 仮設計画図(参考図)		
縮 尺	1/100	図 番 号	参-01
製 作 年 月	令和3年7月	原 図 大 小	A3
課 長	係 長	担 当 者	設 計 者